



沼田市下水道事業経営戦略

[令和 5 年度～令和 14 年度版]

令和 5 年 3 月

(令和 7 年 2 月一部改正)



沼田市都市建設部上下水道経営課

目 次

第 1 章 沼田市下水道事業経営戦略について	1
1-1. 「経営戦略」の策定背景と目的	1
1-1-1. 策定背景	1
1-1-2. 沼田市の下水道事業経営戦略策定状況	1
1-2. 基本的な考え方	2
1-3. 計画の位置付け	3
1-4. 計画期間	3
1-5. 策定フロー	4
第 2 章 下水道事業の現状	5
2-1. 事業のあらまし	5
2-1-1. 公共下水道事業	6
2-1-2. 特定環境保全公共下水道事業	7
2-1-3. 農業集落排水事業	8
2-2. 沼田市下水道事業の整備状況	9
2-2-1. 処理区域内人口、水洗化人口及び水洗化率	9
2-2-2. 整備面積	12
2-2-3. 管きょ延長	15
2-3. 使用料水準	18
2-3-1. 公共下水道事業	19
2-3-2. 特定環境保全公共下水道事業	20
2-3-3. 農業集落排水事業	21
2-4. 財政の状況	22
2-4-1. 公共下水道事業	22
2-4-2. 特定環境保全公共下水道事業	24
2-4-3. 農業集落排水事業	26
2-5. 経営比較分析	28
2-5-1. 公共下水道事業	28
2-5-2. 特定環境保全公共下水道事業	31
2-5-3. 農業集落排水事業	34
第 3 章 事業を取り巻く経営環境	37
3-1. 行政人口と世帯数の推移	37
3-2. 地方公営企業法の適用	38
3-3. 事業運営組織の状況	39

第4章 理念と経営基本方針	40
4-1. SDGs と下水道	40
4-2. 下水道事業の理念	41
4-3. 経営基本方針及び目標設定	42
4-3-1. 公共下水道事業	42
4-3-2. 特定環境保全公共下水道事業	43
4-3-3. 農業集落排水事業	44
第5章 将来の経営環境	45
5-1. 将来の行政人口見通し	45
5-2. 下水道使用料収入の見通し	46
5-2-1. 公共下水道事業	46
5-2-2. 特定環境保全公共下水道事業	47
5-2-3. 農業集落排水事業	48
第6章 投資と財源に関する取組み	49
6-1. 投資に関する取組み	49
6-1-1. 公共下水道事業	49
6-1-2. 特定環境保全公共下水道事業	52
6-1-3. 農業集落排水事業	53
6-2. 財源に関する取組み	54
6-2-1. 公共下水道事業	54
6-2-2. 特定環境保全公共下水道事業	56
6-2-3. 農業集落排水事業	58
6-3. その他の取組み	59
6-3-1. 官民連携の検討	59
6-3-2. 広域化・共同化の検討	60
6-3-3. 組織体制の強化	62
6-3-4. 遊休資産の活用に関する検討	62
6-3-5. 災害対策の取組み	62
第7章 投資・財政計画	63
7-1. 推計基準	63
7-1-1. 公共下水道事業	63
7-1-2. 特定環境保全公共下水道事業	66
7-1-3. 農業集落排水事業	69
7-2. 投資・財政計画	72
7-2-1. 公共下水道事業	72
7-2-2. 特定環境保全公共下水道事業	78

7-2-3. 農業集落排水事業.....	84
7-2-4. 総合計(3事業合算).....	90
7-3. 投資・財政計画(50年間の長期見通し).....	96
7-3-1. 総合計(3事業合算).....	96
7-4. 投資・財政計画(経費回収率100%となる使用料改定の想定).....	100
7-4-1. 公共下水道事業.....	100
7-4-2. 特定環境保全公共下水道事業.....	106
7-4-3. 農業集落排水事業.....	112
7-4-4. 総合計(3事業合算).....	118
7-4-5. 経費回収率100%に必要な使用料改定率のまとめ.....	123

第8章 経営戦略の事後検証等.....124

8-1. 経営戦略の見直しの方針.....	124
8-2. 経営戦略見直し予定時期.....	124
8-3. 経費回収率向上に向けたロードマップ.....	125

第1章 沼田市下水道事業経営戦略について

1-1. 「経営戦略」の策定背景と目的

1-1-1. 策定背景

下水道は、公衆衛生の向上や都市の健全な発展に寄与し、公共用水域の水質保全に資する公共性、公益性の高い重要な都市基盤施設です。下水道の主な役割としては、汚水の排除（生活環境の改善）、公共用水域の水質保全（水質汚濁防止による自然環境の保全）、雨水の排除（浸水被害の防止）があります。

これらの住民サービスを提供する下水道事業は、その性質上、多額の設備投資を必要とします。しかし、人口減少に伴う下水道使用料収入の減少や施設の老朽化の進行により、下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。

この状況を踏まえ、総務省は『公営企業の経営に当たっての留意事項について』（平成26年8月29日）や『「経営戦略」の策定推進について』（平成28年1月26日）を発出し、各地方公共団体が経営する公営企業に対して「経営戦略」策定を要請しています。

「経営戦略」の策定により、下水道の整備や維持管理、災害対策を行っていくための費用並びに財源の見通しの把握、更なる経営基盤の強化及び効率的な事業運営を図ることが可能になります。



図 1-1-1. 下水道の役割

1-1-2. 沼田市の下水道事業経営戦略策定状況

本市は平成28年度に公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業を対象とした『沼田市下水道事業経営戦略（平成29年度～平成38年度）』を策定しており、本計画では中間年度における見直しを行うものとします。

また、令和2年度からの地方公営企業法適用に伴い、農業集落排水事業を新たに加えて『沼田市下水道事業経営戦略』を刷新します。

1-2. 基本的な考え方

経営戦略は、各公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画です。施設・設備に関する投資の見通しを試算した計画（投資試算）と、財源の見通しを試算した計画（財源試算）を構成要素とし、投資以外の経費も含めた上で、収入と支出の均衡を目指します。

経営戦略の基本的な考え方

- ① 特別会計ごとの策定を基本とすること。
- ② 企業（事業）及び地域の現状と課題、これらの将来見通しを踏まえたものであること。
- ③ 「投資試算」や「財源試算」は、経営に不可欠の主要な施設の維持更新の見通しを立てるため、施設の耐用年数等を踏まえて、計画期間に限らず可能な限り長期間（事業の性格や個別事情にもよるが、原則として30年から50年超）かつ複数の推計パターンで行い、その推計結果及びそれに基づく長期目標も設定すること。
- ④ 「投資試算」や「財源試算」を踏まえ、中長期的な視点から経営基盤の強化等に取り組むことができるように、「投資・財政計画」の期間は10年以上を基本とすること。
- ⑤ 「投資試算」及び「財源試算」に基づきながら、原則として、期間内に支出と収入が均衡した形で「投資・財政計画」が策定されていること。「投資試算」及び「財源試算」の作成に当たっては、法令等に基づき策定された各事業の事業計画やアセットマネジメント・ストックマネジメント等と整合が取れた試算とすること。
- ⑥ 計画期間中に必要な住民サービスを提供することが可能となっていること。
- ⑦ 「投資・財政計画」の支出と収入を当該期間内に均衡させるために必要な効率化・経営健全化のための取組方針が示されていること。
- ⑧ 策定期限は平成32年度末であること。なお、平成33年度以降に新たに事業開始し、特別会計を設置した場合は、その時点で「経営戦略」を策定されていることが望ましい。
- ⑨ 改定に当たっては、「経営戦略」に基づく取組における毎年度の進捗管理と一定期間（3～5年毎）の成果の検証・評価した上でを行い、より質の高い「経営戦略」にすること。

（出典：総務省『経営戦略策定・改定ガイドライン』）

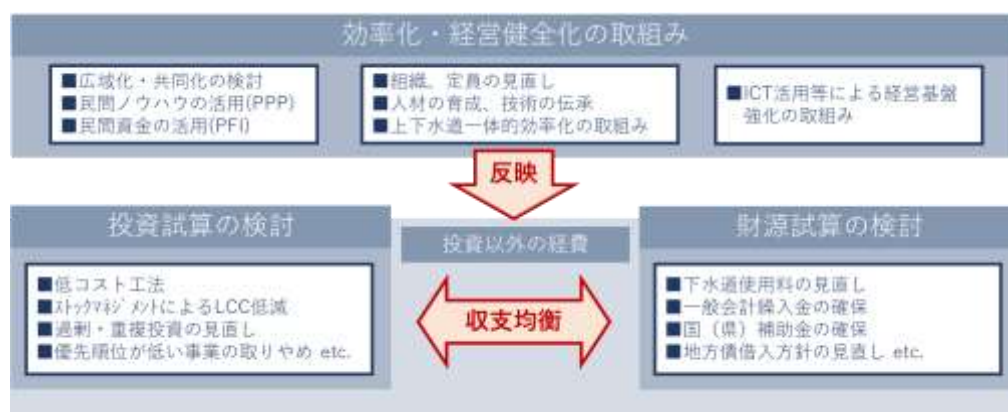


図 1-2-1. 「経営戦略」の考え方イメージ

1-3. 計画の位置付け

経営戦略は、県や市の既存計画と整合を図りつつ、下水道事業の事業計画やストックマネジメント計画等各種計画を反映した投資計画を基に策定します。



図 1-3-1. 「経営戦略」と各種計画の関係

1-4. 計画期間

本計画は、中長期的な観点から経営基盤の強化等に取り組み、サービスの維持に不可欠な施設・設備の維持、更新に必要な期間を設定することとし、計画の期間を 10 年間（令和 5 年度～令和 14 年度）とします。

ただし、事業の進捗や環境の変化等に応じて、「投資・財政計画」と実績が著しく現状と乖離する場合には、随時見直していくものとします。

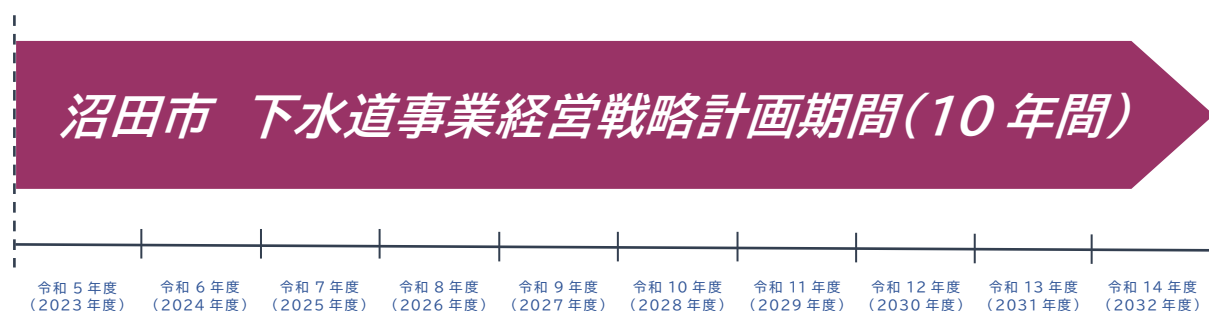


図 1-4-1. 経営戦略策定の計画期間

1-5. 策定フロー

本計画の策定（改定）フローを図 1-5-1 に示します。

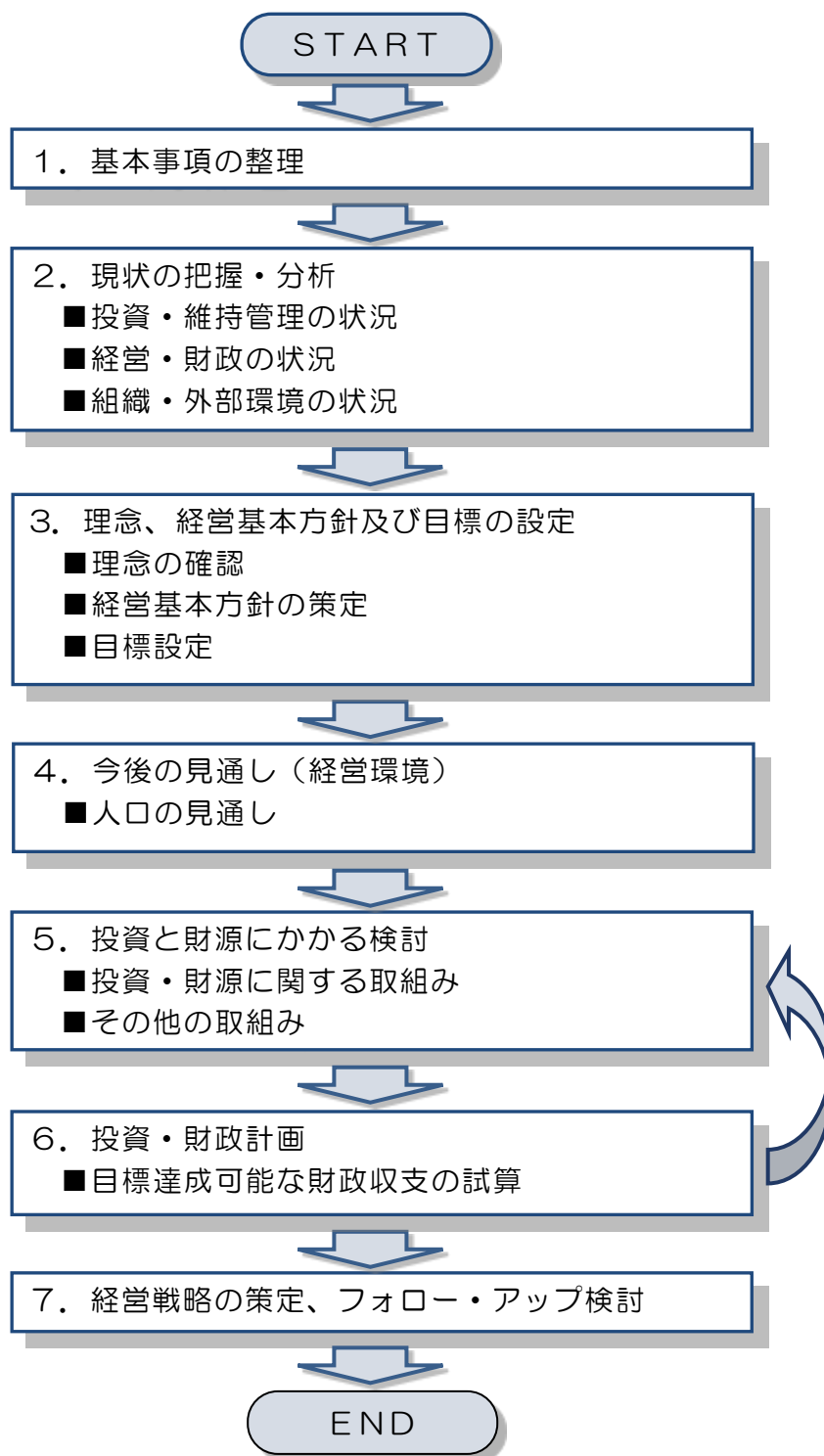


図 1-5-1. 経営戦略策定(改定)フロー

第2章 下水道事業の現状

2-1. 事業のあらまし

本市污水处理計画区域図を図 2-1-1 に示します。

本市の下水道事業は、「公共下水道事業」、「特定環境保全公共下水道事業」、「農業集落排水事業」の3つの事業を運営しています。

なお、公共下水道事業計画区域、特定環境保全公共下水道事業計画区域、農業集落排水事業区域以外の地域に関しては「浄化槽処理促進区域」として位置づけられており、各戸ごとに合併処理浄化槽を設置して、し尿及び雑排水の処理を促進しています。

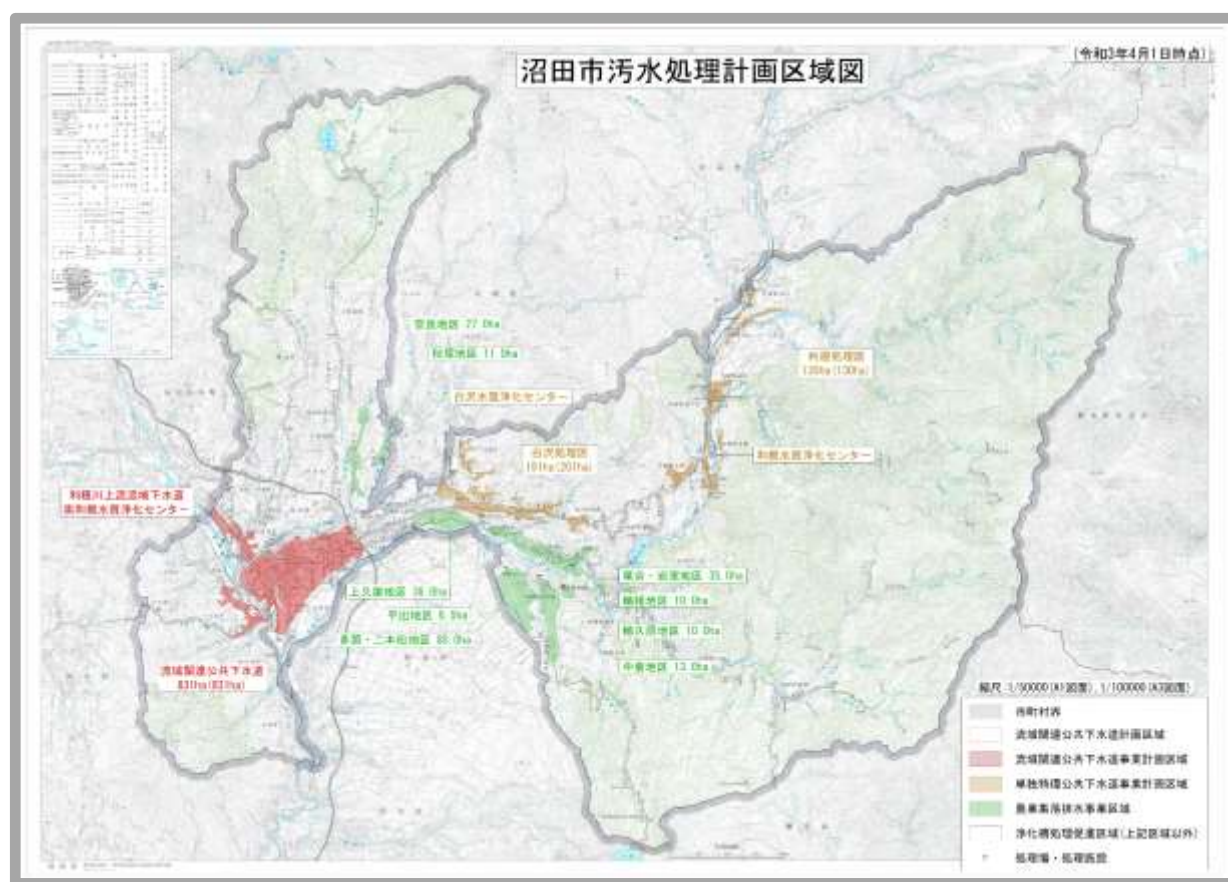


図 2-1-1. 沼田市污水处理計画区域図

2-1-1. 公共下水道事業

公共下水道とは、主として市街地における下水を排除、又は処理するために地方公共団体が管理する下水道で、終末処理場を有するもの又は流域下水道に接続するものを指します。本市の公共下水道事業は終末処理場を有する利根川上流流域下水道に接続する流域関連公共下水道です。

本市の公共下水道事業は、群馬県の利根川上流流域下水道（奥利根処理区）事業計画を上位計画とし、昭和52年に流域関連公共下水道・特定環境保全公共下水道として全体計画を策定しました。公共下水道事業は昭和53年3月に事業認可を受けて事業を進めています。

その後、上位計画の見直しに伴い、令和3年度に「利根川上流流域下水道（奥利根処理区）関連沼田市公共下水道事業計画」を策定し、全体計画及び事業計画の計画区域面積値を再度見直し、汚水処理の早期概成を達成するための見直しを行いました。

公共下水道事業における本市の概要と基本情報を表2-1-1に示します。

表 2-1-1. (公共下水道事業)概要と基本情報

公共下水道事業 (流域関連)		
基本項目	建設事業開始年月日	昭和53年9月13日
	供用開始年月日	昭和56年4月1日
	法適用化年月日	令和2年4月1日
	排除方式	分流式
面積	全体計画区域	753.0 (ha)
	事業計画区域	753.0 (ha)
	整備済み区域 (R3末)	693.05 (ha)
	整備率	92.04 (%)
人口	整備済み人口 (R3末)	21,476 (人)
	水洗化人口 (R3末)	20,076 (人)
	水洗化率 (R3末)	93.48 (%)

出典：地方公営企業決算状況調査表

2-1-2. 特定環境保全公共下水道事業

特定環境保全公共下水道とは、主として市街化区域外に設置される下水道で、自然公園区域内の水質保全及び農山漁村等における生活環境改善を図るためのものを指します。また、処理対象人口が1000人から10,000人以下の小規模事業なものを指します。

本市の特定環境保全公共下水道は、群馬県の利根川上流流域下水道（奥利根処理区）事業計画を上位計画とし、昭和52年に流域関連公共下水道・特定環境保全公共下水道として全体計画を策定しました。

その後、上位計画の見直しに伴い、令和3年度に「利根川上流流域下水道（奥利根処理区）関連沼田市公共下水道事業計画」、「沼田市特定環境保全公共下水道（利根処理区）」、「沼田市特定環境保全公共下水道（白沢処理区）」を策定し、全体計画及び事業計画の計画区域面積値を見直し、汚水処理の早期概成を達成するための見直しを行いました。

特定環境保全公共下水道事業における本市の概要と基本情報を表2-1-2に示します。

表 2-1-2. (特定環境保全公共下水道事業)概要と基本情報

特定環境保全公共下水道事業				
		奥利根地区 (流域関連)	利根地区 (単独)	白沢地区 (単独)
基本項目	建設事業開始年月日	昭和56年2月1日	平成11年6月3日	平成9年6月24日
	供用開始年月日	昭和62年4月1日	平成13年6月1日	平成12年4月3日
	法適用化年月日	令和2年4月1日	令和2年4月1日	令和2年4月1日
	排除方式	分流式	分流式	分流式
面積	全体計画区域	78.1 (ha)	130.0 (ha)	201.0 (ha)
	事業計画区域	78.1 (ha)	130.0 (ha)	191.0 (ha)
	整備済み区域 (R3末)	76.43 (ha)	129.55 (ha)	190.54 (ha)
	整備率	97.86 (%)	99.65 (%)	99.76 (%)
人口	整備済み人口 (R3末)	998 (人)	2,083 (人)	2,793 (人)
	水洗化人口 (R3末)	936 (人)	1,445 (人)	2,683 (人)
	水洗化率 (R3末)	93.79 (%)	69.37 (%)	96.06 (%)

出典：地方公営企業決算状況調査表

2-1-3. 農業集落排水事業

農業集落排水施設とは、主として農業振興地域（これと一体的に整備することを相当とする区域を含む）において水質汚濁による農業被害の解消等を図るため整備するものを指します。また、受益戸数がおおむね 20 戸以上で、処理対象人口がおおむね 1000 人以下の小規模なものを指します。

本市では、平成元年に建設が開始、平成 5 年に『平出地区』から随時併用が開始され、現在では『奈良地区』『秋塚地区』『上久屋地区』『平出地区』『尾合地区』『輪組地区』『輪久原地区』『中倉地区』『多那・二本松地区』の 9 処理区域で事業を行っております。

農業集落排水事業における本市の概要と基本情報を表 2-1-3 に示します。

表 2-1-3. (農業集落排水事業)概要と基本情報

農業集落排水事業		
奈良地区、秋塚地区、上久屋地区、平出地区、尾合地区、輪組地区、輪久原地区、中倉地区、多那・二本松地区		
基本項目	建設事業開始年月日	平成元年8月28日
	供用開始年月日	平成5年4月1日
	法適用化年月日	令和2年4月1日
	排除方式	分流式
面積	全体計画区域	229.0 (ha)
	事業計画区域	229.0 (ha)
	整備済み区域 (R3末)	229.0 (ha)
	整備率	100.00 (%)
人口	整備済み人口 (R3末)	2,111 (人)
	水洗化人口 (R3末)	1,994 (人)
	水洗化率 (R3末)	94.46 (%)

出典：地方公営企業決算状況調査表

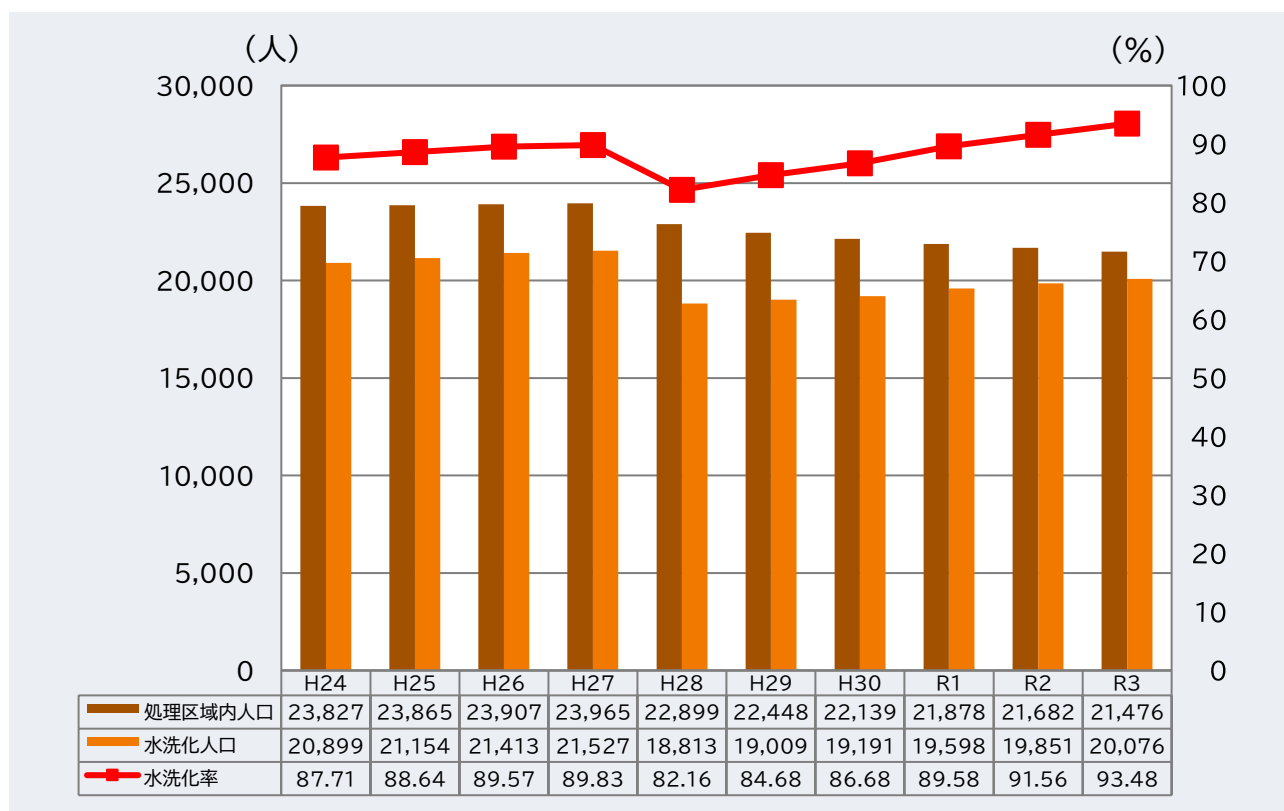
2-2. 沼田市下水道事業の整備状況

本市「公共下水道事業」、「特定環境保全公共下水道事業」及び「農業集落排水事業」の3つの事業に関するこれまでの整備状況を取りまとめます。

2-2-1. 処理区域内人口、水洗化人口及び水洗化率

公共下水道事業における処理区域内人口、水洗化人口及び水洗化率の推移を図 2-2-1 に示します。

令和3年度末時点では、処理区域内人口 21,476 人、水洗化人口 20,076 人、水洗化率 93.48%となっています。

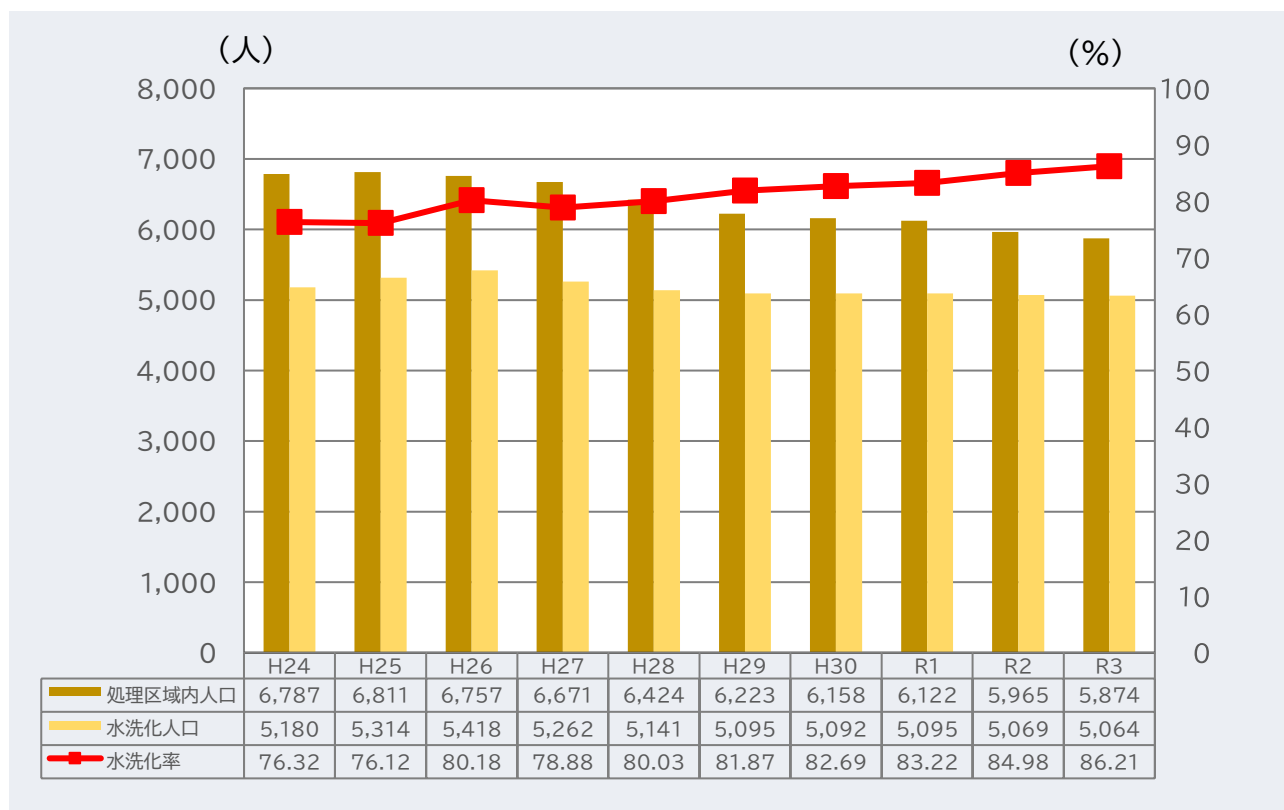


出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-2-1. (公共下水道事業)処理区域内人口、水洗化人口及び水洗化率の推移

特定環境保全公共下水道事業における処理区域内人口、水洗化人口及び水洗化率の推移を図 2-2-2 に示します。

令和 3 年度末時点では、処理区域内人口 5,874 人、水洗化人口 5,064 人、水洗化率 86.21%となっています。



出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-2-2.(特定環境保全公共下水道事業)処理区域内人口、水洗化人口及び水洗化率の推移

農業集落排水事業における処理区域内人口、水洗化人口及び水洗化率の推移を図 2-2-3 に示します。

令和3年度末時点では、処理区域内人口 2,111 人、水洗化人口 1,994 人、水洗化率 94.46%となっています。



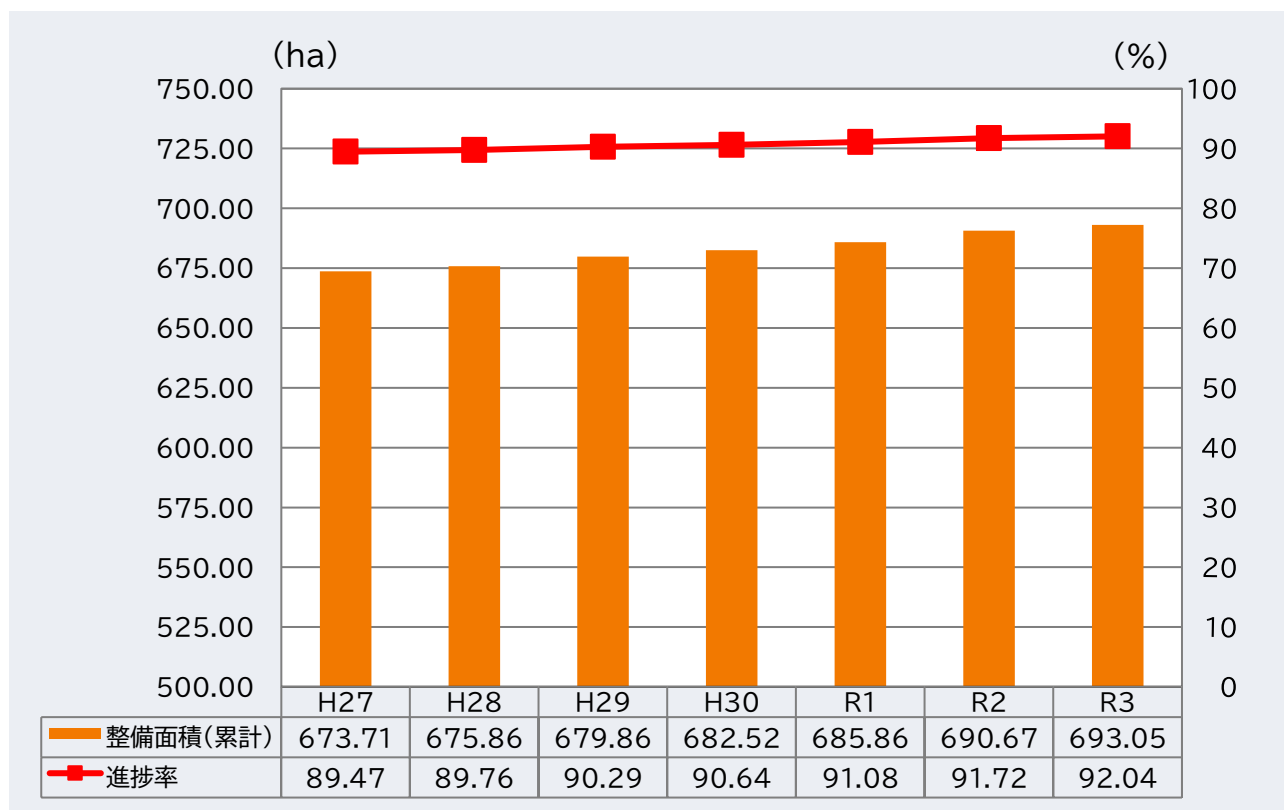
出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-2-3. (農業集落排水事業)処理区域内人口、水洗化人口及び水洗化率の推移

2-2-2. 整備面積

近年の公共下水道事業における整備面積（累計）の推移を図 2-2-4 に示します。

公共下水道の整備面積は、令和 3 年度末時点で 693.05ha となっており、整備予定面積（753ha）に対して、約 92%の整備が完了している状況です。

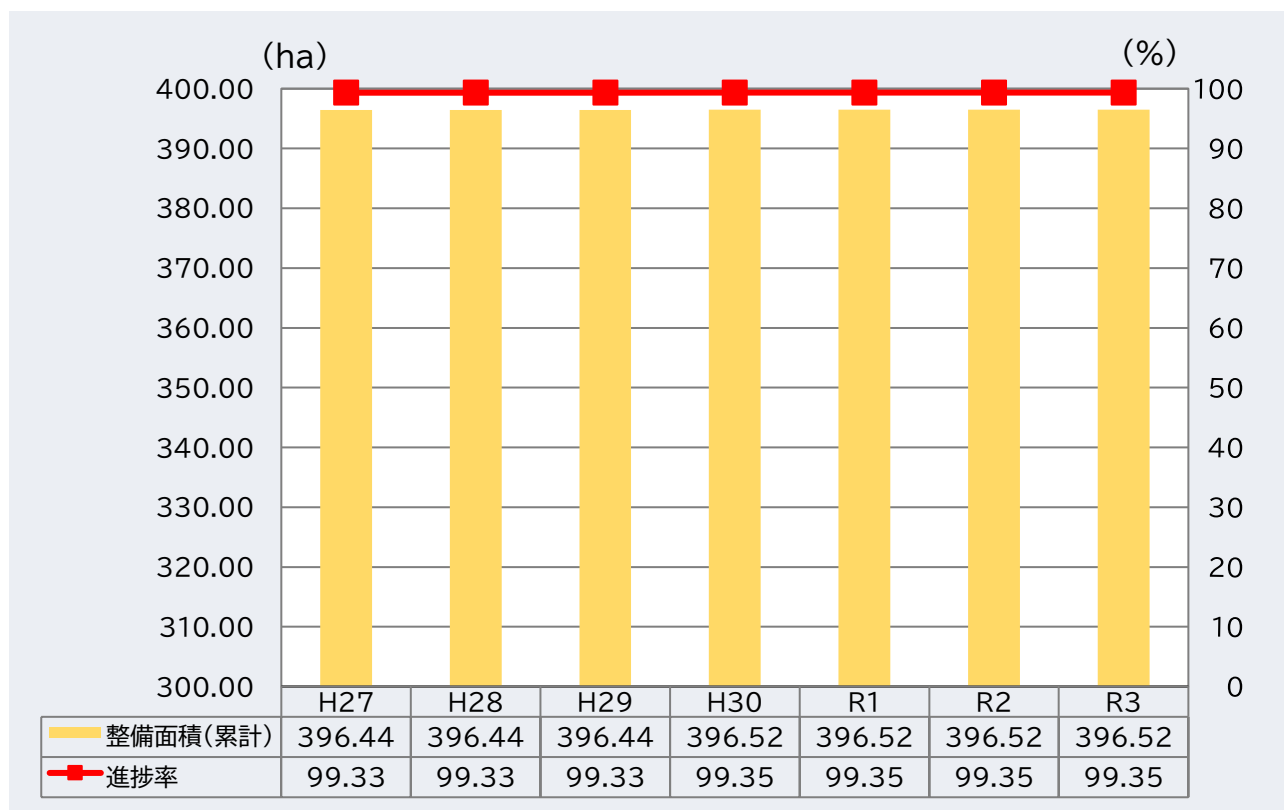


出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-2-4. (公共下水道事業)整備面積(累計)の推移

特定環境保全公共下水道事業における整備面積（累計）の推移を図 2-2-5 に示します。

特定環境保全公共下水道の整備面積は、令和 3 年度末時点で 396.52ha となっており、ほとんど整備が完了している状況です。

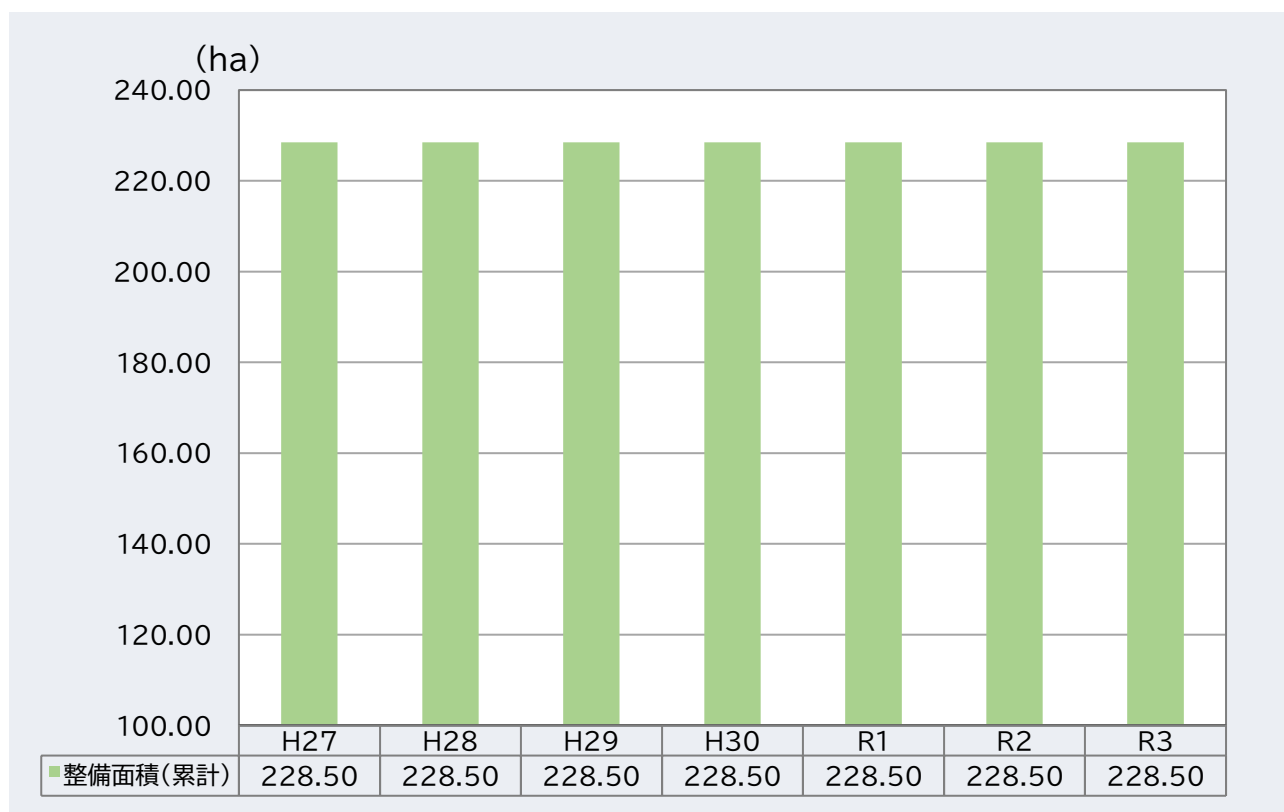


出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-2-5. (特定環境保全公共下水道事業)整備面積(累計)の推移

農業集落排水事業における整備面積（累計）の推移を図 2-2-6 に示します。

農業集落排水の整備面積は、令和 3 年度末時点で 228.50ha となっており、整備は完了している状況です。



出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-2-6. (農業集落排水事業)整備面積(累計)の推移

2-2-3. 管きょ延長

近年の公共下水道事業における管きょ延長の推移を図 2-2-7 に示します。

公共下水道の管きょ延長は、令和 3 年度末時点で 133,164m となっており、管きょ整備予定延長（168,534m）に対して、約 79%の整備が完了している状況です。

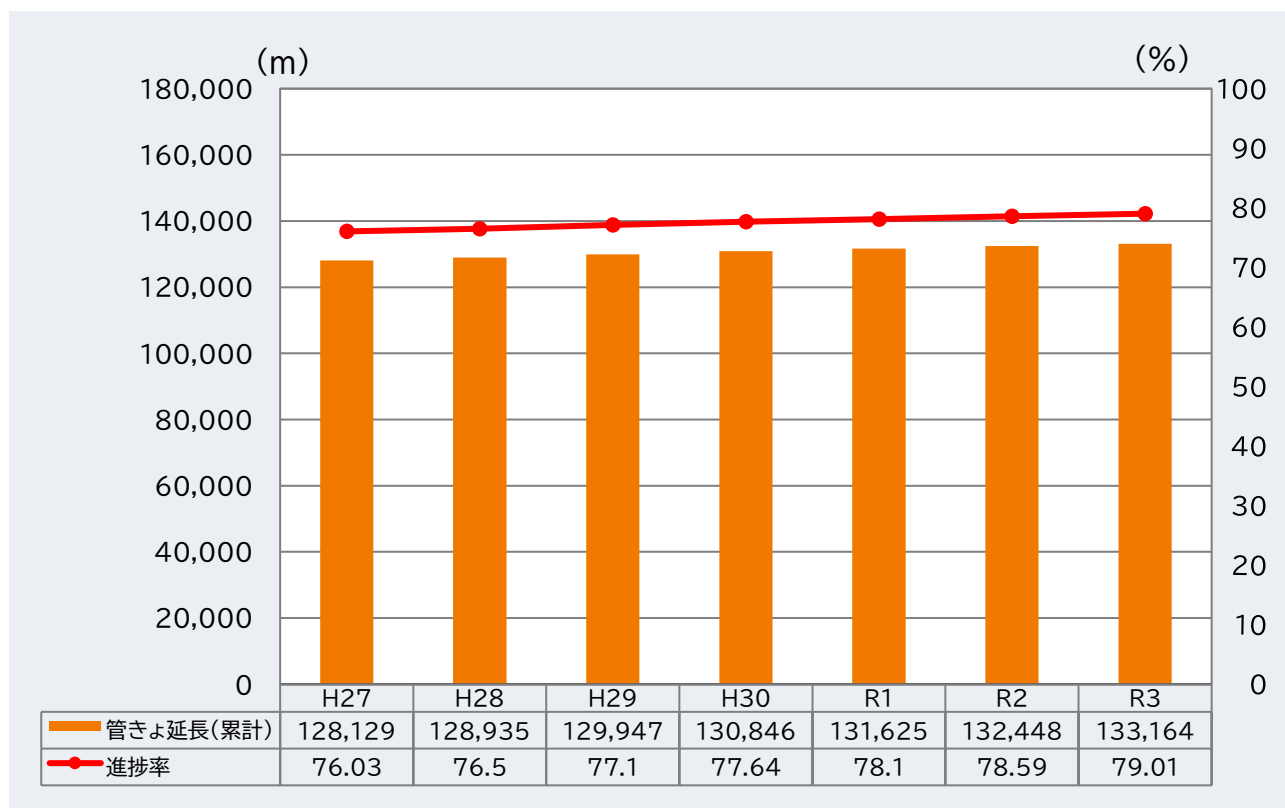


図 2-2-7. (公共下水道事業)管きょ延長の推移

特定環境保全公共下水道事業における管きょ延長の推移を図 2-2-8 に示します。

特定環境保全公共下水道の管きょ延長は、令和 3 年度末時点で 98,393m となっており、管きょ整備予定延長（109,254m）に対して、約 90%の整備が完了している状況です。

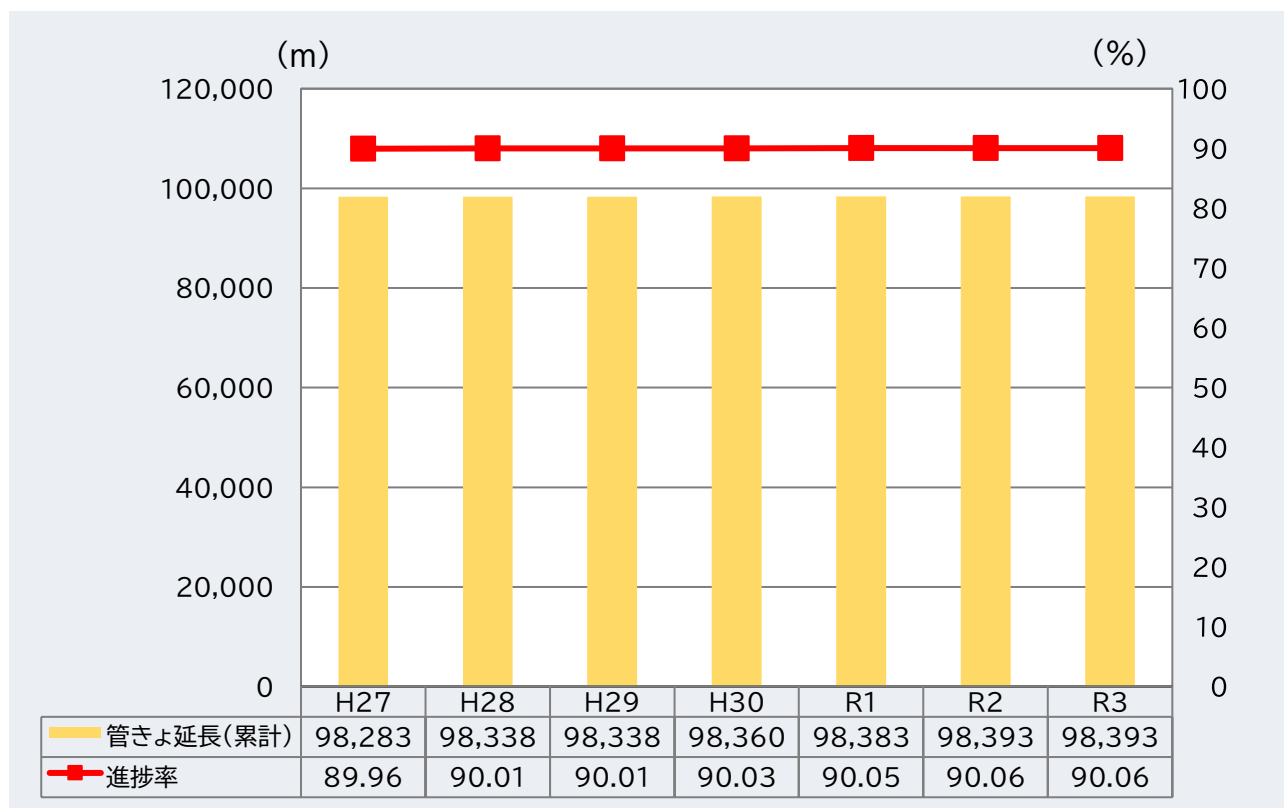


図 2-2-8. (特定環境保全公共下水道事業)管きょ延長の推移

農業集落排水事業における管きょ延長の推移を図 2-2-9 に示します。

農業集落排水施設の管きょ延長は、令和 3 年度末時点で 41,518m となっており、整備が完了している状況です。

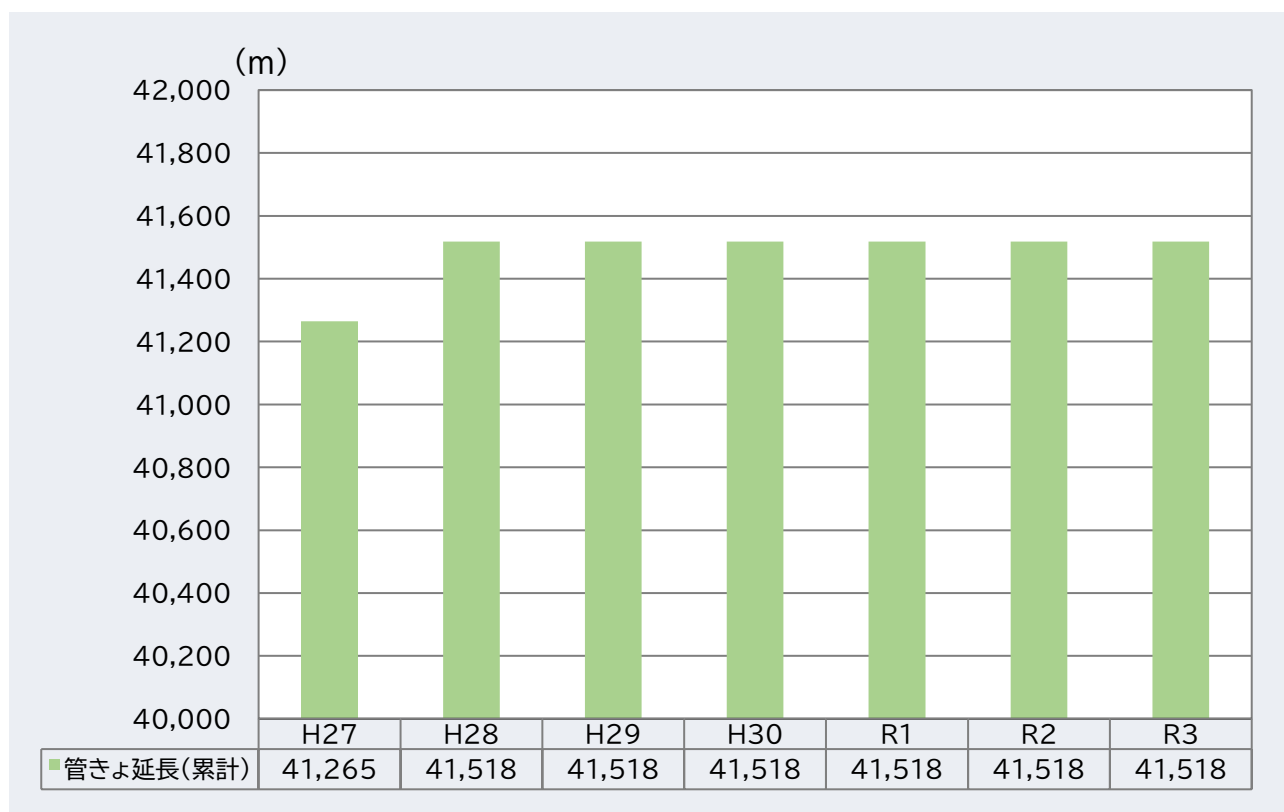


図 2-2-9. (農業集落排水事業)管きょ延長の推移

2-3. 使用料水準

下水道（及び農業集落排水施設。以下同じ。）使用料とは、現在下水道を使用している利用者の方々がそれぞれ排出した汚水量に際してお支払いいただくものです。

汚水量は、実際に下水管に排出した汚水排水量を測定しているのではなく、水道水や井戸水の使用水量を汚水排水量とみなして算定しています。

下水道の経費負担の原則である「雨水公費、汚水私費」の原則により、汚水処理に要する費用は使用料を徴収して賄う必要があるため、利用者の方々に下水道使用料の負担をお願いしています。

本市の使用料体系としては、「基本料金」と「超過料金」からなる「二部料金制」を採用しています。

基本料金に含まれた水量を超える汚水量が超過料金の対象となり、汚水量が多くなるほど1 m³当りの単価が高くなる「逡増（累進）型」としています。

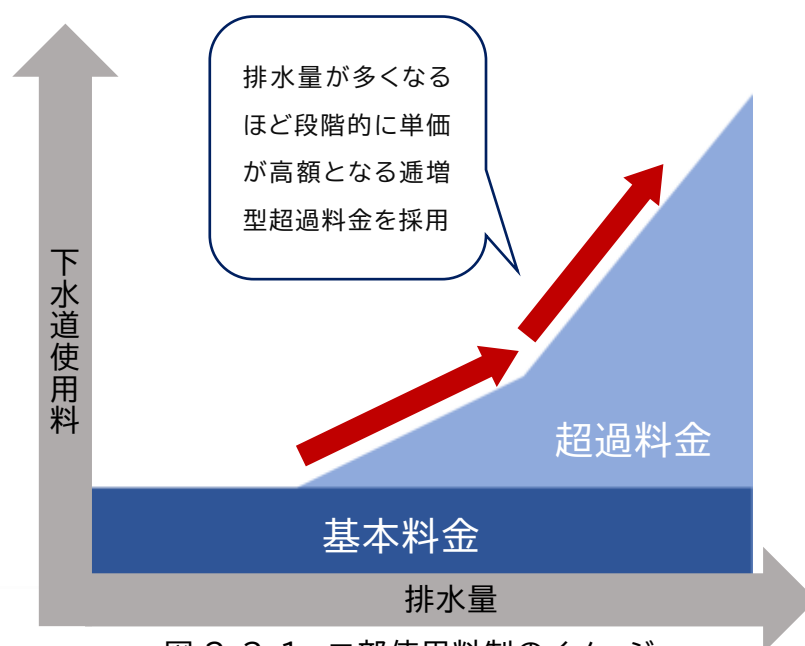


図 2-3-1. 二部使用料制のイメージ

本市の下水道使用料表を表 2-3-1 に示します。なお、本市は下水道事業、特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水事業で使用料を統一しています。

表 2-3-1. 本市の下水道使用料料金表（消費税抜き）（注）

基本料金 (1カ月につき)	0～10立法メートルまで	1,191円
	10立方メートルを超え45立方メートルまで	134円
超過料金 (1立方メートルにつき)	45立方メートルを超え200立方メートルまで	143円
	200立方メートルを超える部分	153円

（注）使用料は、上記の表により算出した金額に消費税が加算されます。10円未満の端数が生じた場合は切り捨てた金額となります。

2-3-1. 公共下水道事業

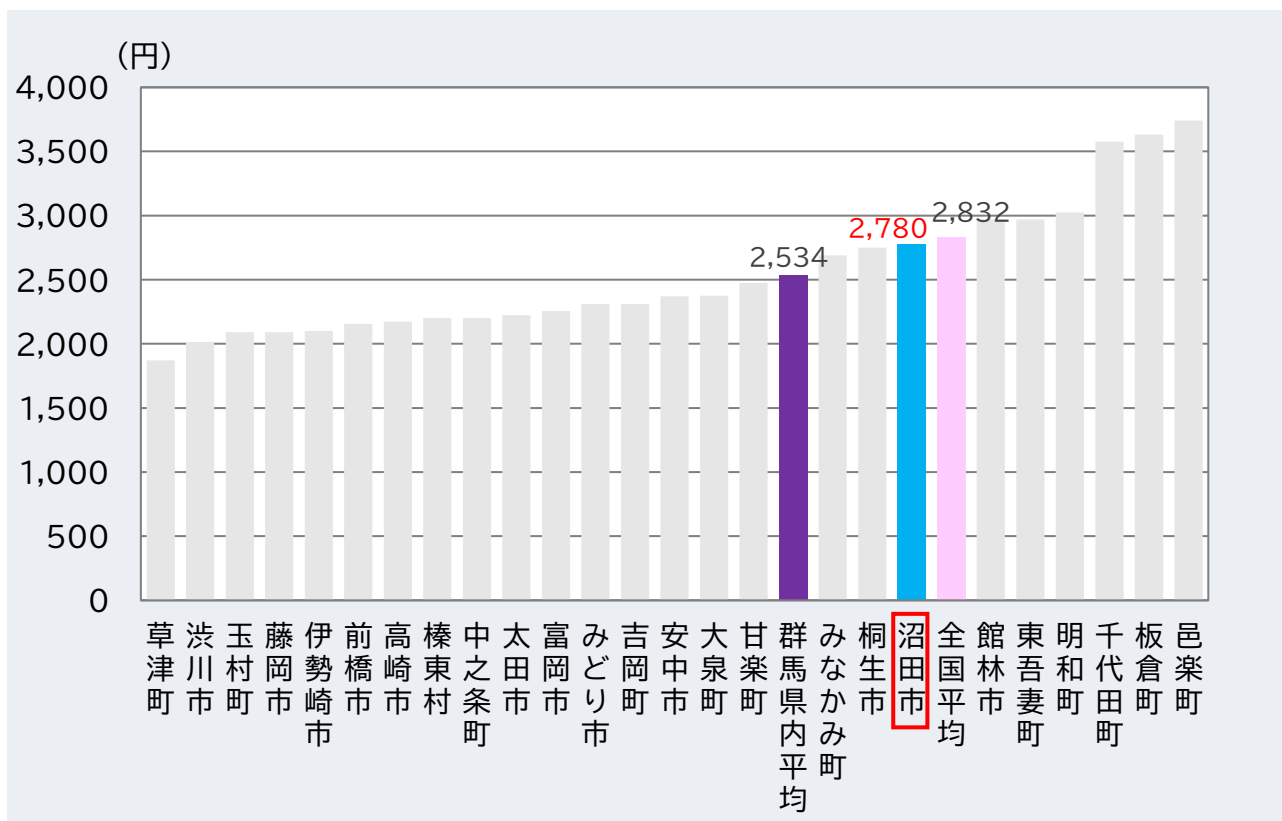
公共下水道事業における使用料水準の比較表を図 2-3-1 に示します。

基準とする使用料水準は、一般家庭 1 カ月当たり汚水量 20 m³の場合の下水道使用料（消費税込み）です。

本市と比較する対象は以下のとおりです。

- ・県内市町村の公共下水道事業（25市町村）
- ・県内の公共下水道事業における平均値
- ・全国の公共下水道事業における平均値

本市の使用料水準としては、全国平均を 52 円下回っていますが、県内平均を 246 円上回っています。



出典：総務省 経営比較分析表・地方公営企業決算状況調査表

図 2-3-1. (公共下水道事業)下水道使用料の比較(令和 3 年度)

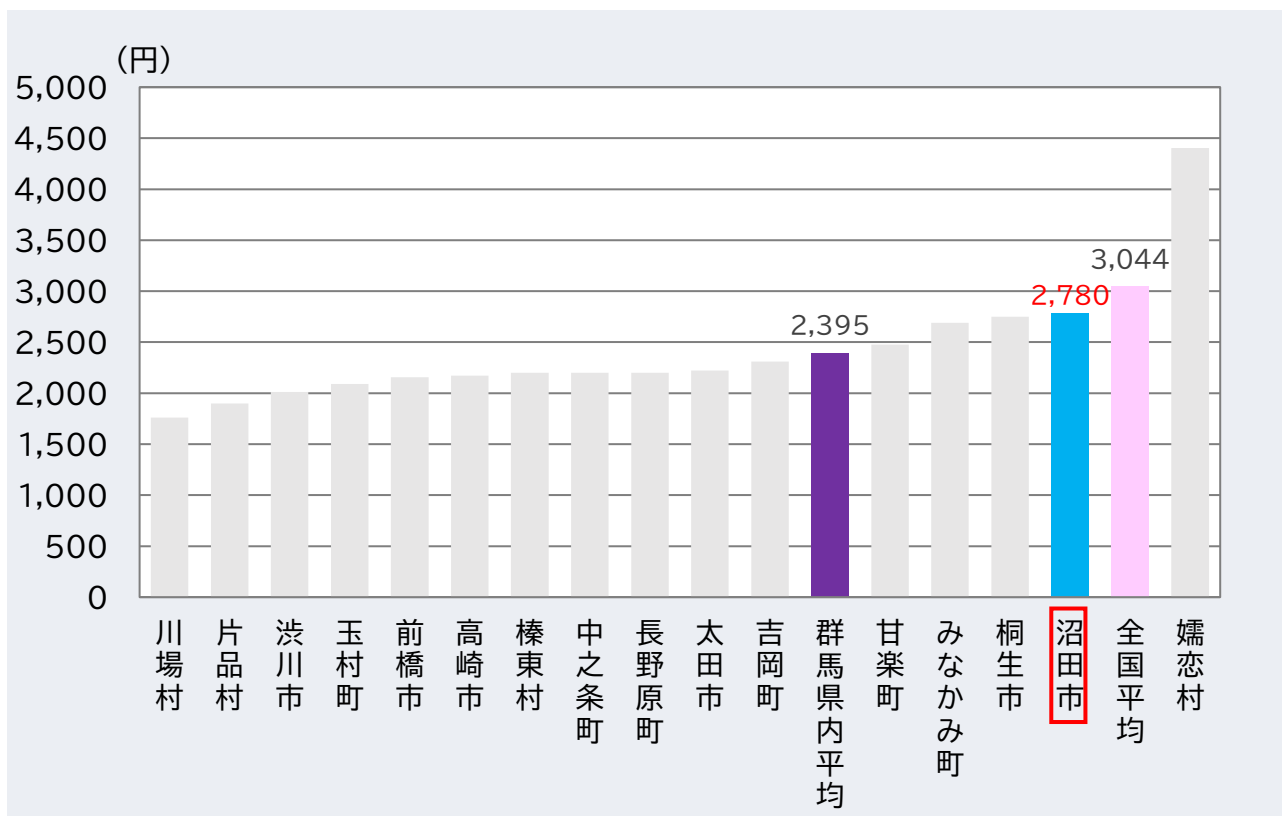
2-3-2. 特定環境保全公共下水道事業

特定環境保全公共下水道事業における使用料水準の比較表を図 2-3-2 に示します。
基準とする使用料水準は、一般家庭 1 カ月当たり汚水量 20 m³の場合の下水道使用料（消費税込み）です。

本市と比較する対象は以下のとおりです。

- ・県内市町村の特定環境保全公共下水道事業（16市町村）
- ・県内の特定環境保全公共下水道事業における平均値
- ・全国の特定環境保全公共下水道事業における平均値

本市の使用料水準としては、全国平均を 264 円下回っていますが、県内平均を 385 円上回っています。



出典：総務省 経営比較分析表・地方公営企業決算状況調査表

図 2-3-2. (特定環境保全公共下水道事業)下水道使用料の比較(令和 3 年度)

2-3-3. 農業集落排水事業

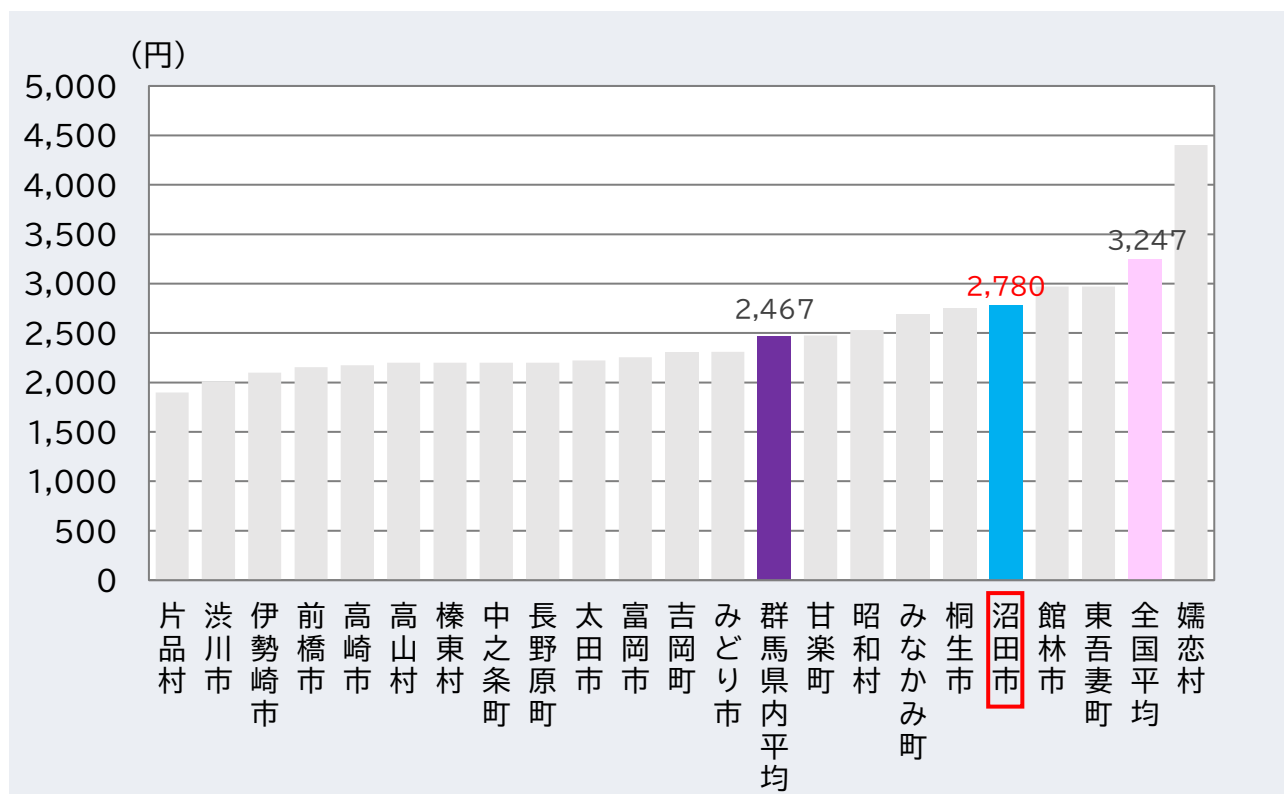
農業集落排水事業における使用料水準の比較表を図 2-3-3 に示します。

基準とする使用料水準は、一般家庭 1 カ月当たり汚水量 20 m³の場合の農業集落排水施設使用料（消費税込み）です。

本市と比較する対象は以下のとおりです。

- ・県内市町村の農業集落排水事業（21 市町村）
- ・県内の農業集落排水事業における平均値
- ・全国の農業集落排水事業における平均値

本市の使用料水準としては、全国平均を 467 円下回っていますが、県内平均を 313 円上回っています。



出典：総務省 経営比較分析表・地方公営企業決算状況調査表

図 2-3-3. (農業集落排水事業)農業集落排水施設使用料の比較(令和 3 年度)

2-4. 財政の状況

本市下水道事業が会計方式として採用している『地方公営企業会計』では、収入及び支出を、当事業年度の損益取引に基づくもの（収益的収支）と、いわゆる投下資本の増減に関する取引（資本的収支）とに区分して経理を行っています。

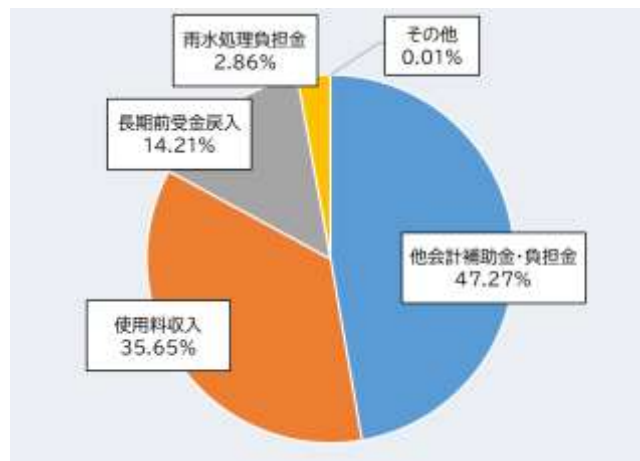
各事業の収益的収支及び資本的収支決算額を整理し、基礎的な財政数値と構成比率を把握します。

2-4-1. 公共下水道事業

公共下水道事業における収益的収入及び支出の令和 3 年度決算額及び構成比率は以下のとおりです。

（単位：千円・税抜）

収益的収入合計	758,386
営業収益	292,150
使用料収入	270,347
雨水処理負担金	21,706
その他	97
営業外収益	466,236
他会計補助金・負担金	358,455
長期前受金戻入	107,753
雑収益	28

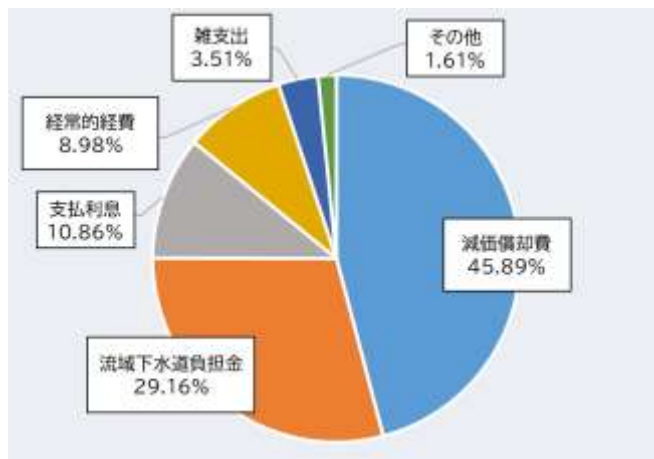


出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-4-1. (公共下水道事業)令和 3 年度・収益的収入の概要

（単位：千円・税抜）

収益的支出合計	732,348
営業費用	627,159
経常的経費	65,788
流域下水道負担金	213,543
減価償却費	336,069
その他	11,759
営業外費用	105,189
支払利息	79,512
雑支出	25,677



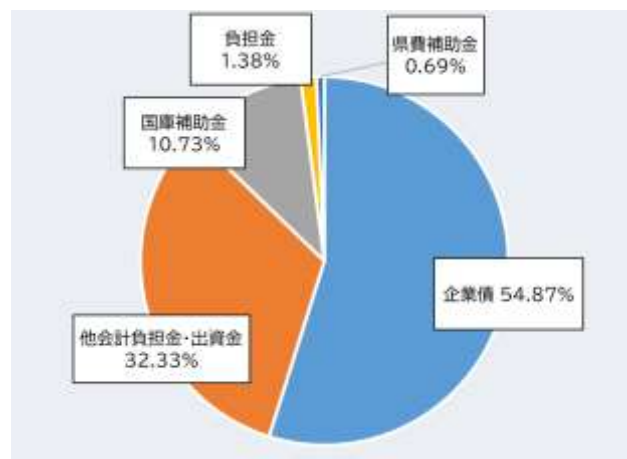
出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-4-2. (公共下水道事業)令和 3 年度・収益的支出の概要

資本的収入及び支出の令和3年度決算額及び構成比率は以下のとおりです。

(単位：千円・税込)

資本的収入合計	330,954
企業債	181,600
他会計負担金・出資金	106,995
国庫補助金	35,500
県費補助金	2,300
負担金	4,559



出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-4-3. (公共下水道事業)令和3年度・資本的収入の概要

(単位：千円・税込)

資本的支出合計	572,599
建設改良費	146,221
企業債償還金	426,378



出典：地方公営企業決算状況調査表

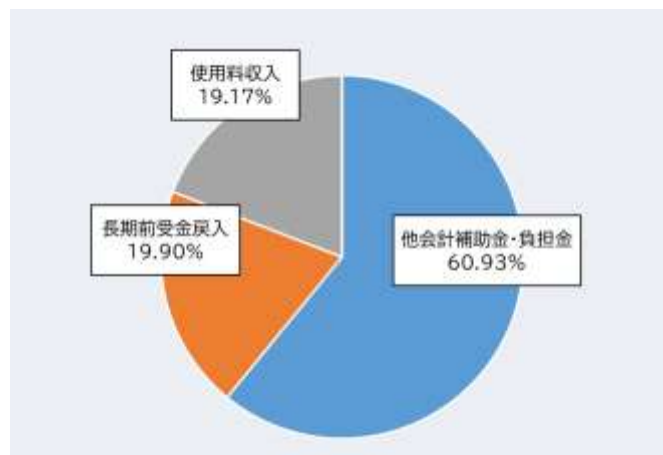
図 2-4-4. (公共下水道事業)令和3年度・資本的支出の概要

2-4-2. 特定環境保全公共下水道事業

特定環境保全公共下水道事業における収益的收入及び支出の令和 3 年度決算額及び構成比率は以下のとおりです。

(単位：千円・税抜)

収益的收入合計	409,907
営業収益	78,574
使用料収入	78,560
その他	14
営業外収益	331,333
他会計補助金・負担金	249,774
長期前受金戻入	81,559

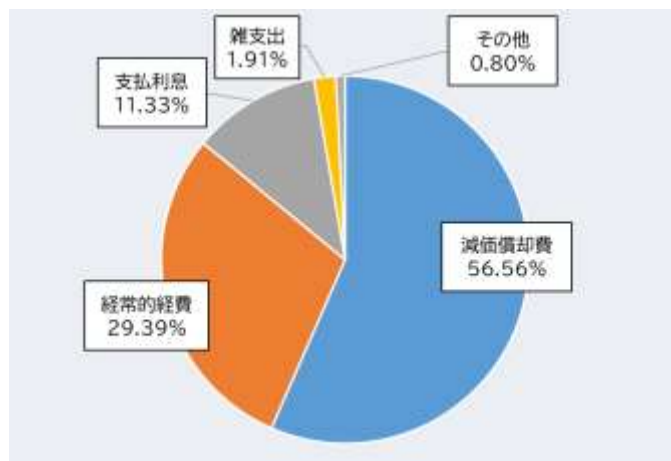


出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-4-5. (特定環境保全公共下水道事業)令和 3 年度・収益的收入の概要

(単位：千円・税抜)

収益的支出合計	393,225
営業費用	341,159
経常的経費	115,575
減価償却費	222,423
その他	3,161
営業外費用	52,066
支払利息	44,538
雑支出	7,528



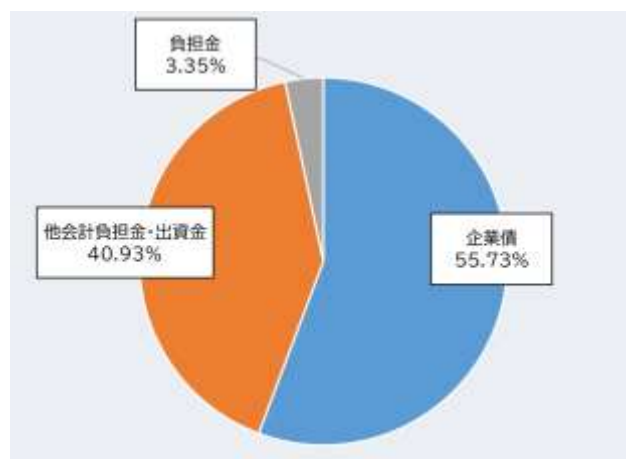
出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-4-6. (特定環境保全公共下水道事業)令和 3 年度・収益的支出の概要

資本的収入及び支出の令和3年度決算額及び構成比率は以下のとおりです。

(単位：千円・税込)

資本的収入合計	89,721
企業債	50,000
他会計補助金・出資金	36,719
工事負担金	3,002

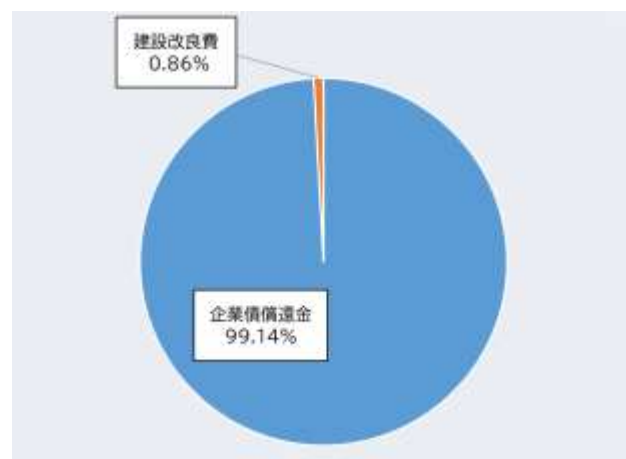


出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-4-7. (特定環境保全公共下水道事業) 令和3年度・資本的収入の概要

(単位：千円・税込)

資本的支出合計	251,422
建設改良費	2,170
企業債償還金	249,252



出典：地方公営企業決算状況調査表

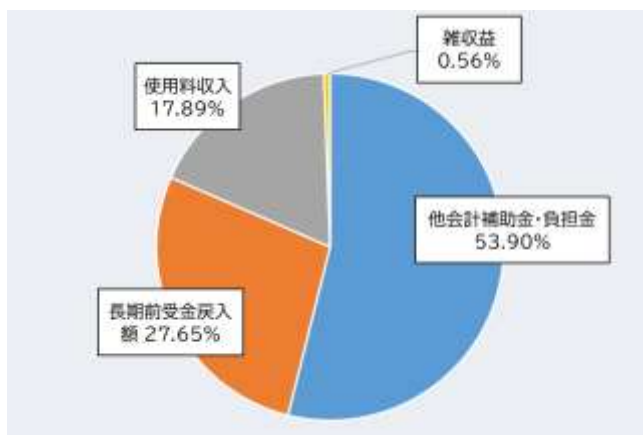
図 2-4-8. (特定環境保全公共下水道事業) 令和3年度・資本的支出の概要

2-4-3. 農業集落排水事業

農業集落排水事業における収益的収入及び支出の令和 3 年度決算額及び構成比率は以下のとおりです。

(単位：千円・税抜)

収益的収入合計	149,900
営業収益	26,819
使用料収入	26,814
その他	5
営業外収益	123,081
他会計補助金・負担金	80,802
長期前受金戻入	41,440
雑収益	839

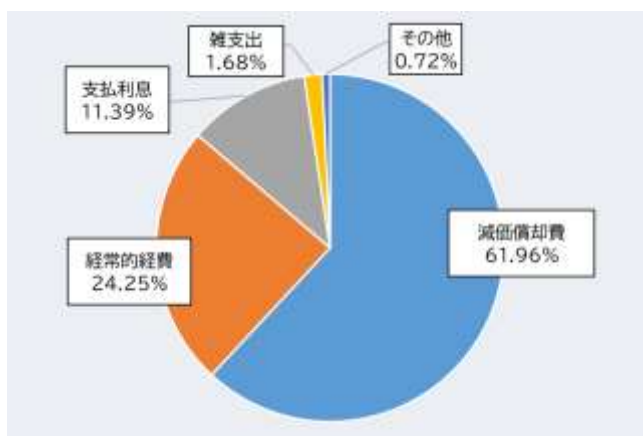


出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-4-9. (農業集落排水事業) 令和 3 年度・収益的収入の概要

(単位：千円・税抜)

収益的支出合計	142,665
営業費用	124,030
経常的経費	34,601
減価償却費	88,398
その他	1,031
営業外費用	18,635
支払利息	16,243
雑支出	2,392



出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-4-10. (農業集落排水事業) 令和 3 年度・収益的支出の概要

資本的収入及び支出の令和3年度決算額及び構成比率は以下のとおりです。

(単位：千円・税込)

資本的収入合計	33,428
他会計補助金・出資金	33,208
工事負担金	220



出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-4-11. (農業集落排水事業)令和3年度・資本的収入の概要

(単位：千円・税込)

資本的支出合計	92,362
建設改良費	392
企業債償還金	91,970



出典：地方公営企業決算状況調査表

図 2-4-12. (農業集落排水事業)令和3年度・資本的支出の概要

2-5. 経営比較分析

経営指標を用いた経年比較・類似団体比較を行い、本市の経営状況を分析します。

2-5-1. 公共下水道事業

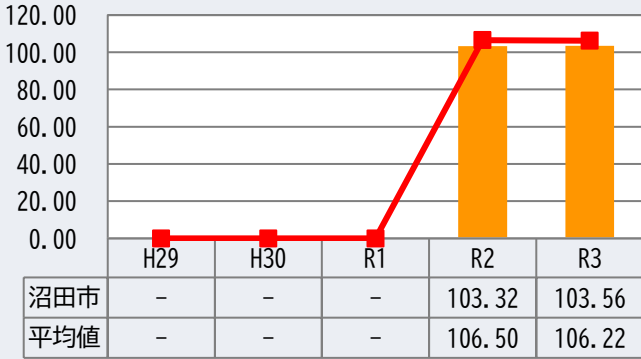
指標の名前	経常収支比率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$																				
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。																						
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっていることが必要です。数値が 100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組が必要です。																						
本市の近年の実績 と類似団体平均	経常収支比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>103.32</td><td>103.56</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>106.50</td><td>106.22</td></tr></tbody></table> 出典：総務省 経営比較分析表						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	103.32	103.56	平均値	-	-	-	106.50	106.22
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	103.32	103.56																	
	平均値	-	-	-	106.50	106.22																	
分析結果	経常収支比率については、類似団体平均を若干下回るものの、令和2年度の法適用以降100%超を継続できており、経営状態は安定しているといえます。今後も100%以上の水準を維持することが求められます。																						

図 2-5-1. (公共下水道事業)経常収支比率

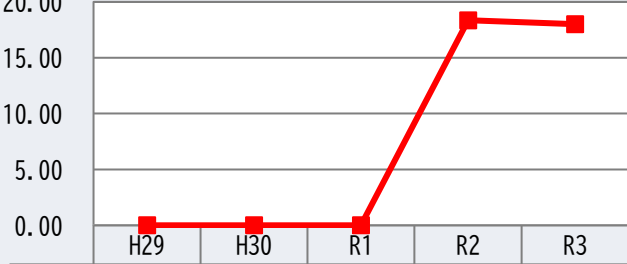
指標の名前	累積欠損金比率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$																				
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。																						
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。																						
本市の近年の実績 と類似団体平均	累積欠損金比率 (%) <table><tr><td></td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>18.36</td><td>18.01</td></tr></table>						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	-	-	平均値	-	-	-	18.36	18.01
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	-	-																	
	平均値	-	-	-	18.36	18.01																	
		出典：総務省 経営比較分析表																					
分析結果	累積欠損金比率については、毎年度黒字を確保できていることで0%となっており、健全な状態です。今後も0%継続が必須です。																						

図 2-5-2. (公共下水道事業)累積欠損金比率

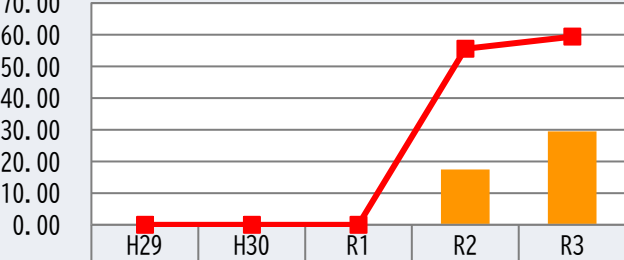
指標の名前	流動比率(%)																					
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																			
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																					
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																					
本市の近年の実績と類似団体平均	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>17.47</td><td>29.50</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>55.60</td><td>59.40</td></tr></tbody></table>					H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	17.47	29.50	平均値	-	-	-	55.60	59.40
		H29	H30	R1	R2	R3																
	沼田市	-	-	-	17.47	29.50																
平均値	-	-	-	55.60	59.40																	
出典：総務省 経営比較分析表																						
分析結果	毎年度多額の企業債償還金支出を行っている関係で流動負債が大きくなっており、流動比率は低迷しています。資金繰りの安定化のため、不断の経営改善により流動資産の確保を図って指標改善に努める必要があります。																					

図 2-5-3. (公共下水道事業)流動比率

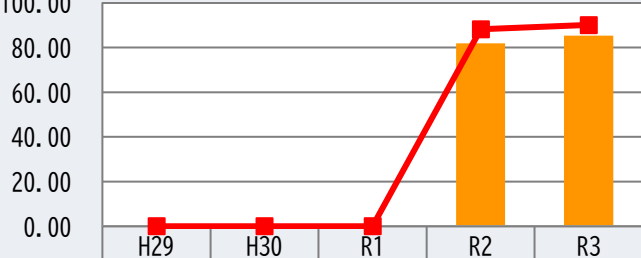
指標の名前	経費回収率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{污水处理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																				
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																						
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上であることが必要です。数値が100%を下回っている場合、污水处理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び污水处理費の削減が必要です。																						
本市の近年の実績 と類似団体平均	経費回収率 (%)  <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>81.97</td><td>85.35</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>88.25</td><td>90.17</td></tr></tbody></table>						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	81.97	85.35	平均値	-	-	-	88.25	90.17
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	81.97	85.35																	
	平均値	-	-	-	88.25	90.17																	
		出典：総務省 経営比較分析表																					
分析結果	下水道使用料のみでは経費を賄えておらず、一般会計繰入金によって補填していることを示しています。また、類似団体平均も下回っており、下水道使用料収入の確保と経費縮減の方策検討が課題となっています。																						

図 2-5-4. (公共下水道事業)経費回収率

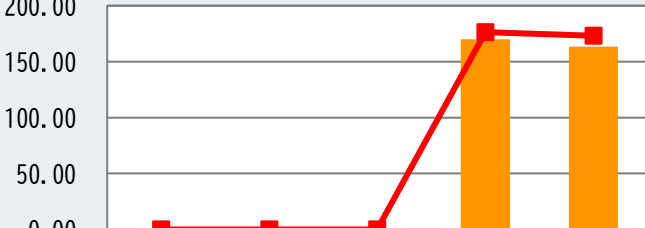
指標の名前	汚水処理原価(円)																					
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																			
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																					
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																					
本市の近年の実績 と類似団体平均	汚水処理原価 (円) <table><tr><td></td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>169.92</td><td>163.57</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>176.37</td><td>173.17</td></tr></table>					H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	169.92	163.57	平均値	-	-	-	176.37	173.17
		H29	H30	R1	R2	R3																
	沼田市	-	-	-	169.92	163.57																
	平均値	-	-	-	176.37	173.17																
出典：総務省 経営比較分析表																						
分析結果	類似団体平均は下回っているものの、より一層の原価低減が必要です。																					

図 2-5-5. (公共下水道事業)汚水処理原価

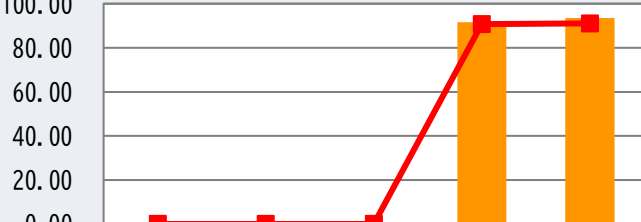
指標の名前	水洗化率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																				
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。																						
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、汚水処理が適切に行われておらず、水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上の取組みが必要です。																						
本市の近年の実績 と類似団体平均	水洗化率 (%)  <table><tr><td></td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>91.56</td><td>93.48</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>90.72</td><td>91.07</td></tr></table>						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	91.56	93.48	平均値	-	-	-	90.72	91.07
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	91.56	93.48																	
	平均値	-	-	-	90.72	91.07																	
出典：総務省 経営比較分析表																							
分析結果	類似団体平均は上回っているものの、少しでも多くの使用料を確保するため、接続率向上等の取組みが必要です。																						

図 2-5-6. (公共下水道事業)水洗化率

2-5-2. 特定環境保全公共下水道事業

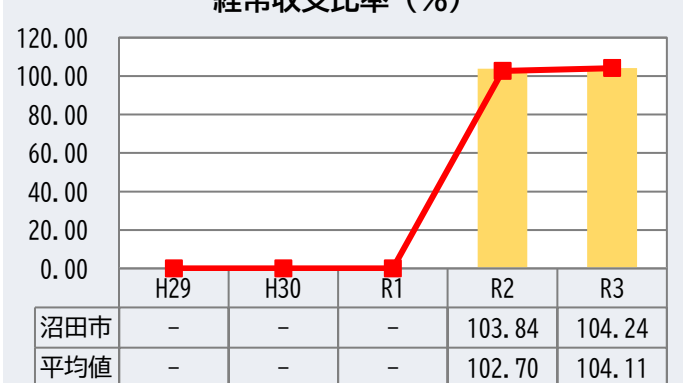
指標の名前	経常収支比率(%)					
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$			
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。					
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっていることが必要です。数値が 100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組が必要です。					
本市の近年の実績 と類似団体平均	経常収支比率 (%) 					
		H29	H30	R1	R2	R3
	沼田市	-	-	-	103.84	104.24
	平均値	-	-	-	102.70	104.11
		出典：総務省 経営比較分析表				
分析結果	経常収支比率については、類似団体平均を上回り、令和2年度の法適用以降100%超を継続できており、経営状態は安定しているといえます。今後も100%以上の水準を維持することが求められます。					

図 2-5-7. (特定環境保全公共下水道事業)経常収支比率

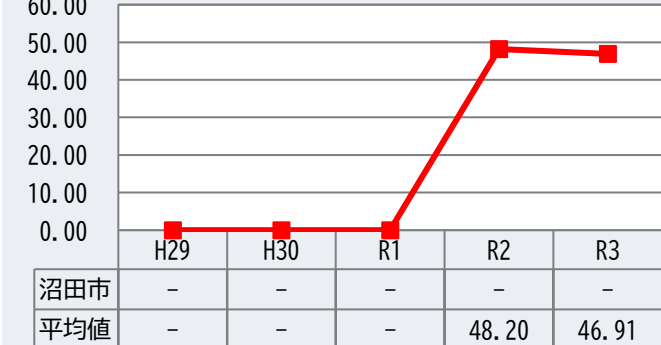
指標の名前	累積欠損金比率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$																				
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。																						
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。																						
本市の近年の実績 と類似団体平均	累積欠損金比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>48.20</td><td>46.91</td></tr></tbody></table> 出典：総務省 経営比較分析表						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	-	-	平均値	-	-	-	48.20	46.91
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	-	-																	
平均値	-	-	-	48.20	46.91																		
分析結果	累積欠損金比率については、毎年度黒字を確保できていることで0%となっており、健全な状態です。今後も0%継続が必須です。																						

図 2-5-8. (特定環境保全公共下水道事業)累積欠損金比率

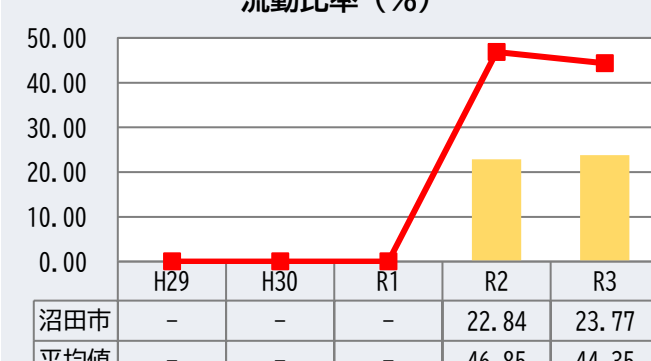
指標の名前	流動比率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																				
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																						
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																						
本市の近年の実績 と類似団体平均	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>22.84</td><td>23.77</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>46.85</td><td>44.35</td></tr></tbody></table> 出典：総務省 経営比較分析表						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	22.84	23.77	平均値	-	-	-	46.85	44.35
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	22.84	23.77																	
	平均値	-	-	-	46.85	44.35																	
	分析結果	毎年度多額の企業債償還金支出を行っている関係で流動負債が大きくなっており、流動比率は低迷しています。資金繰りの安定化のため、不断の経営改善により流動資産の確保を図って指標改善に努める必要があります。																					

図 2-5-9. (特定環境保全公共下水道事業)流動比率

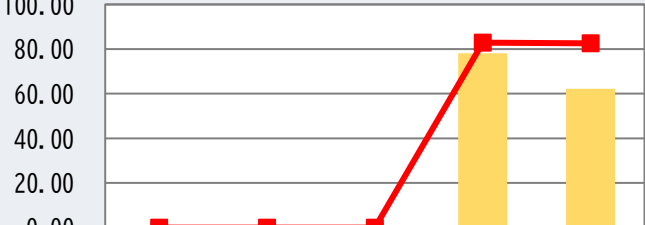
指標の名前	経費回収率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{污水处理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																				
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																						
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上であることが必要です。数値が100%を下回っている場合、污水处理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び污水处理費の削減が必要です。																						
本市の近年の実績 と類似団体平均	経費回収率 (%)  <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>78.09</td><td>62.22</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>82.88</td><td>82.53</td></tr></tbody></table> 出典：総務省 経営比較分析表						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	78.09	62.22	平均値	-	-	-	82.88	82.53
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	78.09	62.22																	
	平均値	-	-	-	82.88	82.53																	
分析結果	下水道使用料のみでは経費を賄えておらず、一般会計繰入金によって補填していることを示しています。また、類似団体平均も下回っており、下水道使用料収入の確保と経費縮減の方策検討が課題となっています。																						

図 2-5-10. (特定環境保全公共下水道事業)経費回収率

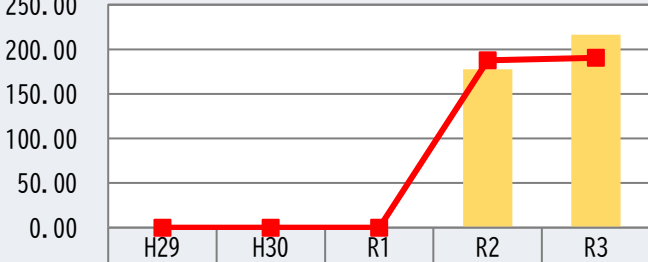
指標の名前	汚水処理原価(円)																					
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																			
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																					
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																					
本市の近年の実績と類似団体平均	汚水処理原価 (円) <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>177.48</td><td>216.52</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>187.76</td><td>190.48</td></tr></tbody></table> 出典：総務省 経営比較分析表					H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	177.48	216.52	平均値	-	-	-	187.76	190.48
	H29	H30	R1	R2	R3																	
沼田市	-	-	-	177.48	216.52																	
平均値	-	-	-	187.76	190.48																	
分析結果	処理場修繕費が増加していることが原因で指標が悪化しています。類似団体平均も上回っており、より一層の原価低減が必要です。																					

図 2-5-11. (特定環境保全公共下水道事業)污水处理原価

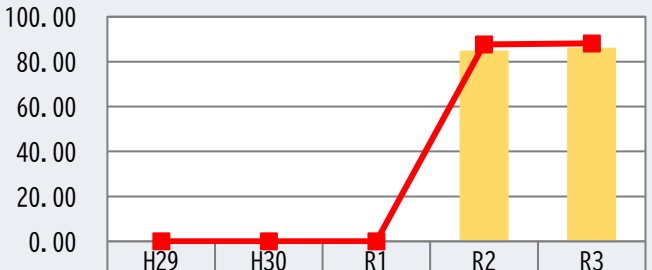
指標の名前	水洗化率(%)																					
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																			
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して污水处理している人口の割合を表した指標です。																					
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、污水处理が適切に行われておらず、水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入を図るため、水洗化率向上の取組が必要です。																					
本市の近年の実績と類似団体平均	水洗化率 (%)  <table><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>84.98</td><td>86.21</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>87.65</td><td>88.15</td></tr></table> 出典：総務省 経営比較分析表					H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	84.98	86.21	平均値	-	-	-	87.65	88.15
	H29	H30	R1	R2	R3																	
沼田市	-	-	-	84.98	86.21																	
平均値	-	-	-	87.65	88.15																	
分析結果	向上はしているものの、類似団体平均を下回っており、下水道整備済区域内で水洗化がまだ済んでいない世帯が残っていることを示しています。少しでも多くの使用料を確保するため、未接続世帯減少へ向けた取組を引き続き実施していく必要があります。																					

図 2-5-12. (特定環境保全公共下水道事業)水洗化率

2-5-3. 農業集落排水事業

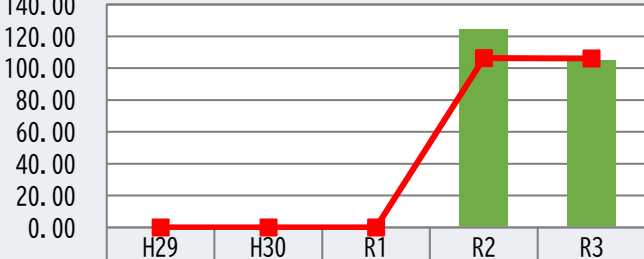
指標の名前	経常収支比率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$																				
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。																						
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっていることが必要です。数値が 100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組が必要です。																						
本市の近年の実績 と類似団体平均	経常収支比率 (%)  <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>124.37</td><td>105.07</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>106.37</td><td>106.07</td></tr></tbody></table> 出典：総務省 経営比較分析表						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	124.37	105.07	平均値	-	-	-	106.37	106.07
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	124.37	105.07																	
	平均値	-	-	-	106.37	106.07																	
	分析結果	経常収支比率については、類似団体平均を上回り、令和2年度の法適用以降100%超を継続できており、経営状態は安定しているといえます。今後も100%以上の水準を維持しことが求められます。																					

図 2-5-13. (農業集落排水事業)経常収支比率

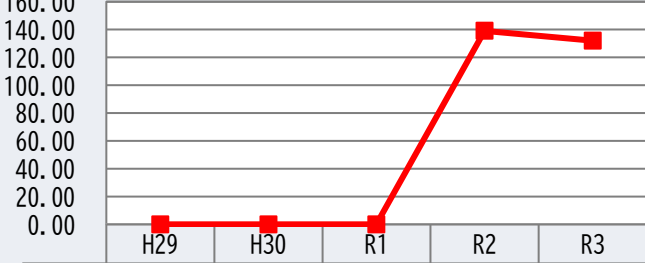
指標の名前	累積欠損金比率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$																				
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。																						
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。																						
本市の近年の実績 と類似団体平均	累積欠損金比率 (%) <table><tr><td></td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>139.02</td><td>132.04</td></tr></table>						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	-	-	平均値	-	-	-	139.02	132.04
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	-	-																	
平均値	-	-	-	139.02	132.04																		
分析結果	累積欠損金比率については、毎年度黒字を確保できていることで0%となっており、健全な状態です。今後も0%継続が必須です。																						

図 2-5-14. (農業集落排水事業)累積欠損金比率

指標の名前	流動比率(%)																					
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																			
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																					
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																					
本市の近年の実績 と類似団体平均	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>25.24</td><td>18.66</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>29.13</td><td>35.69</td></tr></tbody></table>					H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	25.24	18.66	平均値	-	-	-	29.13	35.69
		H29	H30	R1	R2	R3																
	沼田市	-	-	-	25.24	18.66																
平均値	-	-	-	29.13	35.69																	
出典：総務省 経営比較分析表																						
分析結果	毎年度多額の企業債償還金支出を行っている関係で流動負債が大きくなっており、流動比率は低迷しています。資金繰りの安定化のため、不断の経営改善により流動資産の確保を図って指標改善に努める必要があります。																					

図 2-5-15. (農業集落排水事業)流動比率

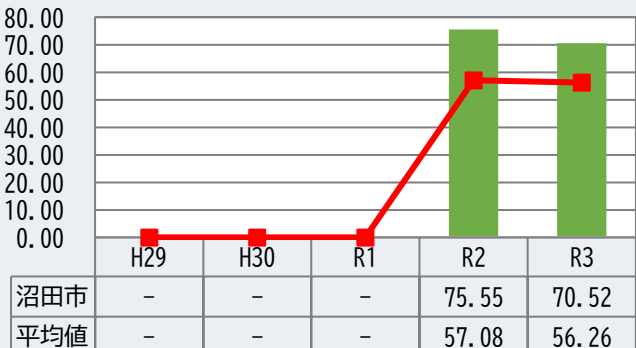
指標の名前	経費回収率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																				
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																						
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上であることが必要です。数値が100%を下回っている場合、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要です。																						
本市の近年の実績と類似団体平均	経費回収率 (%)  <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>75.55</td><td>70.52</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>57.08</td><td>56.26</td></tr></tbody></table> 出典：総務省 経営比較分析表						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	75.55	70.52	平均値	-	-	-	57.08	56.26
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	75.55	70.52																	
平均値	-	-	-	57.08	56.26																		
分析結果	下水道使用料のみでは経費を賄えておらず、一般会計繰入金によって補填していることを示しています。類似団体平均との比較では優良な数値ですが、100%を下回っていることから、下水道使用料収入の確保と経費縮減の方策検討が課題となっています。																						

図 2-5-16. (農業集落排水事業)経費回収率

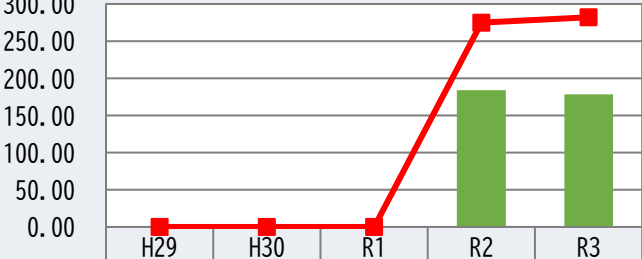
指標の名前	汚水処理原価(円)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																				
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																						
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																						
本市の近年の実績と類似団体平均	汚水処理原価 (円) <table><thead><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>183.99</td><td>178.47</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>274.99</td><td>282.09</td></tr></tbody></table>						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	183.99	178.47	平均値	-	-	-	274.99	282.09
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	183.99	178.47																	
	平均値	-	-	-	274.99	282.09																	
	出典：総務省 経営比較分析表																						
分析結果	類似団体平均は下回っているものの、より一層の原価低減が必要です。																						

図 2-5-17. (農業集落排水事業)污水处理原価

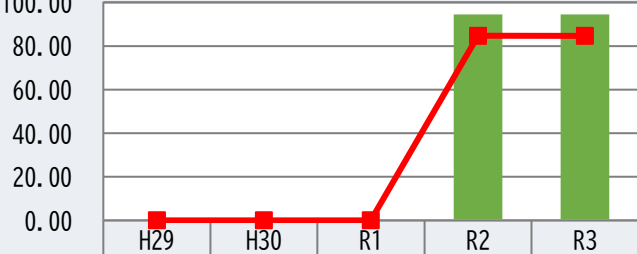
指標の名前	水洗化率(%)																						
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																				
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して污水处理している人口の割合を表した指標です。																						
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、污水处理が適切に行われておらず、水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入を図るため、水洗化率向上の取組が必要です。																						
本市の近年の実績 と類似団体平均	水洗化率 (%)  <table><tr><th></th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>94.43</td><td>94.46</td></tr><tr><td>平均値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>84.70</td><td>84.67</td></tr></table>						H29	H30	R1	R2	R3	沼田市	-	-	-	94.43	94.46	平均値	-	-	-	84.70	84.67
		H29	H30	R1	R2	R3																	
	沼田市	-	-	-	94.43	94.46																	
	平均値	-	-	-	84.70	84.67																	
	出典：総務省 経営比較分析表																						
分析結果	類似団体平均を上回っており、かなりの割合で水洗化が済んでいることを示しています。少しでも多くの使用料を確保するため、未接続世帯減少へ向けた取組みを引き続き実施していくことが必要です。																						

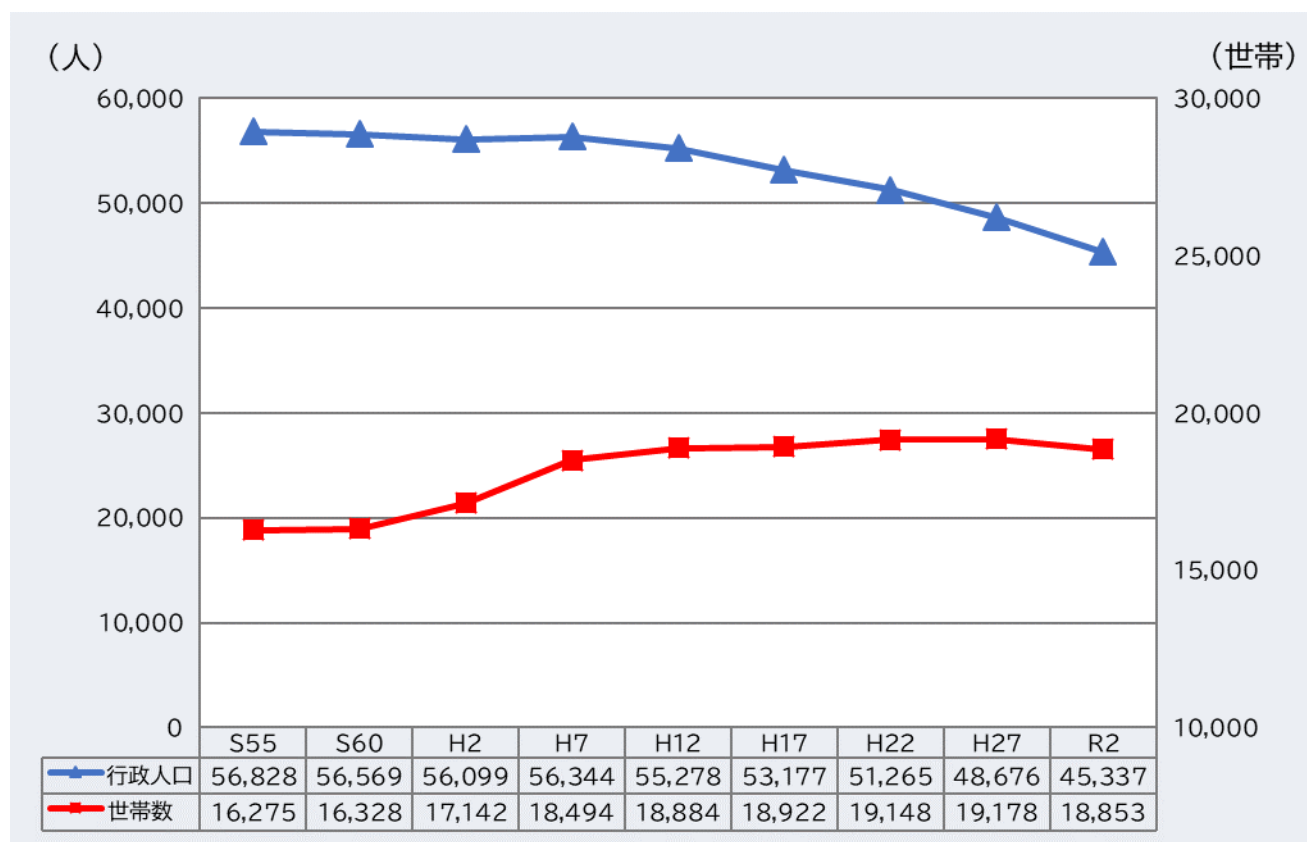
図 2-5-18. (農業集落排水事業)水洗化率

第3章 事業を取り巻く経営環境

3-1. 行政人口と世帯数の推移

下水道事業の経営を支える下水道使用料収入は、行政人口の増減に大きな影響を受けます。

本市の行政人口は、昭和55年頃をピークに減少傾向が続いています。世帯数については、核家族化等の影響により長く増加傾向が続いていましたが、令和2年度に減少傾向に転じました。



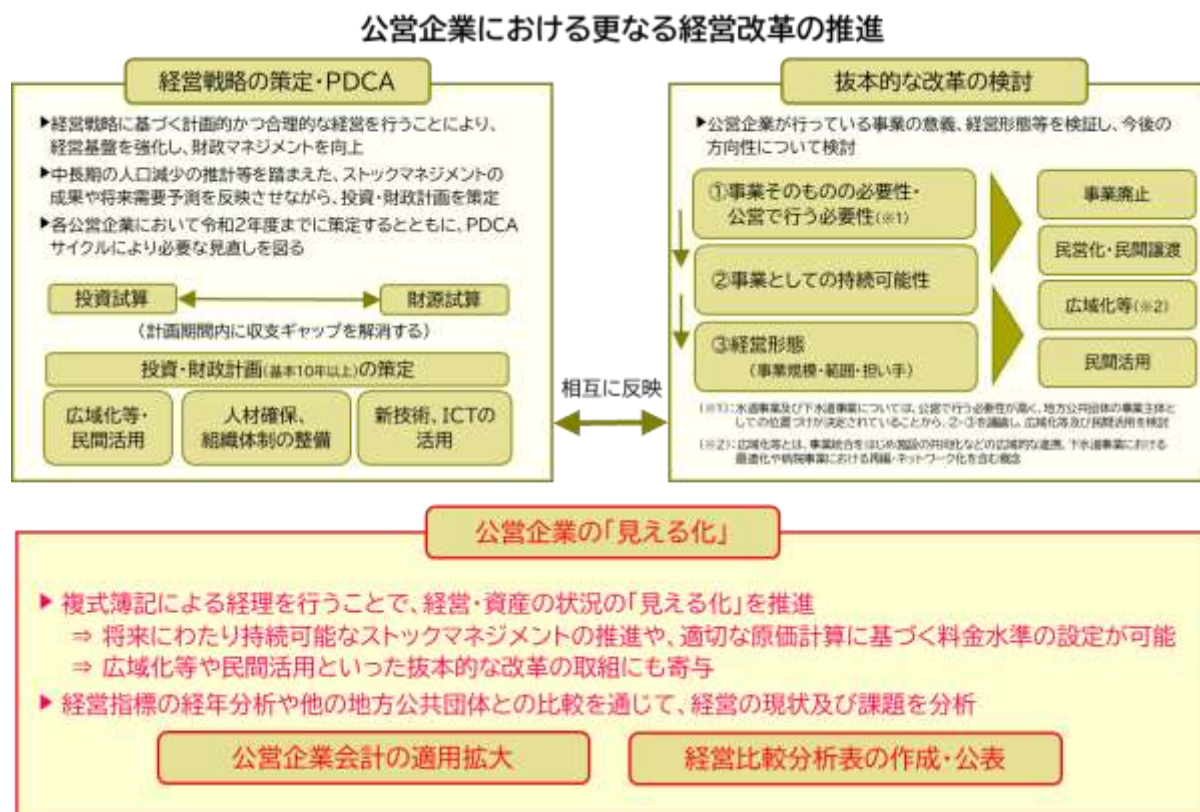
出典：国勢調査（総務省統計局）

図 3-1-1. 行政人口と世帯数の推移

3-2. 地方公営企業法の適用

本市下水道事業は令和2年4月1日に地方公営企業法の全部を適用したことにより、従前の官庁会計方式から水道事業と同じ『公営企業会計』方式へと変わりました。

民間企業と同様の企業会計方式への移行により、資産・負債等財務状況や期間損益計算による経営成績の正確な把握に資する「経営の見える化」を果たし、弾力的かつ機動的な事業運営の実現に向けて推進しています。



出典：総務省資料を加工して作成

図 3-2-1. 公営企業会計の位置付け

3-3. 事業運営組織の状況

沼田市の下水道事業の組織は、都市建設部内の上下水道経営課と上下水道整備課で執務しており、以下の人員構成となっています。

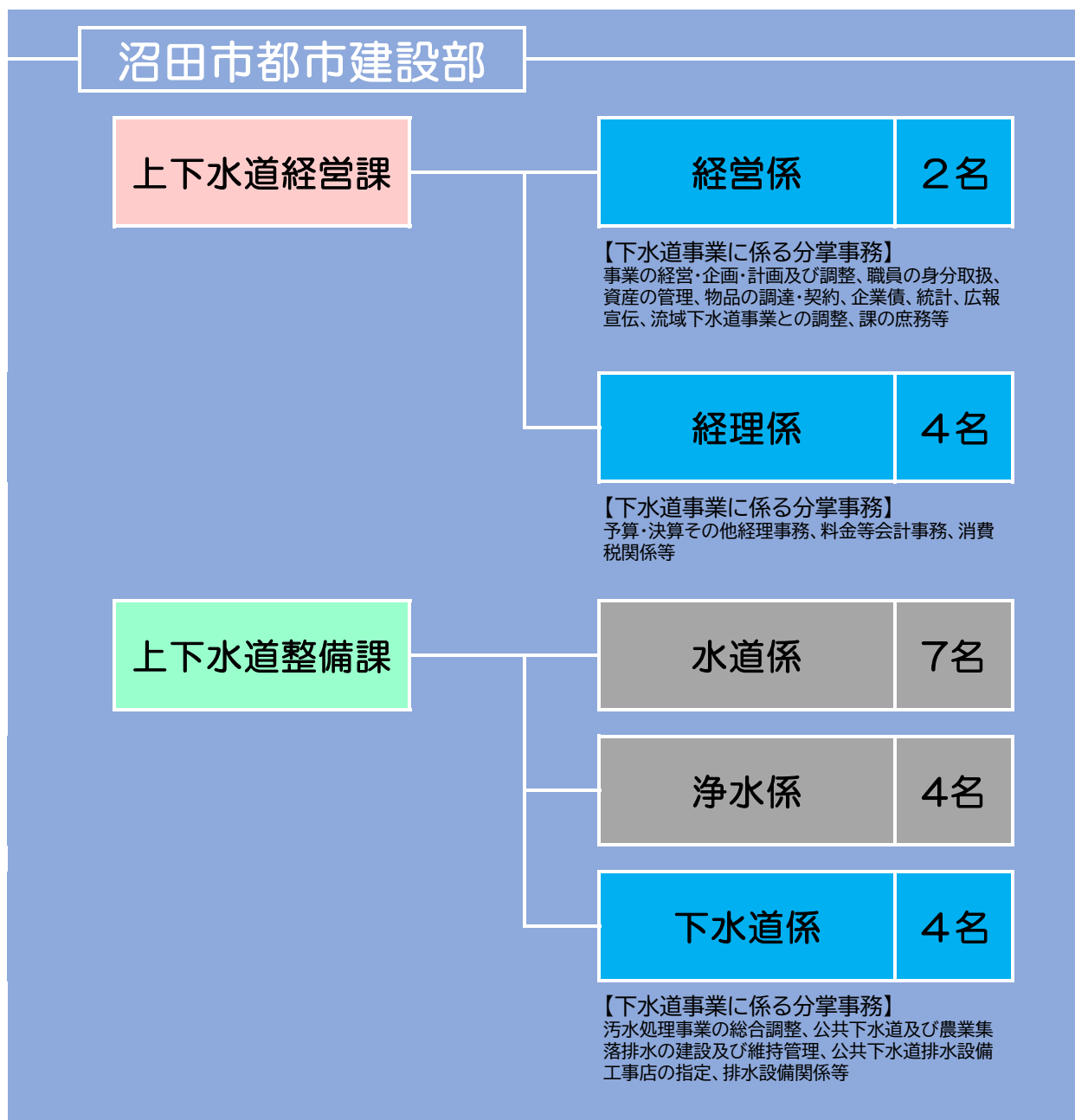


図 3-3-1. 沼田市下水道事業組織体制図(R4.4.1 現在)

第4章 理念と経営基本方針

4-1. SDGs と下水道

SDGs（持続可能な開発目標）に対し、より良い世界を創るべく、本市下水道事業は様々な貢献を果たしています。



図 4-1-1. SDGs17 のゴール(目標)

SDGs(エス・ディー・ジーズ)

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

出典:外務省

表 4-1-1. SDGs17 のゴール(目標)と沼田市下水道事業の関わり

SDGs目標	ターゲット及び沼田市下水道事業が貢献している内容
 3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	3.3 2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。 下水道の基本的役割である公衆衛生の向上の達成により、水系感染症への対処に貢献しています。
 6 安全な水とトイレを世界中に 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。 下水道の普及と事業場への排水指導により、公共用水域の水質改善に貢献しています。
 9 産業と雇用創出の基盤をつくらう 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	9.1 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱(レジリエント)なインフラを開発する。 地域経済を支える持続可能かつ強靱なインフラを目指し、維持管理と改築更新に取り組めます。
 11 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。 下水道の雨水管きょが持つ浸水防除機能は水関連災害の減少に貢献しています。

4-2. 下水道事業の理念

本市のまちづくりの指針である「沼田市第六次総合計画」に掲げる将来像「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち 沼田」及び「沼田都市計画マスタープラン」における都市づくりの基本理念「豊かな自然とまちの魅力を活かしたこころ豊かに暮らせるまちづくり」を目指し、河川の水質保全及び公衆衛生の向上並びに浸水防除の推進によって生活・環境・景観を守る持続可能な下水道事業に向けて次のとおり理念を定めます。

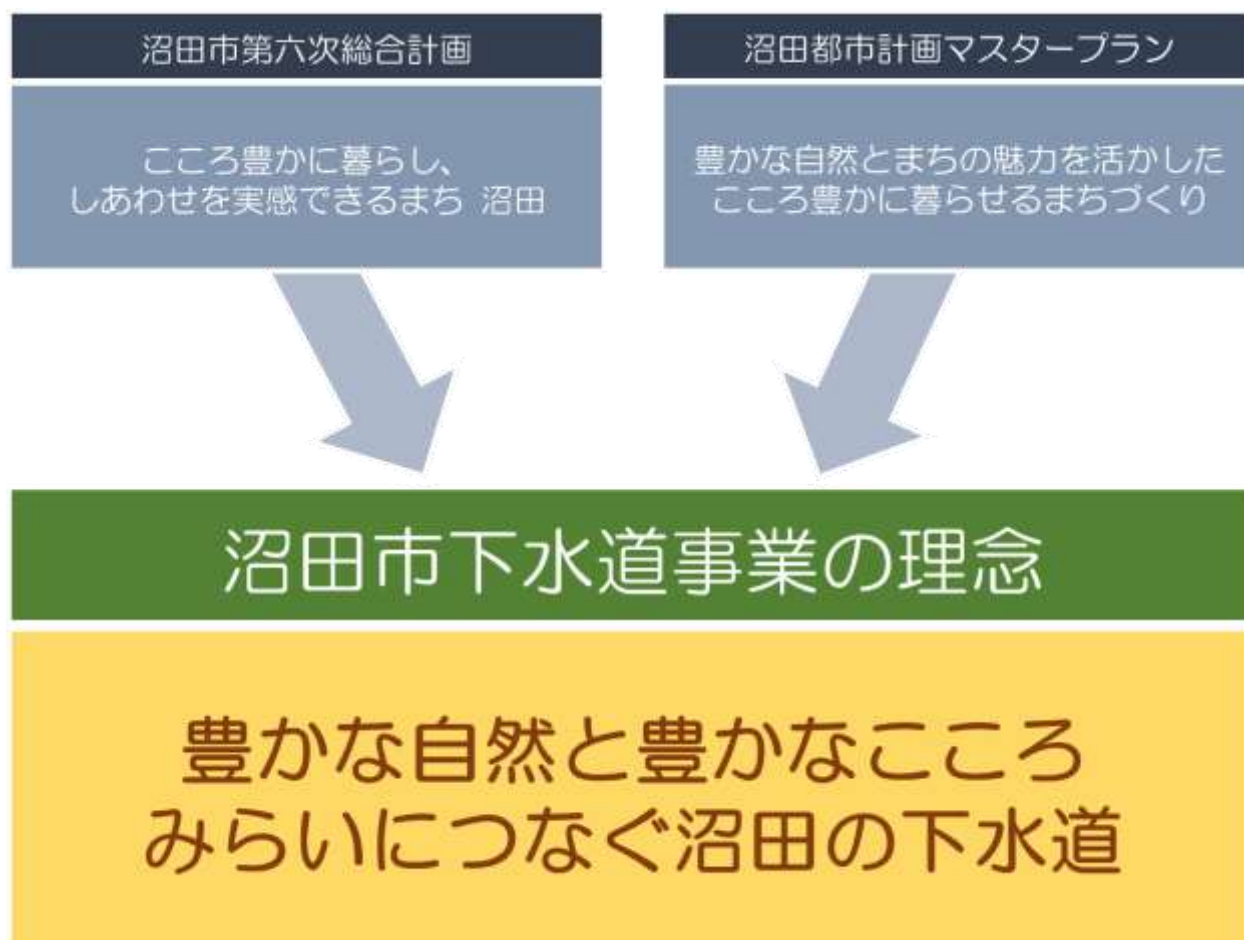


図 4-2-1. 沼田市下水道事業の理念



森林文化都市キャラクター「ぬまたんち」

4-3. 経営基本方針及び目標設定

4-3-1. 公共下水道事業

公共下水道事業の経営基本方針及び経営目標を次のとおり定めます。

(1) 経営基本方針

●下水道普及の継続

長期にわたって普及に努めてきた公共下水道の整備事業は現在では終盤に差し掛かっていますが、いまだ下水道二ズの高い地域もあります。また、整備工事が済んだ地区でも下水道未接続の世帯も一部残っており、引き続き下水道普及活動を継続していきます。

●ストックマネジメントの推進

ストックマネジメントとは、長期的な視点で下水道施設（ストック）全体の今後の老朽化の進展状況を考慮した優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕（または改築・更新）を実施し、ライフサイクルコストの最小化を図るなど施設全体を対象とした施設管理の最適化を目的とした施策です。

本市公共下水道事業では、令和2～3年度に「沼田市公共下水道ストックマネジメント計画」を策定し、取り組み着手したところです。

本計画期間中も引き続きストックマネジメント計画に沿った修繕・改築事業を継続的に進めます。

●経費削減

人口減少に伴う使用料収入減に加え、近年の物価上昇等により経営環境が厳しさを増すなか、不断の経営改善努力を続けることが求められます。

経費の見直しを実施し、さらなる経費削減に向けた取り組みを行います。

(2) 計画期間中（R5～14年度）における具体的な経営目標

表 4-3-1. 公共下水道事業の経営目標

基本方針	施 策	計画期間（R5～14年度） における具体的な目標
下水道普及の継続	各地域の下水道二ズに応じた管きょ整備工事	（10年間で） 12ha以上の整備を実施する
ストックマネジメントの推進	老朽化した管きょ・マンホール蓋・ポンプ場の改築	（10年間で） 総額8億円（税込）以上の事業を実施する
経費削減	経常的に発生する各種経費の見直しによる費用の削減	（R9）経費回収率80%以上 （R14）経費回収率75%以上
使用料に関する検討の実施	経営改善のための使用料水準及び使用料体系の検討	次回経営戦略見直し時（令和9年度予定）までに具体的な検討を実施

4-3-2. 特定環境保全公共下水道事業

特定環境保全公共下水道事業の経営基本方針及び経営目標を次のとおり定めます。

(1) 経営基本方針

●ストックマネジメントの推進

公共下水道事業に続いて特定環境保全公共下水道事業も令和4年度に「沼田市特定環境保全公共下水道ストックマネジメント計画」を策定し、取組みに着手したところです。

特定環境保全公共下水道事業で保有する処理場・ポンプ場・管きょ等のストックについて、ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築事業を進めます。

●経費削減

人口減少に伴う使用料収入減に加え、近年の物価上昇等により経営環境が厳しさを増すなか、不断の経営改善努力を続けることが求められます。

経費の見直しを実施し、さらなる経費削減に向けた取組みを行います。

(2) 計画期間中（R5～14年度）における具体的な経営目標

表 4-3-2. 特定環境保全公共下水道事業の経営目標

基本方針	施 策	計画期間（R5～14年度） における具体的な目標
ストックマネジメントの推進	老朽化した管きょ・マンホール蓋・処理場・ポンプ場の改築	（10年間で） 総額5億円（税込）以上の事業を実施する
経費削減	経常的に発生する各種経費の見直しによる費用の削減	（R9）経費回収率75%以上 （R14）経費回収率70%以上
使用料に関する検討の実施	経営改善のための使用料水準及び使用料体系の検討	次回経営戦略見直し時（令和9年度予定）までに具体的な検討を実施

4-3-3. 農業集落排水事業

農業集落排水事業の経営基本方針及び経営目標を次のとおり定めます。

(1) 経営基本方針

●維持補修による性能維持

農業集落排水施設では、浄化槽法及び水質汚濁防止法等の関係法令に基づいて適切な管理を行い、処理水の排水基準を遵守することが求められています。

本市で最も古い排水施設は供用開始から約 30 年が経過し、老朽化が進行しています。

日常的な点検・調査に基づく状態監視を行い、各設備類の劣化状態を把握し、適切な時期に修繕（または改築・更新）を行うことで各施設の汚水処理性能の維持に努めます。

●施設の今後のあり方に関する検討の着手

各処理区域における将来の排水量予測等を勘案し、既存施設を改築するケースと大型浄化槽へ転換するケースで経営比較を行う等、今後の施設のあり方に関する検討を本計画期間中に着手します。

(2) 計画期間中（R5～14 年度）における具体的な経営目標

表 4-3-3. 農業集落排水事業の経営目標

基本方針	施 策	計画期間（R5～14年度） における具体的な目標
維持補修による性能維持	各設備類の状態監視を行い、修繕（または改築・更新）の時期を適切に判断する	（10年間で） 計画策定を含めた検討に着手する
施設の今後のあり方に関する検討の着手	他の汚水処理方式への転換を含めた抜本的かつ具体的な検討	（10年以内に） 計画策定を含めた検討に着手する
使用料に関する検討の実施	経営改善のための使用料水準及び使用料体系の検討	次回経営戦略見直し時（令和9年度予定）までに具体的な検討を実施

第5章 将来の経営環境

5-1. 将来の行政人口見通し

『第2期沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略』では、令和22年における将来人口を40,000人と設定しています。これは、「若年層・子育て世代の転出抑制」、「地域の魅力を発信して二地域（二拠点）居住や移住・定住を促進」や「出産・子育て支援策の推進」といった人口増加施策の効果発現を見込んだ目標値です。

一方、国立社会保障・人口問題研究所（2018年推計）が推計した令和2年時点の本市人口予測値45,815人は、令和2年に実施した国勢調査の結果である人口45,337人に近似しています。こちらの推計における令和22年人口推計値は34,068人です。

本経営戦略においては、より厳しい将来推計を行う観点から、国立社会保障・人口問題研究所の推計に基づいて使用料収入予測の計画を立てることとします。

行政人口及び世帯数の将来予測値を図5-1-1に示します。

なお、世帯数の将来予測値については、国立社会保障・人口問題研究所の群馬県世帯数将来予測における5年置きの減少率を令和2年時点の本市世帯数に当てはめて簡易的に推計しています。

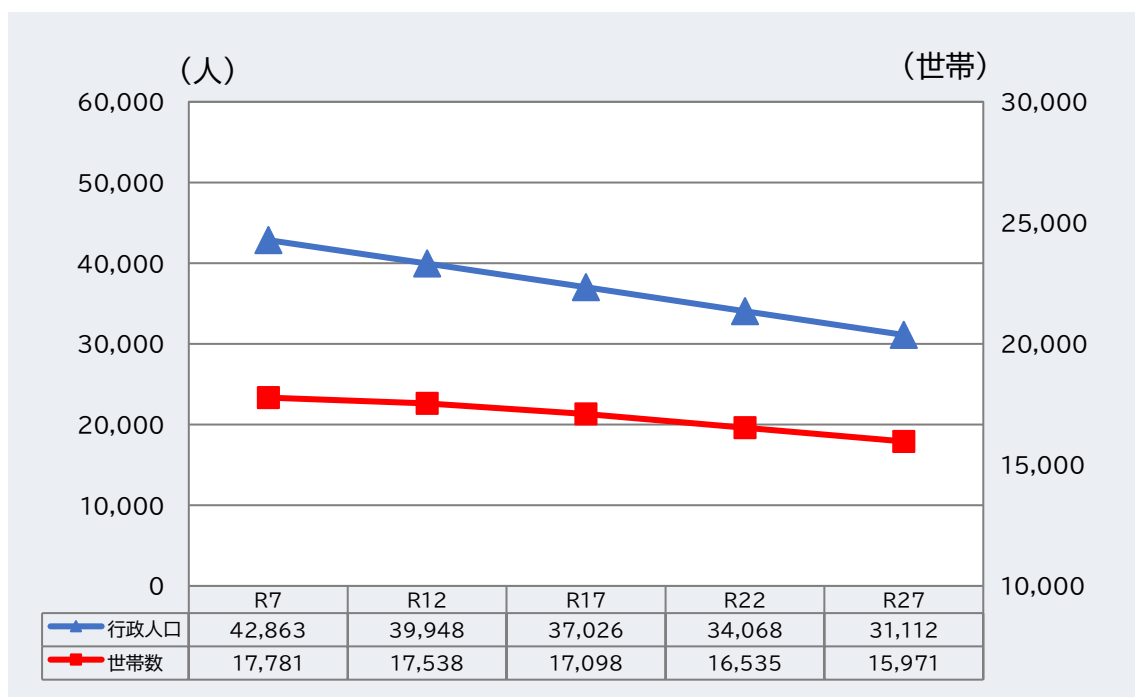


図 5-1-1. 行政人口及び世帯数の推移(予測)

5-2. 下水道使用料収入の見通し

将来の人口予測を基に各事業における下水道使用料収入の将来見通しを試算します。

前提条件として、令和5年度以降は管きょ整備を行わず、整備済区域からの新規接続も発生しないものと仮定して推計しています。

5-2-1. 公共下水道事業

公共下水道事業における下水道使用料収入の将来見通しを図5-2-1に示します。

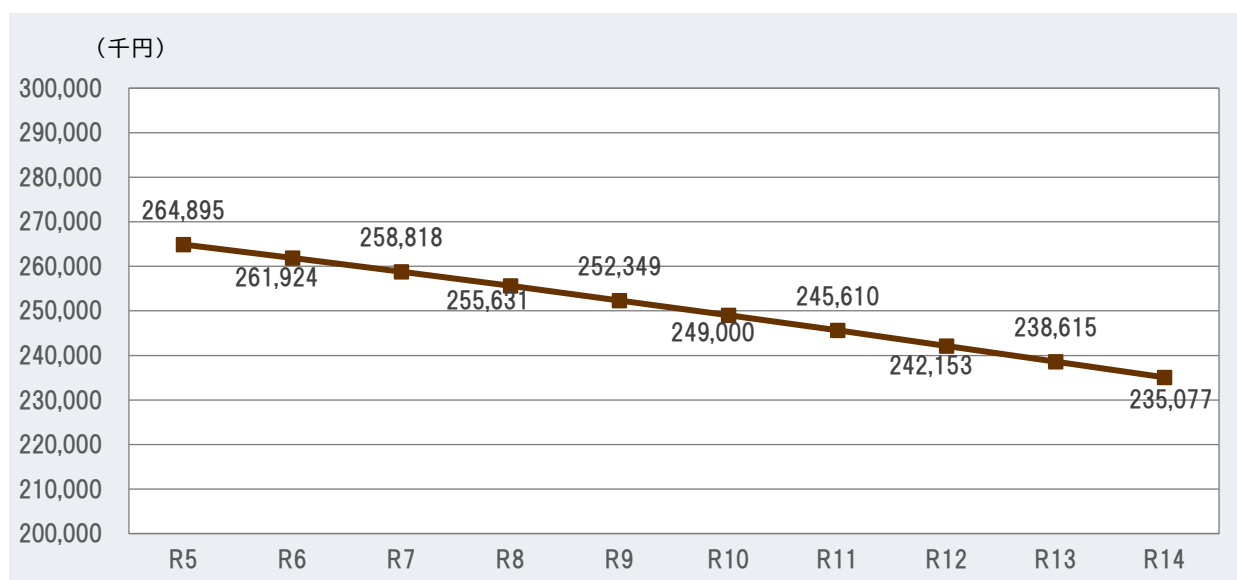


図 5-2-1. (公共下水道事業)下水道使用料収入の将来予測

算定方法は次のとおりです。

下水道使用料の推計方法

- ①将来人口推計と同じ比率で水洗化人口も変動するものとみなし、水洗化人口減少分を差し引いた毎年度の水洗化人口を推計
- ②R3 年度実績の水洗化人口 1 人当たり年間排水量(110.4 m³)に各年度の水洗化人口合計を乗じて年間総排水量を算定
- ③有収率については近年横ばいで推移(R2:87.9%、R3:87.4%)していることから、R3 年度実績の有収率 87.4%が将来にわたって継続するものとして年間総排水量を乗じて年間有収水量を算定
- ④年間有収水量に直近実績における1 m³当りの平均使用料税抜単価(R3:140 円)を乗じて年間使用料収入額を算定

5-2-2. 特定環境保全公共下水道事業

特定環境保全公共下水道事業における下水道使用料収入の将来見通しを図 5-2-2 に示します。

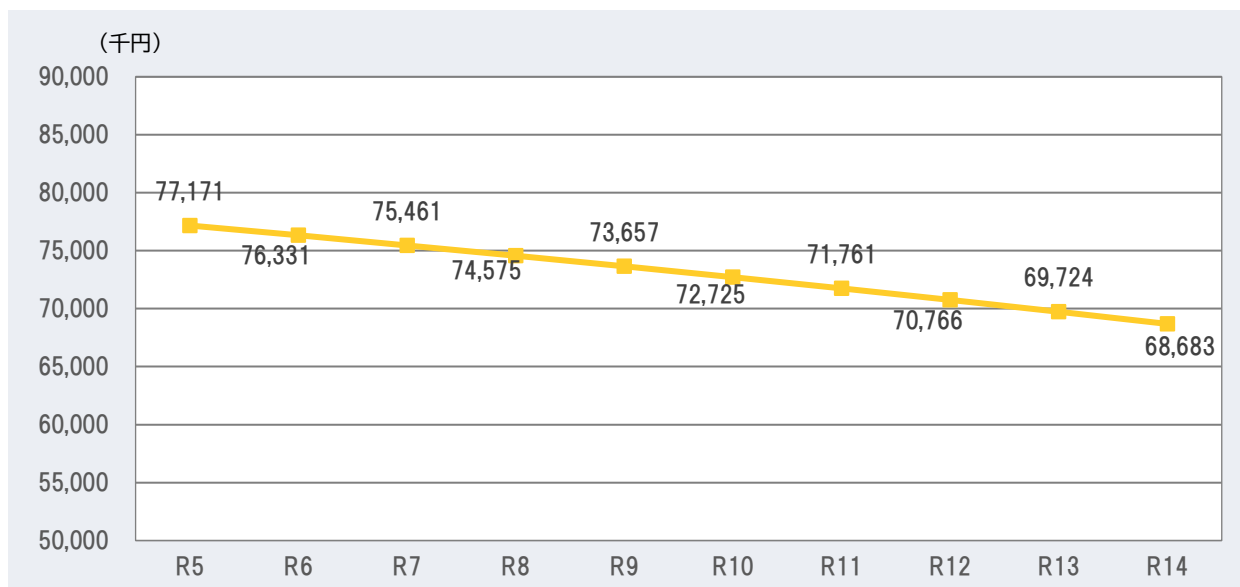


図 5-2-2. (特定環境保全公共下水道事業)下水道使用料収入の将来予測

算定方法は次のとおりです。

下水道使用料の推計方法

- ①将来人口推計と同じ比率で水洗化人口も変動するものとみなし、水洗化人口減少分を差し引いた毎年度の水洗化人口を推計
- ②R3 年度実績の水洗化人口 1 人当たり年間排水量(103.4 m³)に各年度の水洗化人口合計を乗じて年間総排水量を算定
- ③有収率については近年横ばいで推移(R2:96.7%、R3:96.0%)していることから、R3 年度実績の有収率 96.0%が将来にわたって継続するものとして年間総排水量を乗じて年間有収水量を算定
- ④年間有収水量に直近実績における1 m³当りの平均使用料税抜単価(R3:135 円)を乗じて年間使用料収入額を算定

5-2-3. 農業集落排水事業

農業集落排水事業における農業集落排水施設使用料（下水道における下水道使用料に相当）収入の将来見通しを図 5-2-3 に示します。



図 5-2-3. （農業集落排水事業）農業集落排水施設使用料収入の将来予測

算定方法は次のとおりです。

農業集落排水施設使用料の推計方法

- ①将来人口推計と同じ比率で水洗化人口も変動するものとみなし、水洗化人口減少分を差し引いた毎年度の水洗化人口を推計
- ②R3 年度実績の水洗化人口 1 人当たり年間排水量(100.9 m³)に各年度の水洗化人口合計を乗じて年間総排水量を算定
- ③有収率については近年横ばいで推移(R2:100%、R3:100%)していることから、R3 年度実績の有収率 100%が将来にわたって継続するものとして年間総排水量を乗じて年間有収水量を算定
- ④年間有収水量に直近実績における1 m³当りの平均使用料税抜単価(R3:126 円)を乗じて年間使用料収入額を算定

将来的に使用料収入不足が発生することが全ての事業で見込まれます。

第6章 投資と財源に関する取組み

6-1. 投資に関する取組み

第4章で設定した事業別経営目標及び第5章における将来の経営環境予測に基づいた具体的な投資計画を示します。

6-1-1. 公共下水道事業

(1) 管きょ整備計画

衛生的な住環境の提供と公共用水域の水質保全のため、下水道未普及地域に対して管きょ整備工事を継続して実施します。

今後10年間の整備計画は図6-1-1のとおりです。

国庫補助金対象工事と市の単独事業として実施する工事を区別した計画としています。

概算事業費として、10年間総額約3億円を見込みます。

分類		詳 細	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	10年合計
未普及地域への管きよ整備事業	工事	整備面積 (ha)	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	12.00
		整備面積累計 (ha)	773.14	775.14	776.14	777.14	778.14	779.14	780.14	781.14	782.14	783.14	—
		管きよ工事 国庫補助事業 (千円)											120,102
		管きよ工事 市単独事業 (千円)											157,390
	委託	設計委託 (千円)											20,000
		事業費総合計(令和5～14年度) (千円)											

図 6-1-1. 公共下水道事業)管きょ整備計画

(2) スtockマネジメント計画

公共下水道事業のストックマネジメントでは、中継ポンプ場、マンホール形式ポンプ場、管きょ本管、マンホール及びマンホール蓋等多岐にわたる施設を対象としています。点検・調査に基づく劣化診断により適切な時期・適切な箇所に対策を講じることでライフサイクルコストの低減化及び事業費の平準化を目指します。

また、ストックマネジメント計画第2期・第3期の計画策定を期間中に見込み、長期的に事業の精度向上を図っていきます。

今後10年間の事業計画は図6-1-2のとおりです。

概算事業費として、10年間総額約8億4千万円を見込みます。

分類	詳細	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	10年合計
ストック マネジメント 事業	管きょ改築工事 国庫補助事業 (千円)		➡		➡		➡	➡	➡	➡	➡	28,476
	管きょ改築工事 市単独事業 (千円)		➡									558
	マンホール蓋交換工事 国庫補助事業 (千円)	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	468,882
	ポンプ場(土木建築) (マンホールポンプを含む) 国庫補助事業 (千円)		➡	➡	➡			➡	➡	➡	➡	88,900
	ポンプ場(機械電気) (マンホールポンプを含む) 国庫補助事業 (千円)		➡	➡	➡			➡	➡	➡	➡	107,200
	管きょの 調査・設計委託 (千円)		➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	➡	90,591
	ストックマネジメント 計画策定委託 (千円)					➡					➡	60,000
事業費総合計(令和5～14年度) (千円)												844,607

図 6-1-2. (公共下水道事業)ストックマネジメント計画

(3) その他の投資計画

上記のほか、今後 10 年間で見込んでいる投資計画は図 6-1-3 のとおりです。

公共下水道事業は県が所管する利根川上流流域下水道（奥利根処理区）に接続しており、流域下水道に対して基幹系施設及び管きょの建設費の一部を「流域下水道建設負担金」として負担しています。計画額は 10 年間総額約 4 億円見込んでいます。

令和 6 年度には公用車 1 台買い替えを計画しており、約 130 万円を計上しました。

その他、定期的に見直しを行っている下水道事業計画の策定委託料として約 1,000 万円を見込んでいます。

分類	詳細	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	10年合計
その他の事業	負担金 流域下水道建設 (千円)											408,788
	購入 公用車購入 (千円)											1,300
	委託 事業計画策定委託 (千円)											10,000
	事業費総合計(令和5～14年度) (千円)											420,088

図 6-1-3. (公共下水道事業)その他の投資計画

6-1-2. 特定環境保全公共下水道事業

(1) スtockマネジメント計画

特定環境保全公共下水道事業のうち、奥利根地区については公共下水道事業と同じ利根川上流流域下水道（奥利根処理区）に接続していますが、利根地区及び白沢地区については市で管理する終末処理場で汚水処理を行っています。

令和4年度に策定した特定環境保全公共下水道事業ストックマネジメント計画では、供用開始から30年以上経過した「利根水質浄化センター」及び「白沢水質浄化センター」を対象に、劣化診断の結果健全度低下が認められる機器類を中心に予防保全的に改築更新を行う計画とし、ライフサイクルコストの低減化及び事業費の平準化を目指します。

今後10年間の事業計画は図6-1-4のとおりです。

概算事業費として、10年間総額約5億4千万円を見込みます。

分 類		詳 細	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	10年合計	
ストック マネジ メント 事業	工 事	処理場(機械電気)短期 国庫補助事業 (千円)											450,000	
		処理場(機械電気)中期 国庫補助事業 (千円)											24,000	
	委 託	設計委託 (千円)												60,000
		ストックマネジメント 計画策定委託 (千円)												10,000
	事業費総合計(令和5～14年度) (千円)												544,000	

図 6-1-4. (特定環境保全公共下水道事業)ストックマネジメント計画

6-1-3. 農業集落排水事業

(1) 施設機能維持計画

農業集落排水事業では9つある処理区ごとに汚水処理施設を保有していますが、最も古いもので供用開始から30年経過しており、老朽化の懸念があります。

住民サービスを引き続き提供し続けるため、施設内に設置された機器類（機械設備及び電気設備）の機能を維持できるよう、状態監視により修繕または改築を実施する計画としています。

今後10年間の事業計画は図6-1-5のとおりです。

部品取替などによる修繕費として約2,200万円、機器を新品に更新する改築費として約2,700万円を計上しています。

分類		詳細	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	10年合計
農業 集落排水施設 修繕改築事業	工事	処理場(機械電気)修繕 (マンホールポンプを含む) (千円)											22,000
		処理場(機械電気)改築 (マンホールポンプを含む) (千円)											27,000
	事業費総合計(令和5～14年度) (千円)												49,000

図 6-1-5. (農業集落排水事業)施設機能維持計画

(2) スtockマネジメント計画

公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業に続いて農業集落排水事業でもストックマネジメントに着手します。

9つある汚水処理施設の老朽化対策を中心に、まずは本計画期間中に中期計画を策定し、(1)施設機能維持計画からより高度なストックマネジメント計画へと移行します。

分類	詳細	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	10年合計
ストック マネジ メント 事業	委託 ストックマネジメント 計画策定委託 (千円)											30,000
	事業費総合計(令和5～14年度) (千円)											30,000

図 6-1-6. (農業集落排水事業)ストックマネジメント計画

6-2. 財源に関する取組み

計画上の投資額と維持管理費を賄うためには財源確保が必要です。

下水道使用料や補助金等さまざまな財源を検討し、長期的視野で収支の均衡を図る財源試算を行います。

6-2-1. 公共下水道事業

公共下水道事業における各種財源の基本的な考え方は次のとおりです。

(1) 下水道使用料について

人口減少に加え、施設の老朽化等経営環境が厳しさを増すなか、他の財源の確保やコスト縮減に注力することで利用者の方々の負担を最小限に抑えます。

また、下水道使用料を少しでも多く確保するため、水洗便所改造資金貸し付け制度（無利子）の周知や下水道普及活動等により、下水道接続促進に努めます。

これらの収支改善策を講じてもおお財源不足が生じる場合は、使用料水準の見直しを検討します。

(2) 国庫（県費）補助金の確保

建設事業に係る国庫補助金として国土交通省の「社会資本整備総合交付金」及び「防災・安全交付金」を活用しています。

未普及地域に対する下水道整備、施設の老朽化対策（ストックマネジメント事業）、施設耐震化や雨水浸水対策などの事業が国庫補助の対象となります。

上記のほか、県の公共下水道建設事業費補助金も活用しています。

今後も補助制度や国・県の動向に注目しつつ、積極的に補助金を活用して財源確保に努めます。

(3) 一般会計繰入金について

下水道は生活環境からの汚水の排除という私的便益だけでなく、浸水の防除、公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全等、不特定多数に公的便益が及ぶ公共事業的側面もあることから、事業で発生する経費に対して一定の公費（税金）を充てることが適当とされています。

国が定めた基準を参考に、適切に算定した額を一般会計繰入金（他会計負担金・他会計補助金・出資金）として受け入れます。ただし、一般会計へ過度に依存しないよう、事業運営上必要最低限の額に留めます。

(4) 企業債（建設改良企業債）の活用

企業債は建設改良事業に必要な資金を外部から調達するために発行する債券（地方債）です。

償還に際して利率に応じて支払利息が発生することから、可能な限り有利な条件検討するとともに、過度の借入により将来世代へ負担を先送りしない規律ある運用に努めます。

（５）企業債（資本費平準化債）の活用

資本費平準化債も企業債の一種です。

公共下水道事業で保有する固定資産の大部分を占める管きょ施設は、減価償却費の耐用年数（50年）と企業債の償還期間（30年）の期間的な差があることから、減価償却を通じた投資回収額（収入）と元金償還金（支出）の間にギャップを生み、慢性的な財源不足を生みます。

その財源不足を安易に一般会計負担に求めないように、元金償還金へ充当できる資本費平準化債の活用を今後も継続し、財政収支均衡を図ります。

（６）事業費の財源構成

「6-1.投資に関する取組み」に掲げた各種事業計画上の事業費に充てる財源は、国庫補助事業内容や地方債制度を勘案して検討する必要があります。

公共下水道事業の事業費に係る財源構成比率を図6-2-1に示します。

事業の内容		補助・単独 の区分	財源構成比率（％）		
			国庫 補助金	企業債 （30年）	その他 財源
委 託 料	計画策定	市単独事業	0%	0%	100%
		国庫補助事業	50%	0%	50%
	設計委託	市単独事業	0%	95%	5%
		国庫補助事業	50%	45%	5%
工 事 請 負 費	管きょ整備工事	市単独事業	0%	95%	5%
		国庫補助事業	50%	45%	5%
	ストックマネジメント に基づく改築更新工事	市単独事業	0%	95%	5%
		国庫補助事業	55%	40%	5%
負 担 金	流域下水道建設	市単独事業	0%	100%	0%

図 6-2-1. 公共下水道事業における事業費財源構成比率

6-2-2. 特定環境保全公共下水道事業

特定環境保全公共下水道事業における各種財源の基本的な考え方は次のとおりです。

（１）下水道使用料について

人口減少に加え、施設の老朽化等経営環境が厳しさを増すなか、他の財源の確保やコスト縮減に注力することで利用者の方々の負担を最小限に抑えます。

また、下水道使用料を少しでも多く確保するため、水洗便所改造資金貸し付け制度（無利子）の周知や下水道普及活動等により、下水道接続促進に努めます。

これらの収支改善策を講じてもお財源不足が生じる場合は、使用料水準の見直しを検討します。

（２）国庫補助金の確保

建設事業に係る国庫補助金として国土交通省の「社会資本整備総合交付金」及び「防災・安全交付金」を活用しています。

下水道施設の老朽化対策（ストックマネジメント事業）や施設耐震化などの事業が国庫補助の対象となります。

今後も補助制度や国・県の動向に注目しつつ、効率的に補助金を活用して財源確保に努めます。

（３）一般会計繰入金について

下水道は生活環境からの汚水の排除という私的便益だけでなく、浸水の防除、公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全等、不特定多数に公的便益が及ぶ公共事業的側面もあることから、事業で発生する経費に対して一定の公費（税金）を充てることが適当とされています。

国が定めた基準を参考に、適切に算定した額を一般会計繰入金（他会計負担金・他会計補助金・出資金）として受け入れます。ただし、一般会計へ過度に依存しないよう、事業運営上必要最低限の額に留めます。

（４）企業債（建設改良企業債）の活用

企業債は建設改良事業に必要な資金を外部から調達するために発行する債券（地方債）です。

償還に際して利率に応じて支払利息が発生することから、可能な限り有利な条件を検討するとともに、過度の借入により将来世代へ負担を先送りしない規律ある運用に努めます。

（５）企業債（資本費平準化債）の活用

資本費平準化債も企業債の一種です。

公共下水道事業で保有する固定資産の大部分を占める管きょ施設は、減価償却費の耐用年数（50年）と企業債の償還期間（30年）の期間的な差があることから、減価償却を通じた投資回収額（収入）と元金償還金（支出）の間にギャップを生み、慢性的な財源不足を生みます。

その財源不足を安易に一般会計負担に求めないように、元金償還金へ充当できる資本費平準化債の活用を今後も継続し、財政収支均衡を図ります。

（６）事業費の財源構成

特定環境保全公共下水道事業の事業費に係る財源構成比率を図6-2-2に示します。

事業の内容		補助・単独 の区分	財源構成比率（％）		
			国庫 補助金	企業債 (30年)	その他 財源
委 託 料	計画策定	市単独事業	0%	0%	100%
		国庫補助事業	50%	0%	50%
	設計委託	市単独事業	0%	95%	5%
		国庫補助事業	50%	45%	5%
工 事 請 負 費	ストックマネジメント に基づく改築更新工事	市単独事業	0%	95%	5%
		国庫補助事業	55%	40%	5%

図 6-2-2. 公共下水道事業における事業費財源構成比率

6-2-3. 農業集落排水事業

農業集落排水事業における各種財源の基本的な考え方は次のとおりです。

（１）農業集落排水施設使用料について

人口減少に加え、施設の老朽化等経営環境が厳しさを増すなか、他の財源の確保やコスト縮減に注力することで利用者の方々の負担を最小限に抑えます。

これらの収支改善策を講じてもなお財源不足が生じる場合は、使用料水準の見直しを検討します。

（２）一般会計繰入金について

農業集落排水事業も下水道と同様、汚水処理による公的便益効果が認められことから事業で発生する経費に対して一定の公費（税金）を充てることが適当とされています。

国が定めた基準を参考に、適切に算定した額を一般会計繰入金（他会計負担金・他会計補助金・出資金）として受け入れます。ただし、一般会計へ過度に依存しないよう、事業運営上必要最低限の額に留めます。

（３）企業債（建設改良企業債）の活用

企業債は建設改良事業に必要な資金を外部から調達するために発行する債券（地方債）です。

償還に際して利率に応じて支払利息が発生することから、可能な限り有利な条件を検討するとともに、過度の借入により将来世代へ負担を先送りしない規律ある運用に努めます。

（４）業費の財源構成

農業集落排水事業の事業費に係る財源構成比率を図 6-2-3 に示します。

現状、国庫補助金の活用予定はありませんが、国の動向に注目しつつ採択可能な補助事業を模索します。

事業の内容		補助・単独 の区分	財源構成比率（％）		
			国庫 補助金	企業債 (30年)	その他 財源
工事 請負費	施設機能を維持するための修繕または改築工事	市単独事業	0%	95%	5%
		国庫補助事業 (未検討)	50%	45%	5%

図 6-2-3. 農業集落排水事業における事業費財源構成比率

6-3. その他の取組み

下水道事業では効率化・経営健全化のため、現在さまざまな取組みについて実施あるいは検討を行っています。

6-3-1. 官民連携の検討

官民連携とは、民間企業が持つノウハウや創意工夫を活用し、官と民で協力して業務効率化やサービス向上を目指す方法です。

費用対効果を含め、効果的な官民連携手法の導入を検討していきます。

PPP (Public Private Partnership) : 公共サービスの提供において、何らかの形で民間が参画する手法を幅広くとらえた概念
PFI (Private Finance Initiative) : 民間資金とノウハウを活用し、公共施設等の建設や維持管理・運営を行う PPP の手法

直 営	PPP(官民連携)					民 営
	PFI（民間資金活用）					
	個別発注	包括的民間委託	DBO方式 （設計施工運営一括発注）	PFI（従来方式） （民間資金）	コンセッション （公共施設等運営権事業）	
	運転監視	運転監視	運転監視	運転監視	運転監視	運転監視
	点検・調査	点検・調査	点検・調査	点検・調査	点検・調査	点検・調査
	薬品等調達	薬品等調達	薬品等調達	薬品等調達	薬品等調達	薬品等調達
	修繕・補修	修繕・補修	修繕・補修	修繕・補修	修繕・補修	修繕・補修
	設計	設計	設計	設計	設計	設計
	施工	施工	建設	建設	建設	建設
	資金調達	資金調達	資金調達	資金調達	資金調達	資金調達
	運営権	運営権	運営権	運営権	運営権	運営権
	所有権	所有権	所有権	所有権	所有権	所有権

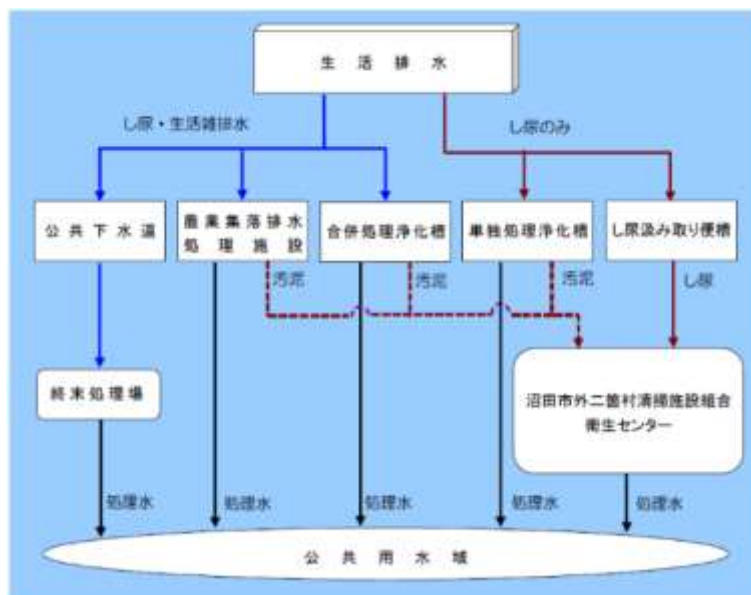
図 6-3-1. 官民連携手法の一例と民間が関与する領域

表 6-3-1. 官民連携手法の概要

官民連携手法	概 要
包括的民間委託	施設や管きよの維持管理に係る複数業務をパッケージ化し、複数年契約にて実施する方式。下水道処理場であれば、点検や運転監視（レベル1）、薬品等調達（レベル2）、修繕・補修（レベル3）が対象業務となる。
DBO（設計・施工・運営一括発注）方式	行政が国の交付金や公債等により施設建設の資金を市中金利と比較して低金利で調達し、民間事業者に施設の設計・建設と運営・維持管理を一括で担わせる方式。
PFI（従来方式）	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法、平成11年法制定）に基づき実施する。
コンセッション（公共施設等運営権事業）方式	利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定する方式（平成23年PFI法改正により導入）。公的主体が所有する公共施設等について、民間事業者による安定的で自由度の高い運営を可能とすることにより、利用者ニーズを反映した質の高いサービスを提供する。

6-3-2. 広域化・共同化の検討

これまでの本市の取組みとして、農業集落排水施設（9施設）で発生する汚泥（年間約 600 m³）を運搬・集約し、沼田市外二箇村清掃施設組合衛生センター（本庁管内・白沢支所管内）で一般廃棄物とともに一括処理を行うことで効率化を図ってきました。



出典：『沼田市一般廃棄物処理基本計画』

図 6-3-2. 汚泥集約による一括処理

本市の公共下水道はみなかみ町とともに群馬県の利根川上流流域下水道（オリ根処理区）に属する流域関連公共下水道です。本市で発生した下水の大半は県が管理するオリ根水質浄化センターに接続しており、すでに広域処理を実施しています。



出典：群馬県ホームページ

図 6-3-3. オリ根水質浄化センター外観

下水汚泥は窒素やリンの含有率が高く、コンポスト（たい肥）等肥料化技術が進んでいます。国際情勢などの影響で化学肥料の価格が高騰する中、下水汚泥の緑農地利用方法を広域的に検討していきます。

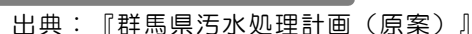


図 6-3-4. 群馬県の広域化・共同化計画におけるブロック割

第7章 投資・財政計画

7-1. 推計基準

投資・財政計画上の数値算定に当たって策定した収入・支出科目別推計基準（具体的な算定方法や前提条件等）を示します。

7-1-1. 公共下水道事業

（1）収益的収入（下水道事業収益）

表7-1-1. （公共下水道事業）収益的収入推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
下水道事業収益（消費税抜）	
営業収益	
下水道使用料	利用者から徴収する下水道使用料収入。 以下の手順により算定。 ①各年度の新規整備面積に市街地人口密度（人/㎡）を乗じた処理区域内人口増加分を算出 ②前年度水洗化人口に新規処理区域からの水洗化人口増加分及び人口推計に基づく水洗化人口減少分を差し引きして年度別水洗化人口を推計 ③直近実績の水洗化人口1人当たり排水量に各年度の水洗化人口合計を乗じて年間総排水量を算定 ④有収率については近年横ばいで推移していることから、直近実績の有収率を各年度に適用して年間有収水量を算出 ⑤年度別有収水量に直近実績の使用料単価（税抜）を乗じて年間使用料収入額を算定
雨水処理負担金	雨水処理に対する一般会計負担金。 雨水は自然現象に起因し、排除による受益が広く及ぶことから雨水排除に要する経費は公費により負担するものとされている。本市においては雨水処理施設に係る減価償却費が該当する。 減価償却費の将来予測値を計上。
その他営業収益	指定手数料、設計審査手数料及び工事検査手数料収入等。 過去3か年平均値を計上。
営業外収益	
受取利息	普通預金利息。 令和5年度予算額により毎年度同額を計上。
他会計補助金	汚水処理に対する一般会計繰入金のうち、繰出基準を超えて繰り入れるもの。 損益を均衡させるための必要額を計上。
他会計負担金	汚水処理に対する一般会計繰入金のうち、繰出基準で定められた額。 以下の合計額を年度別に算定し計上。 ①分流式下水道等に要する経費 ②臨時措置分、特別措置分、普及特別対策債及び公営企業会計適用債の利子に係る基準額 ③児童手当分
長期前受金戻入	長期前受金で取得した固定資産の減価償却費相当額。 以下の合算額を計上。 ①既取得資産に係る将来の長期前受金戻入は固定資産台帳より算定 ②新規取得資産に係る将来の長期前受金戻入は固定資産財源として設定する長期前受金（資本的収入のうち補助金・負担金等外部から資金流入したもの）の消費税圧縮後の額を工種に応じた耐用年数及び償却条件（定額法・残存率10%・償却限度率95%）により算定
雑収益	上記以外の収益。 令和5年度予算額により毎年度同額を計上。

(2) 収益的支出（下水道事業費用）

表7-1-2. (公共下水道事業)収益的支出推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
下水道事業費用（消費税抜）	
営業費用	
性質別経費合計	
職員給与費	職員の人件費（給料、手当等、賞与引当金繰入額及び法定福利費）。年度別職員配置計画に応じて相当額を計上。
修繕費	施設（ポンプ場）や管きよの性能を維持するための修繕に要する経費。過去3か年平均値を計上。
動力費	ポンプ場（マンホール形式を含む）の電気料。下水の年間排水量を考慮して算定した額に物価係数（物価上昇予測分として毎年度1%ずつ増加）を乗じて算定。
委託料	管きよ費、ポンプ場費、業務費及び総係費における各種委託料。内容に応じて令和5年度予算額と毎年度同額または直近3か年平均値により算定した合計額を計上。
流域下水道費	利根川上流流域下水道へ支払う維持管理負担金。県が設定した処理単価に年間排水量を乗じて算定。人口減に伴う排水量減少予測による負担金減分と物価変動に起因する処理単価上昇分が均衡するものとみなし、令和5年度予算額により毎年度同額を計上。
その他経費	上記以外の経費（備用品費、通信運搬費、保険料、手数料及び公課費等）。内容に応じて令和5年度予算額と毎年度同額または過去3か年平均値により算定した合計額を計上。
減価償却費	有形固定資産及び無形固定資産の減価償却費。 以下の合計により算定。 ①既取得資産に係る将来の減価償却費は、固定資産台帳より算定 ②新規取得資産に係る将来の減価償却費は、事務費を加算した事業費（税抜）を工種に応じた耐用年数及び償却条件（定額法・残存率10%・償却限度率95%）により算定
資産減耗費	有形固定資産の除却等する際の減価償却費としてまだ費用化されていない簿価相当額。本計画においては計上しない。
営業外費用	
支払利息	企業債の償還に伴う利子。 以下の合計により算定。 ①既発債に係る将来の支払利息は、公債台帳より算定 ②新発債（事業費分）に係る将来の支払利息は、償還年数30年とし、償還条件（元利均等払・半年賦・元金据置期間5年・固定金利方式・年利2%）により算定 ③新発債（資本費平準化債）に係る将来の支払利息は、償還年数20年とし、償還条件（元利均等払・半年賦・元金据置期間2年・固定金利方式・年利2%）により算定
雑支出	控除対象外消費税。 各課税期間における特定収入見合い控除対象外仕入税額を考慮して算定。
特別損失	
その他特別損失	臨時的に発生する損失。 本計画においては計上しない。

(3) 資本的収入

表7-1-3. (公共下水道事業)資本的収入推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
資本的収入（消費税込）	
企業債	建設改良事業費または元金償還金の財源として発行する地方債。 以下の合計により算定。 ①事業費に係る新発債は、財源構成に応じて設定した額 ②資本費平準化債の新発債は、以下の式により算定 対象元金（既発債元金償還金（資本費平準化債及び特別措置分を除く））－（減価償却費－長期前受金戻入）
国・県補助金	建設事業に対する国庫補助金及び県費補助金。 投資計画における財源構成に応じて設定した額を計上。
他会計出資金	一般会計繰入金のうち、繰出基準を超えて繰り入れるもの。 資金収支を均衡させるための必要額を計上。
工事負担金	一般会計繰入金のうち、繰出基準で定められた額。 以下の合計額を年度別に算定し計上。 臨時措置分、特別措置分、普及特別対策債及び公営企業会計適用債の元金に係る基準額
受益者負担金	下水道整備財源のために土地所有者に賦課する負担金。 整備継続に伴い一定の収入が継続するものと予測し、概算額を計上。

(4) 資本的支出

表7-1-4. (公共下水道事業)資本的支出推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
資本的支出（消費税込）	
建設改良費	
営業設備費	
委託料	建設改良事業に係る委託料。 投資計画で設定した各種委託額の年度別合計額を計上。
工事請負費	建設改良事業に係る工事請負費。 投資計画で設定した各種工事費の額を計上。 各年度に設定するに当たっては偏った支出とならないよう可能な限り平準化を行う。
事務費	建設改良に係る各種諸経費。 内容に応じて個別設定、令和5年度予算額と毎年度同額または過去3か年平均値により算定した合計額を計上。
流域下水道負担金	利根川上流流域下水道へ支払う建設負担金。 毎年度同額（4,000万円）を計上。
固定資産購入費	固定資産を購入によって取得する場合の経費。 資産購入計画に基づき概算額を計上。
企業債償還金	企業債の償還に伴う元金償還金。 以下の合計により算定。 ①既発債に係る将来の元金償還金は、公債台帳より算定 ②新発債（事業費分）に係る将来の元金償還金は、償還年数30年とし、償還条件（元利均等払・半年賦・元金据置期間5年・固定金利方式・年利2%）により算定 ③新発債（資本費平準化債）に係る将来の元金償還金は、償還年数20年とし、償還条件（元利均等払・半年賦・元金据置期間2年・固定金利方式・年利2%）により算定

7-1-2. 特定環境保全公共下水道事業

(1) 収益的収入（下水道事業収益）

表7-1-5. (特定環境保全公共下水道事業)収益的収入推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
下水道事業収益（消費税抜）	
営業収益	
下水道使用料	利用者から徴収する下水道使用料収入。 以下の手順により算定。 ①各年度の新規整備面積に市街地人口密度（人/㎡）を乗じた処理区域内人口増加分を算出 ②前年度水洗化人口に新規処理区域からの水洗化人口増加分及び人口推計に基づく水洗化人口減少分を差し引きして年度別水洗化人口を推計 ③直近実績の水洗化人口1人当たり排水量に各年度の水洗化人口合計を乗じて年間総排水量を算定 ④有収率については近年横ばいで推移していることから、直近実績の有収率を各年度に適用して年間有収水量を算出 ⑤年度別有収水量に直近実績の使用料単価（税抜）を乗じて年間使用料収入額を算定
雨水処理負担金	—
その他営業収益	指定手数料、設計審査手数料及び工事検査手数料収入等。 過去3か年平均値を計上。
営業外収益	
受取利息	—
他会計補助金	汚水処理に対する一般会計繰入金のうち、繰出基準を超えて繰り入れるもの。 損益を均衡させるための必要額を計上。
他会計負担金	汚水処理に対する一般会計繰入金のうち、繰出基準で定められた額。 以下の合計額を年度別に算定し計上。 ①分流式下水道等に要する経費 ②臨時措置分、特別措置分及び普及特別対策債の利子に係る基準額 ③児童手当分
長期前受金戻入	長期前受金で取得した固定資産の減価償却費相当額。 以下の合算額を計上。 ①既取得資産に係る将来の長期前受金戻入は固定資産台帳より算定 ②新規取得資産に係る将来の長期前受金戻入は固定資産財源として設定する長期前受金（資本的収入のうち補助金・負担金等外部から資金流入したもの）の消費税圧縮後の額を工種に応じた耐用年数及び償却条件（定額法・残存率10%・償却限度率95%）により算定
雑収益	上記以外の収益。 令和5年度予算額により毎年度同額を計上。

(2) 収益的支出（下水道事業費用）

表7-1-6. (特定環境保全公共下水道事業)収益的支出推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
下水道事業費用（消費税抜）	
営業費用	
性質別経費合計	
職員給与費	職員の人件費（給料、手当等、賞与引当金繰入額及び法定福利費）。 年度別職員配置計画に応じて相当額を計上。
修繕費	施設（処理場及びポンプ場）や管きよの性能を維持するための修繕に要する経費。 過去3か年平均値を計上。
動力費	処理場及びポンプ場（マンホール形式を含む）の電気料。 下水の年間排水量を考慮して算定した額に物価係数（物価上昇予測分として毎年度1%ずつ増加） を乗じて算定。
委託料	管きよ費、ポンプ場費、処理場費及び総係費における各種委託料。 内容に応じて令和5年度予算額と毎年度同額または直近3か年平均値により算定した合計額を計 上。
流域下水道費	—
その他経費	上記以外の経費（備品費、通信運搬費、保険料、手数料及び公課費等）。 内容に応じて令和5年度予算額と毎年度同額または過去3か年平均値により算定した合計額を計 上。
減価償却費	有形固定資産及び無形固定資産の減価償却費。 以下の合計により算定。 ①既取得資産に係る将来の減価償却費は、固定資産台帳より算定 ②新規取得資産に係る将来の減価償却費は、事務費を加算した事業費（税抜）を工種に応じた耐 用年数及び償却条件（定額法・残存率10%・償却限度率95%）により算定
資産減耗費	有形固定資産の除却等する際の減価償却費としてまだ費用化されていない簿価相当額。 本計画においては計上しない。
営業外費用	
支払利息	企業債の償還に伴う利子。 以下の合計により算定。 ①既発債に係る将来の支払利息は、公債台帳より算定 ②新発債（事業費分）に係る将来の支払利息は、償還年数30年とし、償還条件（元利均等払・半 年賦・元金据置期間5年・固定金利方式・年利2%）により算定 ③新発債（資本費平準化債）に係る将来の支払利息は、償還年数20年とし、償還条件（元利均等 払・半年賦・元金据置期間2年・固定金利方式・年利2%）により算定
雑支出	控除対象外消費税。 各課税期間における特定収入見合い控除対象外仕入税額を考慮して算定。
特別損失	
その他特別損失	臨時的に発生する損失。 本計画においては計上しない。

(3) 資本的収入

表7-1-7. (特定環境保全公共下水道事業)資本的収入推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
資本的収入（消費税込）	
企業債	建設改良事業費または元金償還金の財源として発行する地方債。 以下の合計により算定。 ①事業費に係る新発債は、財源構成に応じて設定した額 ②資本費平準化債の新発債は、以下の式により算定 対象元金（既発債元金償還金（資本費平準化債及び特別措置分を除く））－（減価償却費－長期前受金戻入）
国・県補助金	建設事業に対する国庫補助金及び県費補助金。 投資計画における財源構成に応じて設定した額を計上。
他会計出資金	一般会計繰入金のうち、繰出基準を超えて繰り入れるもの。 資金収支を均衡させるための必要額を計上。
工事負担金	一般会計繰入金のうち、繰出基準で定められた額。 以下の合計額を年度別に算定し計上。 臨時措置分、特別措置分及び普及特別対策債の元金に係る基準額
受益者負担金	下水道整備財源のために土地所有者に賦課する負担金。 普及継続に伴い一定の収入が継続するものと予測し、概算額を計上。

(4) 資本的支出

表7-1-8. (特定環境保全公共下水道事業)資本的支出推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
資本的支出（消費税込）	
建設改良費	
営業設備費	
委託料	建設改良事業に係る委託料。 投資計画で設定した各種委託額の年度別合計額を計上。
工事請負費	建設改良事業に係る工事請負費。 投資計画で設定した各種工事費の額を計上。 各年度に設定するに当たっては偏った支出とならないよう可能な限り平準化を行う。
事務費	建設改良に係る各種諸経費。 内容に応じて個別設定、令和5年度予算額と毎年度同額または過去3か年平均値により算定した合計額を計上。
流域下水道負担金	—
固定資産購入費	固定資産を購入によって取得する場合の経費。 資産購入計画に基づき概算額を計上。
企業債償還金	企業債の償還に伴う元金償還金。 以下の合計により算定。 ①既発債に係る将来の元金償還金は、公債台帳より算定 ②新発債（事業費分）に係る将来の元金償還金は、償還年数30年とし、償還条件（元利均等払・半年賦・元金据置期間5年・固定金利方式・年利2%）により算定 ③新発債（資本費平準化債）に係る将来の元金償還金は、償還年数20年とし、償還条件（元利均等払・半年賦・元金据置期間2年・固定金利方式・年利2%）により算定

7-1-3. 農業集落排水事業

(1) 収益的収入（下水道事業収益）

表7-1-9.（農業集落排水事業）収益的収入推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
下水道事業収益（消費税抜）	
営業収益	
下水道使用料 （農業集落排水施設使用料）	利用者から徴収する農業集落排水施設使用料収入。 以下の手順により算定。 ①各年度の新規整備面積に市街地人口密度（人/㎡）を乗じた処理区域内人口増加分を算出 ②前年度水洗化人口に新規処理区域からの水洗化人口増加分及び人口推計に基づく水洗化人口減少分を差し引きして年度別水洗化人口を推計 ③直近実績の水洗化人口1人当たり排水量に各年度の水洗化人口合計を乗じて年間総排水量を算定 ④有収率については近年横ばいで推移していることから、直近実績の有収率を各年度に適用して年間有収水量を算出 ⑤年度別有収水量に直近実績の使用料単価（税抜）を乗じて年間使用料収入額を算定
雨水処理負担金	—
その他営業収益	指定手数料、設計審査手数料及び工事検査手数料収入等。 過去3か年平均値を計上。
営業外収益	
受取利息	—
他会計補助金	汚水処理に対する一般会計繰入金のうち、繰出基準を超えて繰り入れるもの。 損益を均衡させるための必要額を計上。
他会計負担金	汚水処理に対する一般会計繰入金のうち、繰出基準で定められた額。 以下の合計額を年度別に算定し計上。 ①分流式下水道等に要する経費 ②臨時措置分、特別措置分及び普及特別対策債の利子に係る基準額 ③児童手当分
長期前受金戻入	長期前受金で取得した固定資産の減価償却費相当額。 以下の合算額を計上。 ①既取得資産に係る将来の長期前受金戻入は固定資産台帳より算定 ②新規取得資産に係る将来の長期前受金戻入は固定資産財源として設定する長期前受金（資本的収入のうち補助金・負担金等外部から資金流入したもの）の消費税圧縮後の額を工種に応じた耐用年数及び償却条件（定額法・残存率10%・償却限度率95%）により算定
雑収益	上記以外の収益。 令和5年度予算額により毎年度同額を計上。

(2) 収益的支出（下水道事業費用）

表7-1-10.（農業集落排水事業）収益的支出推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
下水道事業費用（消費税抜）	
営業費用	
性質別経費合計	
職員給与費	—
修繕費	施設（処理場）や管きよの性能を維持するための修繕に要する経費。 過去3か年平均値を計上。
動力費	処理場の電気料。 下水の年間排水量を考慮して算定した額に物価係数（物価上昇予測分として毎年度1%ずつ増加）を乗じて算定。
委託料	管きよ費、処理場費及び総係費における各種委託料。 内容に応じて令和5年度予算額と毎年度同額または直近3か年平均値により算定した合計額を計上。
流域下水道費	—
その他経費	上記以外の経費（備用品費、通信運搬費、保険料、手数料及び公課費等）。 内容に応じて令和5年度予算額と毎年度同額または過去3か年平均値により算定した合計額を計上。
減価償却費	有形固定資産及び無形固定資産の減価償却費。 以下の合計により算定。 ①既取得資産に係る将来の減価償却費は、固定資産台帳より算定 ②新規取得資産に係る将来の減価償却費は、事務費を加算した事業費（税抜）を工種に応じた耐用年数及び償却条件（定額法・残存率10%・償却限度率95%）により算定
資産減耗費	有形固定資産の除却等する際の減価償却費としてまだ費用化されていない簿価相当額。 本計画においては計上しない。
営業外費用	
支払利息	企業債の償還に伴う利子。 以下の合計により算定。 ①既発債に係る将来の支払利息は、公債台帳より算定 ②新発債（事業費分）に係る将来の支払利息は、償還年数30年とし、償還条件（元利均等払・半年賦・元金据置期間5年・固定金利方式・年利2%）により算定 ③新発債（資本費平準化債）に係る将来の支払利息は、償還年数20年とし、償還条件（元利均等払・半年賦・元金据置期間2年・固定金利方式・年利2%）により算定
雑支出	控除対象外消費税。 各課税期間における特定収入見合い控除対象外仕入税額を考慮して算定。
特別損失	
その他特別損失	臨時的に発生する損失。 本計画においては計上しない。

(3) 資本的収入

表7-1-11. (農業集落排水事業)資本的収入推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
資本的収入（消費税込）	
企業債	建設改良事業費または元金償還金の財源として発行する地方債。 以下の合計により算定。 ①事業費に係る新発債は、財源構成に応じて設定した額 ②資本費平準化債の新発債は、以下の式により算定 対象元金（既発債元金償還金（資本費平準化債及び特別措置分を除く））－（減価償却費－長期前受金戻入）
国・県補助金	建設事業に対する国庫補助金及び県費補助金。 投資計画における財源構成に応じて設定した額を計上。
他会計出資金	一般会計繰入金のうち、繰出基準を超えて繰り入れるもの。 資金収支を均衡させるための必要額を計上。
工事負担金	一般会計繰入金のうち、繰出基準で定められた額。 以下の合計額を年度別に算定し計上。 臨時措置分、特別措置分及び普及特別対策債の元金に係る基準額
受益者分担金	農業集落排水施設整備財源のために土地所有者に賦課する分担金。 整備事業が完了していることから本計画においては計上しない。

(4) 資本的支出

表7-1-12. (農業集落排水事業)資本的支出推計基準

科目	具体的な内容及び算定方法等
資本的支出（消費税込）	
建設改良費	
営業設備費	
委託料	建設改良事業に係る委託料。 投資計画で設定した各種委託額の年度別合計額を計上。
工事請負費	建設改良事業に係る工事請負費。 投資計画で設定した各種工事費の額を計上。 各年度に設定するに当たっては偏った支出とならないよう可能な限り平準化を行う。
事務費	建設改良に係る各種諸経費。 内容に応じて個別設定、令和5年度予算額と毎年度同額または過去3か年平均値により算定した合計額を計上。
流域下水道負担金	—
固定資産購入費	固定資産を購入によって取得する場合の経費。 資産購入計画に基づき概算額を計上。
企業債償還金	企業債の償還に伴う元金償還金。 以下の合計により算定。 ①既発債に係る将来の元金償還金は、公債台帳より算定 ②新発債（事業費分）に係る将来の元金償還金は、償還年数30年とし、償還条件（元利均等払・半年賦・元金据置期間5年・固定金利方式・年利2%）により算定 ③新発債（資本費平準化債）に係る将来の元金償還金は、償還年数20年とし、償還条件（元利均等払・半年賦・元金据置期間2年・固定金利方式・年利2%）により算定

7-2. 投資・財政計画

計画期間に係る投資・財政計画を事業別及び3事業合算で示します。

7-2-1. 公共下水道事業

表7-2-1. (公共下水道事業)投資・財政計画

(単位:千円)

科目	決算	決算	決算見込	計画1年目	計画2年目	計画3年目
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
下水道事業収益(消費税法)	783,048	758,386	728,822	702,312	697,450	696,229
営業収益	297,164	292,150	286,035	286,688	283,915	281,349
下水道使用料	275,288	270,347	264,225	264,895	262,113	259,547
雨水処理負担金	21,706	21,706	21,706	21,706	21,706	21,706
その他営業収益	170	97	104	87	96	96
営業外収益	485,884	466,236	442,787	415,624	413,535	414,880
受取利息	1	1	1	1	1	1
他会計補助金	221,085	159,863	79,534	40,512	44,449	46,870
他会計負担金	157,563	198,592	256,814	269,043	263,332	260,314
長期前受金戻入	107,212	107,753	106,436	106,066	105,751	107,693
雑収益	23	27	2	2	2	2
下水道事業費用(消費税法)	770,436	732,347	737,930	702,312	697,450	696,229
営業費用	643,064	627,159	640,133	633,169	631,995	634,290
性質別経費合計	309,112	291,090	308,503	301,994	301,835	301,690
職員給与費	41,432	28,826	24,556	38,705	38,705	38,705
修繕費	4,687	4,096	3,602	2,410	2,410	2,410
動力費	1,926	1,975	1,997	1,930	1,928	1,929
委託料	24,341	23,666	22,715	18,247	18,090	17,944
流域下水道費	214,756	213,543	219,128	227,208	227,208	227,208
その他経費	21,970	18,984	36,505	13,494	13,494	13,494
減価償却費	333,952	336,069	331,630	331,175	330,160	332,600
資産減耗費	0	0	0	0	0	0
営業外費用	114,822	105,188	97,797	69,143	65,455	61,939
支払利息	88,114	79,512	71,605	64,143	60,455	56,939
雑支出	26,708	25,676	26,192	5,000	5,000	5,000
特別損失	12,550	0	0	0	0	0
その他特別損失	12,550	0	0	0	0	0
当期純利益	12,612	26,039	▲ 9,108	0	0	0
資本的収入(消費税法)	282,941	330,954	354,658	359,882	363,558	315,554
企業債	157,600	181,600	216,400	195,388	191,200	164,000
国・県補助金	25,300	37,800	35,000	43,266	62,109	47,625
他会計出資金	0	9,000	0	17,968	4,766	2,164
工事負担金	95,225	97,995	99,691	102,504	105,073	101,560
受益者負担金・分担金	4,816	4,559	3,567	756	410	205
資本的支出(消費税法)	547,168	572,599	563,043	586,102	587,929	539,276
建設改良費	127,562	146,221	129,612	161,986	178,223	147,397
営業設備費	113,892	118,224	81,094	113,198	136,923	107,397
委託料	17,020	38,145	15,641	5,660	14,770	17,693
工事請負費	77,638	76,987	62,255	95,392	110,007	77,558
事務費	19,234	3,092	3,198	12,146	12,146	12,146
流域下水道負担金	13,670	27,997	48,518	48,788	40,000	40,000
固定資産購入費	0	0	0	0	1,300	0
企業債償還金	419,606	426,378	433,431	424,116	409,706	391,879
資本的収支差し引き	▲ 264,227	▲ 241,645	▲ 208,385	▲ 226,220	▲ 224,371	▲ 223,722
流動資産	82,202	155,284	133,558	138,245	141,358	136,644
流動負債	470,517	526,459	488,702	479,689	464,975	446,584
企業債	426,378	433,431	424,116	409,706	391,879	378,202
内部留保						
前年度末残高 (A)	54,165	38,063	62,256	68,972	68,262	68,262
当年度発生額 (B)	248,125	265,838	215,101	225,510	224,371	223,722
当年度補填使用額 (C)	▲ 264,227	▲ 241,645	▲ 208,385	▲ 226,220	▲ 224,371	▲ 223,722
当年度末残高 (A+B+C)	38,063	62,256	68,972	68,262	68,262	68,262
企業債未償還残高	5,022,070	4,777,293	4,560,262	4,331,534	4,113,028	3,885,149
一般会計繰入金内訳	495,579	487,156	457,745	451,733	439,326	432,614
基準内	274,494	318,293	378,211	393,253	390,111	383,580
基準外	221,085	168,863	79,534	58,480	49,215	49,034

(単位：千円)

計画4年目	計画5年目	計画6年目	計画7年目	計画8年目	計画9年目	計画10年目
R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
695,807	695,451	694,404	692,034	689,299	686,980	683,716
278,861	276,257	273,542	270,427	267,247	264,303	261,319
257,062	254,456	251,741	248,959	246,123	243,179	240,195
21,706	21,706	21,706	21,374	21,029	21,029	21,029
93	95	95	94	95	95	95
416,946	419,194	420,862	421,607	422,052	422,677	422,397
1	1	1	1	1	1	1
49,217	51,673	54,232	56,853	59,524	62,296	65,105
257,707	255,089	252,504	250,050	247,724	245,364	242,825
110,019	112,429	114,123	114,701	114,801	115,014	114,464
2	2	2	2	2	2	2
695,807	695,451	694,404	692,034	689,299	686,980	683,716
636,873	638,842	640,036	639,743	638,462	637,704	635,679
301,549	301,401	301,245	301,083	300,919	300,747	300,572
38,705	38,705	38,705	38,705	38,705	38,705	38,705
2,410	2,410	2,410	2,410	2,410	2,410	2,410
1,929	1,928	1,926	1,922	1,918	1,913	1,907
17,803	17,656	17,502	17,344	17,184	17,017	16,848
227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208
13,494	13,494	13,494	13,494	13,494	13,494	13,494
335,324	337,441	338,791	338,660	337,543	336,957	335,107
0	0	0	0	0	0	0
58,934	56,609	54,368	52,291	50,837	49,276	48,037
53,934	51,609	49,368	47,291	45,837	44,276	43,037
5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
297,329	299,082	244,082	243,683	242,187	216,783	227,381
155,100	156,700	123,400	120,800	113,000	117,800	119,400
35,816	42,063	33,898	41,498	53,983	58,783	78,033
6,405	9,878	20,220	26,588	37,897	19,338	20,124
99,798	90,231	66,354	54,587	37,097	20,652	9,614
210	210	210	210	210	210	210
522,390	525,288	471,372	472,025	472,037	447,766	459,817
144,188	156,683	140,352	155,552	180,522	190,122	228,622
104,188	116,683	100,352	115,552	140,522	150,122	188,622
16,289	41,179	10,000	10,000	10,000	10,000	45,000
75,753	63,358	78,206	93,406	118,376	127,976	131,476
12,146	12,146	12,146	12,146	12,146	12,146	12,146
40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
0	0	0	0	0	0	0
378,202	368,605	331,020	316,473	291,515	257,644	231,195
▲ 225,061	▲ 226,206	▲ 227,290	▲ 228,342	▲ 229,850	▲ 230,983	▲ 232,436
134,964	137,221	134,236	136,983	141,507	143,235	150,217
435,307	399,979	382,447	360,236	330,889	306,168	299,886
368,605	331,020	316,473	291,515	257,644	231,195	217,931
68,262	68,262	68,262	68,262	68,262	68,262	68,262
225,061	226,206	227,290	228,342	229,850	230,983	232,436
▲ 225,061	▲ 226,206	▲ 227,290	▲ 228,342	▲ 229,850	▲ 230,983	▲ 232,436
68,262	68,262	68,262	68,262	68,262	68,262	68,262
3,662,047	3,450,142	3,242,522	3,046,849	2,868,334	2,728,490	2,616,695
434,833	428,577	415,016	409,452	403,271	368,679	358,697
379,211	367,026	340,564	326,011	305,850	287,045	273,468
55,622	61,551	74,452	83,441	97,421	81,634	85,229

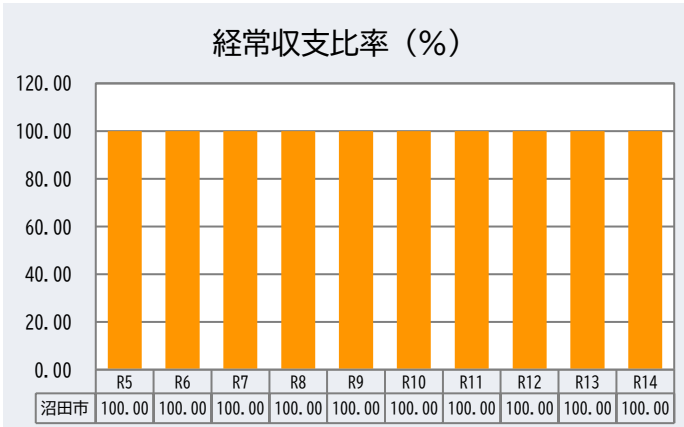
指標の名前	経常収支比率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$																							
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。																									
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっている必要があります。数値が 100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組みが必要です。																									
本市の将来見通し	経常収支比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																
分析結果	経常収支比率については、計画期間中は100%を継続できる見通しで、経営状態は安定しているといえます。																									

図 7-2-1. (公共下水道事業)経常収支比率

指標の名前	累積欠損金比率(%)																																
望ましい方向性					算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$																											
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。																																
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。																																
本市の将来見通し	累積欠損金比率 (%) 160.00 140.00 120.00 100.00 80.00 60.00 40.00 20.00 0.00 <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr></table>												R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																							
沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																							
分析結果	累積欠損金比率については、経常収支比率100%達成により計画期間中0%継続の見通しです。																																

図 7-2-2. (公共下水道事業)累積欠損金比率

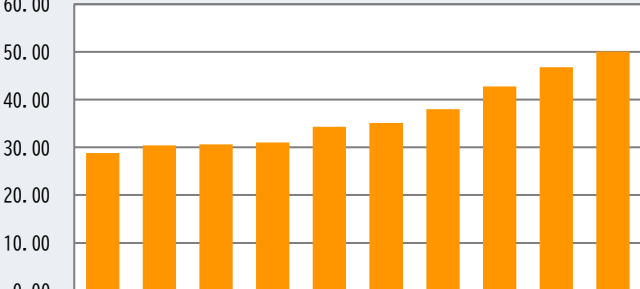
指標の名前	流動比率(%)																								
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																						
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																								
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るといことは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																								
本市の将来見通し	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>28.82</td><td>30.40</td><td>30.60</td><td>31.00</td><td>34.31</td><td>35.10</td><td>38.03</td><td>42.77</td><td>46.78</td><td>50.09</td></tr></tbody></table>				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	28.82	30.40	30.60	31.00	34.31	35.10	38.03	42.77	46.78	50.09
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14															
沼田市	28.82	30.40	30.60	31.00	34.31	35.10	38.03	42.77	46.78	50.09															
分析結果	企業債償還が徐々に落ち着いていくことから、資金的な余裕が生まれ、指標は向上する見通しです。ただし、施設の老朽化が予想を上回るペースで進行し、その更新のため現在の計画よりも多額の企業債発行を行った場合は指標向上は鈍化することとなりますので常に注視しつづける必要があります。																								

図 7-2-3. (公共下水道事業)流動比率

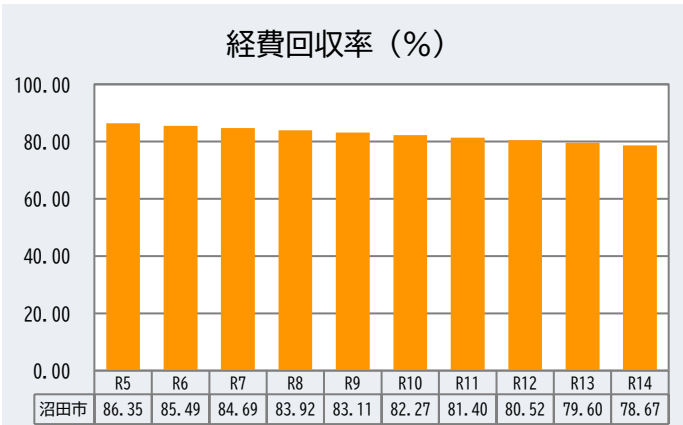
指標の名前	経費回収率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																							
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																									
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上であることが必要です。数値が100%を下回っている場合、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要です。																									
本市の将来見通し	経費回収率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>86.35</td><td>85.49</td><td>84.69</td><td>83.92</td><td>83.11</td><td>82.27</td><td>81.40</td><td>80.52</td><td>79.60</td><td>78.67</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	86.35	85.49	84.69	83.92	83.11	82.27	81.40	80.52	79.60	78.67
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	86.35	85.49	84.69	83.92	83.11	82.27	81.40	80.52	79.60	78.67																
分析結果	将来的な人口減少による使用料収入減及び物価上昇予測により経費回収率は悪化し続ける見通しです。少しでも指標の悪化を抑制する不断の経営努力を重ねつつ、必要に応じて使用料水準の見直しも実施しなければなりません。																									

図 7-2-4. (公共下水道事業)経費回収率

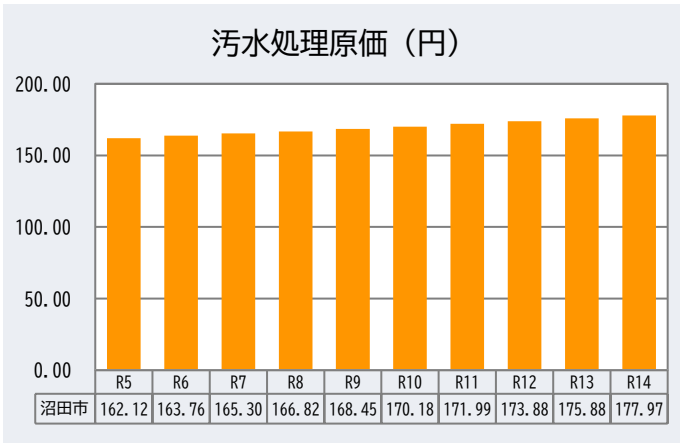
指標の名前	汚水処理原価(円)																								
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																						
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																								
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																								
本市の将来見通し	汚水処理原価（円） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>162.12</td><td>163.76</td><td>165.30</td><td>166.82</td><td>168.45</td><td>170.18</td><td>171.99</td><td>173.88</td><td>175.88</td><td>177.97</td></tr></tbody></table>				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	162.12	163.76	165.30	166.82	168.45	170.18	171.99	173.88	175.88	177.97
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14															
沼田市	162.12	163.76	165.30	166.82	168.45	170.18	171.99	173.88	175.88	177.97															
分析結果	人口減少及び節水機器の普及等有収水量の減少予測に加え、引き続き物価上昇が継続するという予測により、汚水処理原価は増大し続ける見通しになっています。新たな経費縮減方策を常に模索し続ける必要があります。																								

図 7-2-5. (公共下水道事業)汚水処理原価

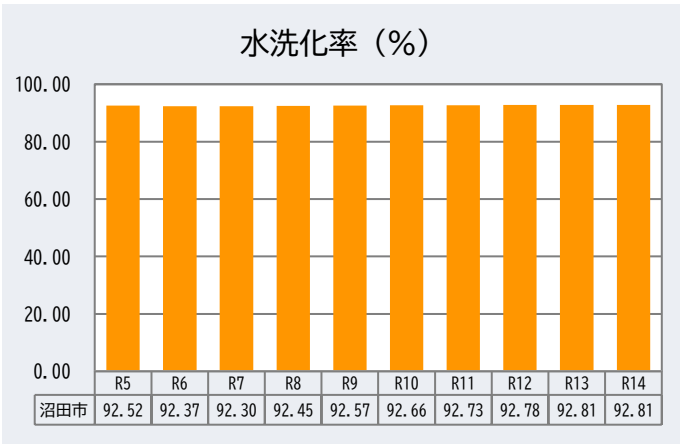
指標の名称	水洗化率(%)																															
望ましい方向性				算出式	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																											
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。																															
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、汚水処理が適切に行われておらず水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上の取組みが必要です。																															
本市の将来見通し	水洗化率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>92.52</td><td>92.37</td><td>92.30</td><td>92.45</td><td>92.57</td><td>92.66</td><td>92.73</td><td>92.78</td><td>92.81</td><td>92.81</td></tr></tbody></table>											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	92.52	92.37	92.30	92.45	92.57	92.66	92.73	92.78	92.81	92.81
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
沼田市	92.52	92.37	92.30	92.45	92.57	92.66	92.73	92.78	92.81	92.81																						
分析結果	下水道普及の継続と整備済区域からの新規接続を見込み、微増する見通しです。																															

図 7-2-6. (公共下水道事業)水洗化率



7-2-2. 特定環境保全公共下水道事業

表7-2-2. (特定環境保全公共下水道事業)投資・財政計画

(単位：千円)

科目	決算	決算	決算見込	計画1年目	計画2年目	計画3年目
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
下水道事業収益（消費税抜）	382,259	409,908	370,385	347,631	333,784	333,626
営業収益	75,750	78,574	72,699	77,188	76,347	75,478
下水道使用料	75,730	78,560	72,681	77,171	76,331	75,461
雨水処理負担金	0	0	0	0	0	0
その他営業収益	20	14	18	17	16	17
営業外収益	306,509	331,334	297,686	270,443	257,437	258,148
受取利息	0	0	0	0	0	0
他会計補助金	94,328	127,550	38,017	23,825	17,530	18,374
他会計負担金	130,352	122,224	181,192	168,444	162,404	159,483
長期前受金戻入	81,284	81,559	78,477	78,174	77,503	80,291
雑収益	545	1	0	0	0	0
下水道事業費用（消費税抜）	368,921	393,225	368,716	347,631	333,784	333,626
営業費用	312,557	341,160	321,457	306,046	296,733	300,082
性質別経費合計	90,413	118,737	108,523	95,013	87,877	87,852
職員給与費	8,928	9,307	8,834	4,142	4,142	4,142
修繕費	13,873	44,402	29,977	23,006	16,078	16,078
動力費	0	10,972	10,728	15,543	15,335	15,310
委託料	47,266	46,106	52,716	48,238	48,238	48,238
流域下水道費	0	0	0	0	0	0
その他経費	20,346	7,950	6,268	4,084	4,084	4,084
減価償却費	222,144	222,423	212,934	211,033	208,856	212,230
資産減耗費	0	0	0	0	0	0
営業外費用	55,578	52,065	47,259	41,585	37,051	33,544
支払利息	49,010	44,537	40,211	35,585	31,051	27,544
雑支出	6,568	7,528	7,048	6,000	6,000	6,000
特別損失	786	0	0	0	0	0
その他特別損失	786	0	0	0	0	0
当期純利益	13,338	16,683	1,669	0	0	0
資本的収入（消費税込）	124,456	89,721	128,349	136,694	225,669	219,321
企業債	50,000	50,000	60,000	60,000	105,000	105,000
国・県補助金	0	0	0	0	50,000	50,000
他会計出資金	54,927	20,644	51,107	59,235	52,918	46,610
工事負担金	15,847	16,075	14,217	14,434	14,726	14,686
受益者負担金・分担金	3,682	3,002	3,025	3,025	3,025	3,025
資本的支出（消費税込）	259,881	251,422	292,431	268,706	359,974	354,215
建設改良費	17,044	2,170	36,468	8,173	100,253	100,253
営業設備費	17,044	2,170	36,468	8,173	100,253	100,253
委託料	10,600	35	30,592	0	10,000	10,000
工事請負費	6,232	1,953	5,600	7,920	90,000	90,000
事務費	212	182	276	253	253	253
流域下水道負担金	0	0	0	0	0	0
固定資産購入費	0	0	0	0	0	0
企業債償還金	242,837	249,252	255,963	260,533	259,721	253,962
資本的収支差し引き	▲ 135,425	▲ 161,701	▲ 164,082	▲ 132,012	▲ 134,305	▲ 134,894
流動資産	64,845	71,628	18,267	11,772	27,800	27,797
流動負債	283,861	301,379	278,800	271,493	281,762	270,395
企業債	249,252	255,963	260,533	259,721	253,962	242,598
内部留保	10,460	30,236	26,212	0	0	0
前年度未残高 (A)	155,201	157,677	137,870	132,012	134,305	134,894
当年度発生額 (B)	▲ 135,425	▲ 161,701	▲ 164,082	▲ 132,012	▲ 134,305	▲ 134,894
当年度補填使用額 (C)	30,236	26,212	0	0	0	0
当年度未残高 (A+B+C)	2,752,681	2,553,430	2,357,467	2,156,934	2,002,213	1,853,251
企業債未償還残高	295,454	286,493	284,533	265,938	247,578	239,153
一般会計繰入金内訳	146,199	138,299	195,409	182,878	177,130	174,169
基準内	149,255	148,194	89,124	83,060	70,448	64,984
基準外						

(単位：千円)

計画4年目	計画5年目	計画6年目	計画7年目	計画8年目	計画9年目	計画10年目
R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
333,374	333,515	335,041	337,479	334,723	332,632	330,491
74,592	73,674	72,742	71,778	70,783	69,741	68,700
74,575	73,657	72,725	71,761	70,766	69,724	68,683
0	0	0	0	0	0	0
17	17	17	17	17	17	17
258,782	259,841	262,299	265,701	263,940	262,891	261,791
0	0	0	0	0	0	0
19,229	20,106	20,989	21,894	22,821	23,779	24,734
157,006	154,896	153,657	153,449	150,551	148,301	146,324
82,547	84,839	87,653	90,358	90,568	90,811	90,733
0	0	0	0	0	0	0
333,374	333,515	335,041	337,479	334,723	332,632	330,491
303,152	306,306	310,535	315,278	315,293	315,429	315,176
87,821	87,780	87,731	87,672	87,604	87,520	87,434
4,142	4,142	4,142	4,142	4,142	4,142	4,142
16,078	16,078	16,078	16,078	16,078	16,078	16,078
15,279	15,238	15,189	15,130	15,062	14,978	14,892
48,238	48,238	48,238	48,238	48,238	48,238	48,238
0	0	0	0	0	0	0
4,084	4,084	4,084	4,084	4,084	4,084	4,084
215,331	218,526	222,804	227,606	227,689	227,909	227,742
0	0	0	0	0	0	0
30,222	27,209	24,506	22,201	19,430	17,203	15,315
24,222	21,209	18,506	16,201	13,430	11,203	9,315
6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
206,972	192,641	172,468	65,462	18,638	9,231	8,725
95,000	85,000	55,000	7,200	2,700	2,700	2,700
50,000	50,000	55,000	8,000	3,000	3,000	3,000
45,793	42,710	52,490	40,978	7,486	0	0
13,154	11,906	6,953	6,259	2,427	506	0
3,025	3,025	3,025	3,025	3,025	3,025	3,025
342,851	329,536	311,732	202,613	155,556	134,576	106,546
100,253	100,253	110,253	16,253	6,253	6,253	6,253
100,253	100,253	110,253	16,253	6,253	6,253	6,253
10,000	10,000	20,000	10,000	0	0	0
90,000	90,000	90,000	6,000	6,000	6,000	6,000
253	253	253	253	253	253	253
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
242,598	229,283	201,479	186,360	149,303	128,323	100,293
▲ 135,879	▲ 136,895	▲ 139,264	▲ 137,151	▲ 136,918	▲ 125,345	▲ 97,821
27,794	27,790	29,604	12,507	10,682	22,398	61,594
257,077	229,269	215,964	161,810	139,005	110,967	94,922
229,283	201,479	186,360	149,303	128,323	100,293	84,257
0	0	0	0	0	0	11,724
135,879	136,895	139,264	137,151	136,918	137,069	137,026
▲ 135,879	▲ 136,895	▲ 139,264	▲ 137,151	▲ 136,918	▲ 125,345	▲ 97,821
0	0	0	0	0	11,724	50,929
1,705,653	1,561,370	1,414,891	1,235,731	1,089,128	963,505	865,912
235,182	229,618	234,089	222,580	183,285	172,586	171,058
170,160	166,802	160,610	159,708	152,978	148,807	146,324
65,022	62,816	73,479	62,872	30,307	23,779	24,734

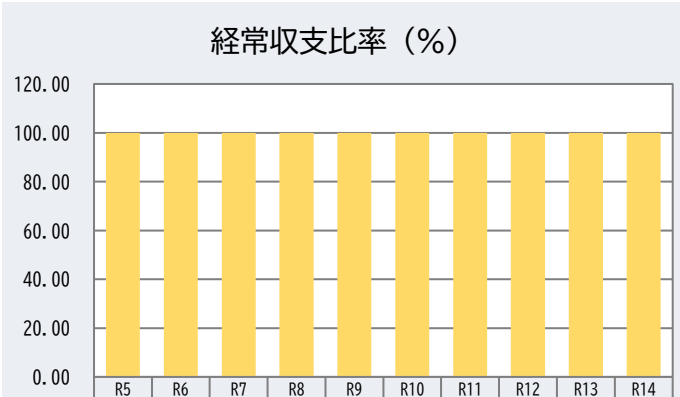
指標の名前	経常収支比率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$																							
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。																									
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっている必要があります。数値が 100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組みが必要です。																									
本市の将来見通し	経常収支比率（％） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																
分析結果	経常収支比率については、計画期間中は100%を継続できる見通しで、経営状態は安定しているといえます。																									

図 7-2-7. (特定環境保全公共下水道事業)経常収支比率

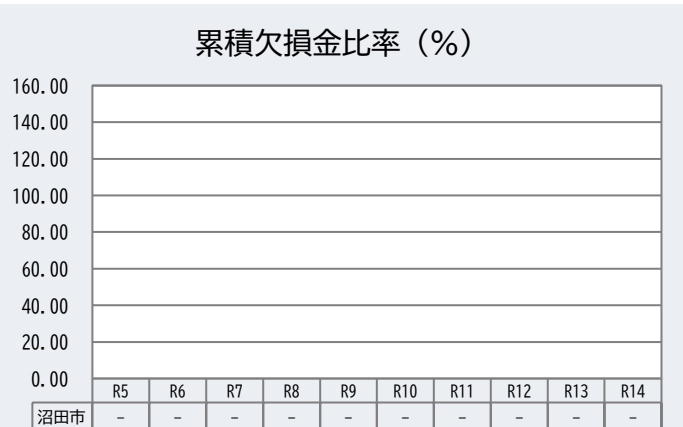
指標の名前	累積欠損金比率(%)																																
望ましい方向性					算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$																											
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。																																
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。																																
本市の将来見通し	累積欠損金比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr></tbody></table>												R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
	沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																						
分析結果	累積欠損金比率については、経常収支比率100%達成により計画期間中0%継続の見通しです。																																

図 7-2-8. (特定環境保全公共下水道事業)累積欠損金比率

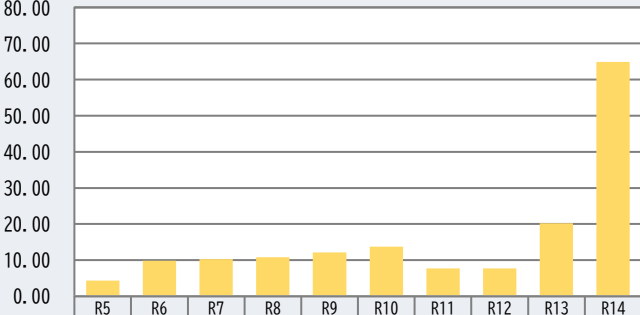
指標の名前	流動比率(%)																								
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																						
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																								
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																								
本市の将来見通し	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>4.34</td><td>9.87</td><td>10.28</td><td>10.81</td><td>12.12</td><td>13.71</td><td>7.73</td><td>7.68</td><td>20.18</td><td>64.89</td></tr></tbody></table>				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	4.34	9.87	10.28	10.81	12.12	13.71	7.73	7.68	20.18	64.89
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14															
沼田市	4.34	9.87	10.28	10.81	12.12	13.71	7.73	7.68	20.18	64.89															
分析結果	企業債償還のピーク・アウトに伴い、令和13年度以降大幅に向上する見通しです。ただし、施設の老朽化が予想を上回るペースで進行し、その更新のため現在の計画よりも多額の企業債発行を行った場合は指標向上は鈍化することとなりますので常に注視しつづける必要があります。																								

図 7-2-9. (特定環境保全公共下水道事業)流動比率

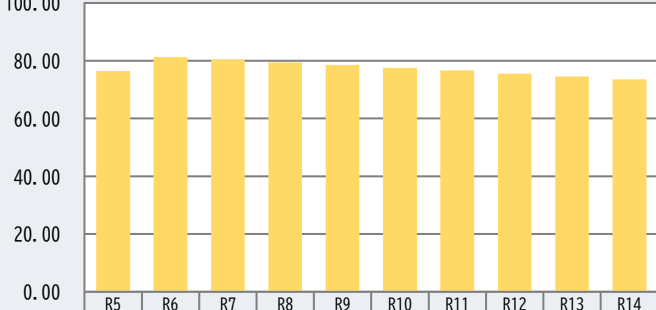
指標の名前	経費回収率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																							
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																									
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上であることが必要です。数値が100%を下回っている場合、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要です。																									
本市の将来見通し	経費回収率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>76.40</td><td>81.31</td><td>80.40</td><td>79.49</td><td>78.54</td><td>77.59</td><td>76.61</td><td>75.60</td><td>74.56</td><td>73.51</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	76.40	81.31	80.40	79.49	78.54	77.59	76.61	75.60	74.56	73.51
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	76.40	81.31	80.40	79.49	78.54	77.59	76.61	75.60	74.56	73.51																
分析結果	将来的な人口減少による使用料収入減及び物価上昇予測により経費回収率は悪化し続ける見通しです。少しでも指標の悪化を抑制する不断の経営努力を重ねつつ、必要に応じて使用料水準の見直しも実施しなければなりません。																									

図 7-2-10. (特定環境保全公共下水道事業)経費回収率

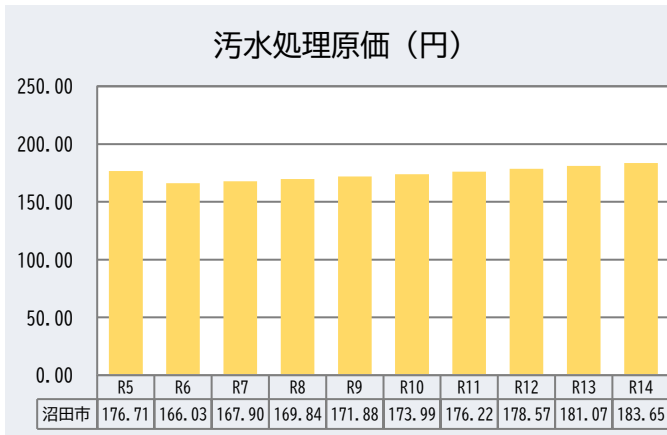
指標の名前	汚水処理原価(円)																															
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																													
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																															
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																															
本市の将来見通し	汚水処理原価（円） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>176.71</td><td>166.03</td><td>167.90</td><td>169.84</td><td>171.88</td><td>173.99</td><td>176.22</td><td>178.57</td><td>181.07</td><td>183.65</td></tr></tbody></table>											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	176.71	166.03	167.90	169.84	171.88	173.99	176.22	178.57	181.07	183.65
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
沼田市	176.71	166.03	167.90	169.84	171.88	173.99	176.22	178.57	181.07	183.65																						
分析結果	人口減少及び節水機器の普及等有収水量の減少予測に加え、引き続き物価上昇が継続するという予測により、汚水処理原価は増大し続ける見通しになっています。新たな経費縮減方を常に模索し続ける必要があります。																															

図 7-2-11. (特定環境保全公共下水道事業)汚水処理原価

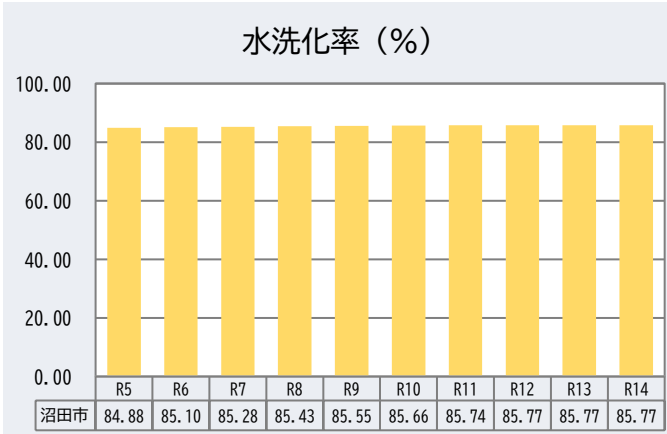
指標の名前	水洗化率(%)																															
望ましい方向性		算出式		$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																												
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。																															
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、汚水処理が適切に行われておらず水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上の取組みが必要です。																															
本市の将来見通し	水洗化率（%） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>84.88</td><td>85.10</td><td>85.28</td><td>85.43</td><td>85.55</td><td>85.66</td><td>85.74</td><td>85.77</td><td>85.77</td><td>85.77</td></tr></tbody></table>											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	84.88	85.10	85.28	85.43	85.55	85.66	85.74	85.77	85.77	85.77
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
沼田市	84.88	85.10	85.28	85.43	85.55	85.66	85.74	85.77	85.77	85.77																						
分析結果	下水道普及は完了していますが、若干の整備済区域からの新規接続を見込み、微増する見通しです。																															

図 7-2-12. (特定環境保全公共下水道事業)水洗化率



7-2-3. 農業集落排水事業

表7-2-3. (農業集落排水事業)投資・財政計画

(単位：千円)

科目	決算	決算	決算見込	計画1年目	計画2年目	計画3年目
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
下水道事業収益（消費税抜）	176,022	149,899	147,452	139,365	137,441	135,911
営業収益	26,255	26,818	25,165	26,149	25,800	25,450
下水道使用料	26,244	26,814	25,159	26,145	25,795	25,445
雨水処理負担金	0	0	0	0	0	0
その他営業収益	11	4	6	4	5	5
営業外収益	149,767	123,081	122,287	113,216	111,641	110,461
受取利息	0	0	0	0	0	0
他会計補助金	7,124	29,738	20,550	13,363	13,657	13,948
他会計負担金	100,974	51,064	60,593	58,775	56,906	55,435
長期前受金戻入	41,429	41,440	41,144	41,078	41,078	41,078
雑収益	240	839	0	0	0	0
下水道事業費用（消費税抜）	141,535	142,665	146,731	139,365	137,441	135,911
営業費用	120,689	124,030	130,235	125,337	125,282	125,273
性質別経費合計	32,301	35,632	42,318	37,512	37,457	37,398
職員給与費	0	0	0	0	0	0
修繕費	3,315	7,360	10,053	2,500	2,503	2,506
動力費	7,288	7,596	7,329	10,646	10,609	10,568
委託料	17,920	17,722	22,573	21,988	21,967	21,946
流域下水道費	0	0	0	0	0	0
その他経費	3,778	2,954	2,363	2,378	2,378	2,378
減価償却費	88,388	88,398	87,917	87,825	87,825	87,875
資産減耗費	0	0	0	0	0	0
営業外費用	20,846	18,635	16,496	14,028	12,159	10,638
支払利息	18,409	16,243	14,081	12,028	10,159	8,638
雑支出	2,437	2,392	2,415	2,000	2,000	2,000
特別損失	0	0	0	0	0	0
その他特別損失	0	0	0	0	0	0
当期純利益	34,487	7,234	721	0	0	0
資本的収入（消費税込）	18,375	33,428	34,448	43,743	38,197	31,830
企業債	0	0	0	20,000	22,970	12,970
国・県補助金	0	0	0	0	0	0
他会計出資金	3,560	18,830	19,841	9,649	902	4,299
工事負担金	14,370	14,378	14,387	14,094	14,325	14,561
受益者負担金・分担金	445	220	220	0	0	0
資本的支出（消費税込）	91,601	92,361	92,662	89,211	83,917	77,578
建設改良費	629	391	1,543	49	3,049	3,049
営業設備費	629	391	1,543	49	3,049	3,049
委託料	0	0	0	0	0	0
工事請負費	572	363	1,500	0	3,000	3,000
事務費	57	28	43	49	49	49
流域下水道負担金	0	0	0	0	0	0
固定資産購入費	0	0	0	0	0	0
企業債償還金	90,972	91,970	91,119	89,162	80,868	74,529
資本的収支差し引き	▲ 73,226	▲ 58,933	▲ 58,214	▲ 45,468	▲ 45,720	▲ 45,748
流動資産	25,435	18,174	4,513	3,931	4,301	4,295
流動負債	100,774	97,381	93,675	84,799	78,830	73,226
企業債	91,970	91,119	89,162	80,868	74,529	68,931
内部留保						
前年度末残高 (A)	8,380	16,631	11,912	0	0	0
当年度発生額 (B)	81,477	54,214	46,302	45,468	45,720	45,748
当年度補填使用額 (C)	▲ 73,226	▲ 58,933	▲ 58,214	▲ 45,468	▲ 45,720	▲ 45,748
当年度末残高 (A+B+C)	16,631	11,912	0	0	0	0
企業債未償還残高	835,838	743,869	652,750	583,588	525,690	464,131
一般会計繰入金内訳	126,028	114,010	115,371	95,881	85,790	88,243
基準内	115,344	65,442	74,980	72,869	71,231	69,996
基準外	10,684	48,568	40,391	23,012	14,559	18,247

(単位：千円)

計画4年目	計画5年目	計画6年目	計画7年目	計画8年目	計画9年目	計画10年目
R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
134,579	134,185	133,160	132,307	130,425	128,118	126,935
25,100	24,750	24,400	24,050	23,700	23,350	23,000
25,095	24,745	24,395	24,045	23,695	23,345	22,995
0	0	0	0	0	0	0
5	5	5	5	5	5	5
109,479	109,435	108,760	108,257	106,725	104,768	103,935
0	0	0	0	0	0	0
14,238	14,524	14,807	15,087	15,365	15,640	15,912
54,163	53,345	52,387	51,604	50,472	49,176	48,305
41,078	41,566	41,566	41,566	40,888	39,952	39,718
0	0	0	0	0	0	0
134,579	134,185	133,160	132,307	130,425	128,118	126,935
125,263	125,740	125,723	125,703	124,559	122,898	122,243
37,338	37,274	37,207	37,137	37,065	36,990	36,912
0	0	0	0	0	0	0
2,509	2,512	2,515	2,518	2,521	2,524	2,527
10,525	10,479	10,430	10,378	10,324	10,266	10,206
21,926	21,905	21,884	21,863	21,842	21,822	21,801
0	0	0	0	0	0	0
2,378	2,378	2,378	2,378	2,378	2,378	2,378
87,925	88,466	88,516	88,566	87,494	85,908	85,331
0	0	0	0	0	0	0
9,316	8,445	7,437	6,604	5,866	5,220	4,692
7,316	6,445	5,437	4,604	3,866	3,220	2,692
2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
54,840	20,708	17,463	16,422	14,502	10,304	6,197
17,670	2,970	2,970	2,970	2,970	2,970	2,970
15,000	0	0	0	0	0	0
7,370	3,125	0	0	0	0	0
14,800	14,613	14,493	13,452	11,532	7,334	3,227
0	0	0	0	0	0	0
101,980	66,555	55,340	50,094	44,558	34,788	29,159
33,049	3,049	3,049	3,049	3,049	3,049	3,049
33,049	3,049	3,049	3,049	3,049	3,049	3,049
30,000	0	0	0	0	0	0
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
49	49	49	49	49	49	49
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
68,931	63,506	52,291	47,045	41,509	31,739	26,110
▲ 47,140	▲ 45,847	▲ 37,877	▲ 33,672	▲ 30,056	▲ 24,484	▲ 22,962
9,743	4,282	12,306	24,679	40,449	61,521	84,146
73,249	56,573	51,321	45,778	36,001	30,364	25,380
63,506	52,291	47,045	41,509	31,739	26,110	21,134
0	0	0	8,030	20,410	36,187	57,267
47,140	45,847	45,907	46,052	45,833	45,564	45,595
▲ 47,140	▲ 45,847	▲ 37,877	▲ 33,672	▲ 30,056	▲ 24,484	▲ 22,962
0	0	8,030	20,410	36,187	57,267	79,900
412,870	352,334	303,013	258,938	220,399	191,630	168,490
90,571	85,607	81,687	80,143	77,369	72,150	67,444
68,963	67,958	66,880	65,056	62,004	56,510	51,532
21,608	17,649	14,807	15,087	15,365	15,640	15,912

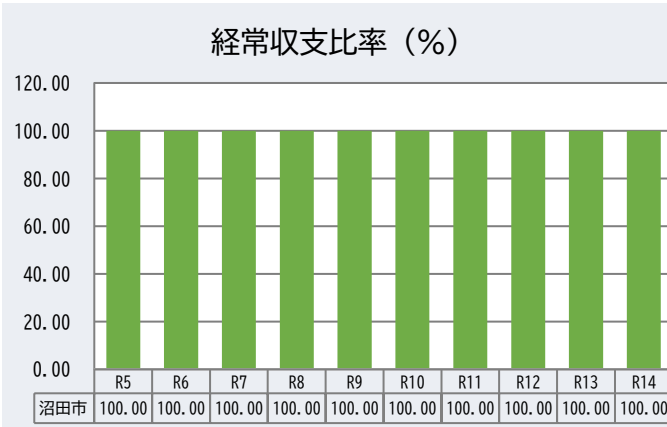
指標の名前	経常収支比率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$																							
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。																									
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっている必要があります。数値が 100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組みが必要です。																									
本市の将来見通し	経常収支比率（%） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																
分析結果	経常収支比率については、計画期間中は100%を継続できる見通しで、経営状態は安定しているといえます。																									

図 7-2-13. (農業集落排水事業)経常収支比率

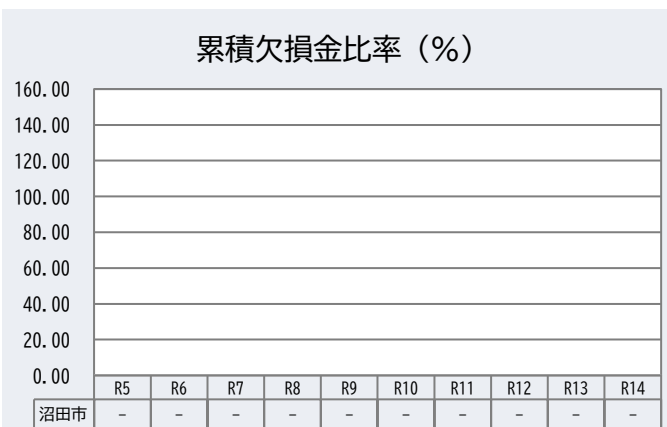
指標の名前	累積欠損金比率(%)																																
望ましい方向性					算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$																											
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等で補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。																																
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。																																
本市の将来見通し	累積欠損金比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr></tbody></table>												R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																							
沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																							
分析結果	累積欠損金比率については、経常収支比率100%達成により計画期間中0%継続の見通しです。																																

図 7-2-14. (農業集落排水事業)累積欠損金比率

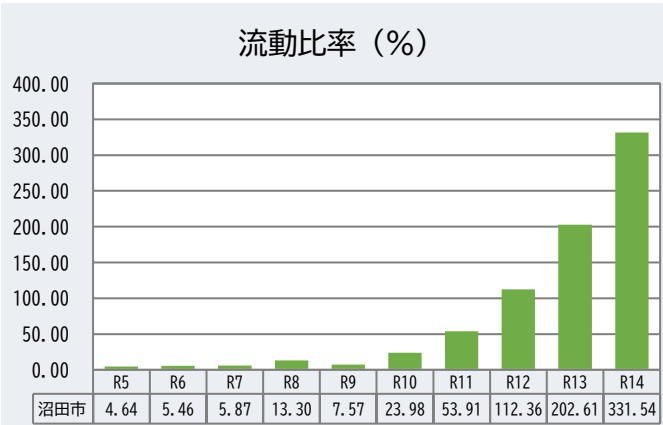
指標の名前	流動比率(%)																								
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																						
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																								
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																								
本市の将来見通し	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>4.64</td><td>5.46</td><td>5.87</td><td>13.30</td><td>7.57</td><td>23.98</td><td>53.91</td><td>112.36</td><td>202.61</td><td>331.54</td></tr></tbody></table>				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	4.64	5.46	5.87	13.30	7.57	23.98	53.91	112.36	202.61	331.54
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14															
沼田市	4.64	5.46	5.87	13.30	7.57	23.98	53.91	112.36	202.61	331.54															
分析結果	企業債償還が徐々に落ちていくことから、資金的な余裕が生まれ、指標は向上する見通しです。ただし、施設の老朽化が予想を上回るペースで進行し、その更新のため現在の計画よりも多額の企業債発行を行った場合は指標向上は鈍化することとなりますので常に注視しつづける必要があります。																								

図 7-2-15. (農業集落排水事業)流動比率

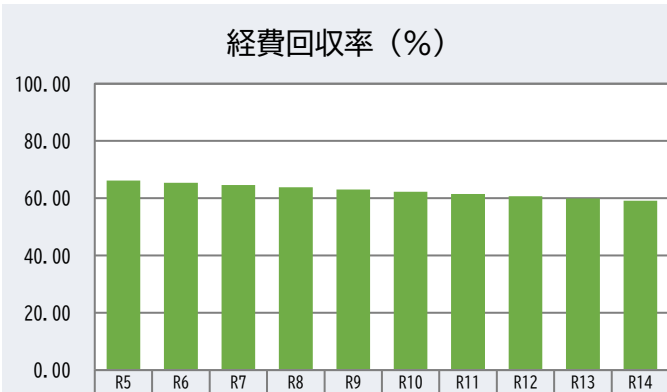
指標の名前	経費回収率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{污水处理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																							
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																									
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上であることが必要です。数値が100%を下回っている場合、污水处理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び污水处理費の削減が必要です。																									
本市の将来見通し	経費回収率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>66.17</td><td>65.37</td><td>64.58</td><td>63.79</td><td>63.01</td><td>62.22</td><td>61.44</td><td>60.66</td><td>59.87</td><td>59.09</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	66.17	65.37	64.58	63.79	63.01	62.22	61.44	60.66	59.87	59.09
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	66.17	65.37	64.58	63.79	63.01	62.22	61.44	60.66	59.87	59.09																
分析結果	将来的な人口減少による使用料収入減及び物価上昇予測により経費回収率は悪化し続ける見通しです。少しでも指標の悪化を抑制する不断の経営努力を重ねつつ、必要に応じて使用料水準の見直しも実施しなければなりません。																									

図 7-2-16. (農業集落排水事業)経費回収率

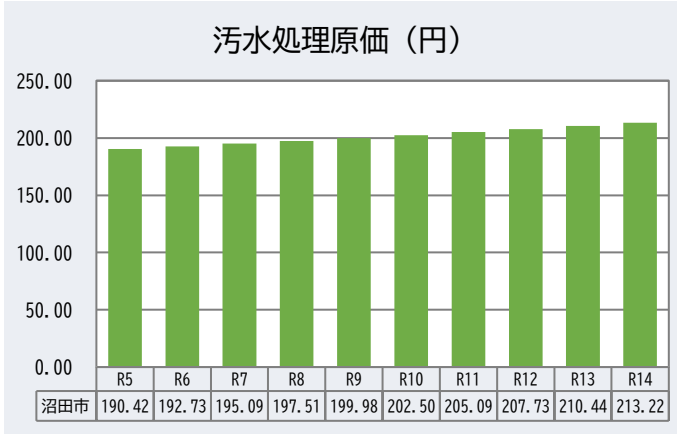
指標の名前	汚水処理原価(円)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																							
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																									
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																									
本市の将来見通し	汚水処理原価 (円) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>190.42</td><td>192.73</td><td>195.09</td><td>197.51</td><td>199.98</td><td>202.50</td><td>205.09</td><td>207.73</td><td>210.44</td><td>213.22</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	190.42	192.73	195.09	197.51	199.98	202.50	205.09	207.73	210.44	213.22
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	190.42	192.73	195.09	197.51	199.98	202.50	205.09	207.73	210.44	213.22																
分析結果	人口減少及び節水機器の普及等有収水量の減少予測に加え、引き続き物価上昇が継続するという予測により、汚水処理原価は増大し続ける見通しになっています。新たな経費縮減方策を常に模索し続ける必要があります。																									

図 7-2-17. (農業集落排水事業)汚水処理原価

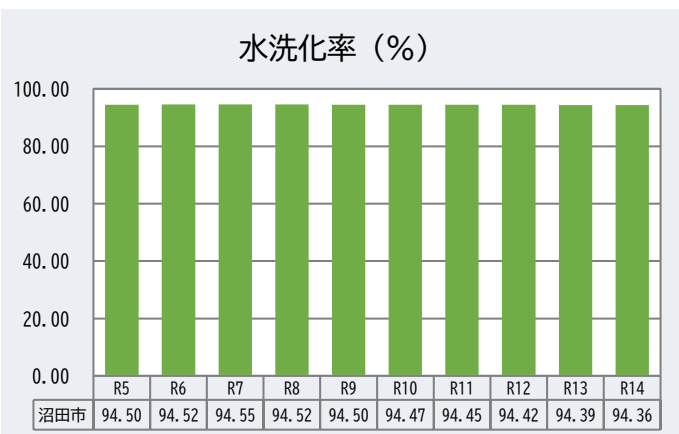
指標の名前	水洗化率(%)																										
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																								
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。																										
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、汚水処理が適切に行われておらず水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上の取組みが必要です。																										
本市の将来見通し	水洗化率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>94.50</td><td>94.52</td><td>94.55</td><td>94.52</td><td>94.50</td><td>94.47</td><td>94.45</td><td>94.42</td><td>94.39</td><td>94.36</td></tr></tbody></table>						R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	94.50	94.52	94.55	94.52	94.50	94.47	94.45	94.42	94.39	94.36
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																	
沼田市	94.50	94.52	94.55	94.52	94.50	94.47	94.45	94.42	94.39	94.36																	
分析結果	整備完了しており、今後は新規接続も期待できないことから横這いで推移する見通しとなっています。																										

図 7-2-18. (農業集落排水事業)水洗化率



7-2-4. 総合計(3事業合算)

表7-2-4. (総合計)投資・財政計画

(単位:千円)

科目	決算	決算	決算見込	計画1年目	計画2年目
	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
下水道事業収益(消費税抜)	1,341,329	1,318,193	1,246,659	1,189,308	1,168,675
営業収益	399,169	397,542	383,899	390,025	386,062
下水道使用料	377,262	375,721	362,065	368,211	364,239
雨水処理負担金	21,706	21,706	21,706	21,706	21,706
その他営業収益	201	115	128	108	117
営業外収益	942,160	920,651	862,760	799,283	782,613
受取利息	1	1	1	1	1
他会計補助金	322,537	317,151	138,101	77,700	75,636
他会計負担金	388,889	371,880	498,599	496,262	482,642
長期前受金戻入	229,925	230,752	226,057	225,318	224,332
雑収益	808	867	2	2	2
下水道事業費用(消費税抜)	1,280,892	1,268,237	1,253,377	1,189,308	1,168,675
営業費用	1,076,310	1,092,349	1,091,825	1,064,552	1,054,010
性質別経費合計	431,826	445,459	459,344	434,519	427,169
職員給与費	50,360	38,133	33,390	42,847	42,847
修繕費	21,875	55,858	43,632	27,916	20,991
動力費	9,214	20,543	20,054	28,119	27,872
委託料	89,527	87,494	98,004	88,473	88,295
流域下水道費	214,756	213,543	219,128	227,208	227,208
その他経費	46,094	29,888	45,136	19,956	19,956
減価償却費	644,484	646,890	632,481	630,033	626,841
資産減耗費	0	0	0	0	0
営業外費用	191,246	175,888	161,552	124,756	114,665
支払利息	155,533	140,292	125,897	111,756	101,665
雑支出	35,713	35,596	35,655	13,000	13,000
特別損失	13,336	0	0	0	0
その他特別損失	13,336	0	0	0	0
当期純利益	60,437	49,956	▲ 6,718	0	0
資本的収入(消費税込)	425,772	454,103	517,455	540,319	627,424
企業債	207,600	231,600	276,400	275,388	319,170
国・県補助金	25,300	37,800	35,000	43,266	112,109
他会計出資金	58,487	48,474	70,948	86,852	58,586
工事負担金	125,442	128,448	128,295	131,032	134,124
受益者負担金・分担金	8,943	7,781	6,812	3,781	3,435
資本的支出(消費税込)	898,650	916,382	948,136	944,019	1,031,820
建設改良費	145,235	148,782	167,623	170,208	281,525
営業設備費	131,565	120,785	119,105	121,420	240,225
委託料	27,620	38,180	46,233	5,660	24,770
工事請負費	84,442	79,303	69,355	103,312	203,007
事務費	19,503	3,302	3,517	12,448	12,448
流域下水道負担金	13,670	27,997	48,518	48,788	40,000
固定資産購入費	0	0	0	0	1,300
企業債償還金	753,415	767,600	780,513	773,811	750,295
資本的収支差し引き	▲ 472,878	▲ 462,279	▲ 430,681	▲ 403,700	▲ 404,396
流動資産	172,482	245,086	156,338	153,948	173,459
流動負債	855,152	925,219	861,177	835,981	825,567
企業債	767,600	780,513	773,811	750,295	720,370
内部留保	73,005	84,930	100,380	68,972	68,262
前年度末残高(A)	73,005	84,930	100,380	68,972	68,262
当年度発生額(B)	484,803	477,729	399,273	402,990	404,396
当年度補填使用額(C)	▲ 472,878	▲ 462,279	▲ 430,681	▲ 403,700	▲ 404,396
当年度末残高(A+B+C)	84,930	100,380	68,972	68,262	68,262
企業債未償還残高	8,610,589	8,074,592	7,570,479	7,072,056	6,640,931
一般会計繰入金内訳	917,061	887,659	857,649	813,552	772,694
基準内	536,037	522,034	648,600	649,000	638,472
基準外	381,024	365,625	209,049	164,552	134,222

(単位：千円)

計画3年目	計画4年目	計画5年目	計画6年目	計画7年目	計画8年目	計画9年目	計画10年目
R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
1,165,766	1,163,760	1,163,151	1,162,605	1,161,820	1,154,447	1,147,730	1,141,142
382,277	378,553	374,681	370,684	366,255	361,730	357,394	353,019
360,453	356,732	352,858	348,861	344,765	340,584	336,248	331,873
21,706	21,706	21,706	21,706	21,374	21,029	21,029	21,029
118	115	117	117	116	117	117	117
783,489	785,207	788,470	791,921	795,565	792,717	790,336	788,123
1	1	1	1	1	1	1	1
79,192	82,684	86,303	90,028	93,834	97,710	101,715	105,751
475,232	468,876	463,330	458,548	455,103	448,747	442,841	437,454
229,062	233,644	238,834	243,342	246,625	246,257	245,777	244,915
2	2	2	2	2	2	2	2
1,165,766	1,163,760	1,163,151	1,162,605	1,161,820	1,154,447	1,147,730	1,141,142
1,059,645	1,065,288	1,070,888	1,076,294	1,080,724	1,078,314	1,076,031	1,073,098
426,940	426,708	426,455	426,183	425,892	425,588	425,257	424,918
42,847	42,847	42,847	42,847	42,847	42,847	42,847	42,847
20,994	20,997	21,000	21,003	21,006	21,009	21,012	21,015
27,807	27,733	27,645	27,545	27,430	27,304	27,157	27,005
88,128	87,967	87,799	87,624	87,445	87,264	87,077	86,887
227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208
19,956	19,956	19,956	19,956	19,956	19,956	19,956	19,956
632,705	638,580	644,433	650,111	654,832	652,726	650,774	648,180
0	0	0	0	0	0	0	0
106,121	98,472	92,263	86,311	81,096	76,133	71,699	68,044
93,121	85,472	79,263	73,311	68,096	63,133	58,699	55,044
13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
566,705	559,141	512,431	434,013	325,567	275,327	236,318	242,303
281,970	267,770	244,670	181,370	130,970	118,670	123,470	125,070
97,625	100,816	92,063	88,898	49,498	56,983	61,783	81,033
53,073	59,568	55,713	72,710	67,566	45,383	19,338	20,124
130,807	127,752	116,750	87,800	74,298	51,056	28,492	12,841
3,230	3,235	3,235	3,235	3,235	3,235	3,235	3,235
971,069	967,221	921,379	838,444	724,732	672,151	617,130	595,522
250,699	277,490	259,985	253,654	174,854	189,824	199,424	237,924
210,699	237,490	219,985	213,654	134,854	149,824	159,424	197,924
27,693	56,289	51,179	30,000	20,000	10,000	10,000	45,000
170,558	168,753	156,358	171,206	102,406	127,376	136,976	140,476
12,448	12,448	12,448	12,448	12,448	12,448	12,448	12,448
40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
0	0	0	0	0	0	0	0
720,370	689,731	661,394	584,790	549,878	482,327	417,706	357,598
▲ 404,364	▲ 408,080	▲ 408,948	▲ 404,431	▲ 399,165	▲ 396,824	▲ 380,812	▲ 353,219
168,736	172,501	169,293	176,146	174,169	192,638	227,154	295,957
790,205	765,633	685,821	649,732	567,824	505,895	447,499	420,188
689,731	661,394	584,790	549,878	482,327	417,706	357,598	323,322
68,262	68,262	68,262	68,262	76,292	88,672	104,449	137,253
404,364	408,080	408,948	412,461	411,545	412,601	413,616	415,057
▲ 404,364	▲ 408,080	▲ 408,948	▲ 404,431	▲ 399,165	▲ 396,824	▲ 380,812	▲ 353,219
68,262	68,262	68,262	76,292	88,672	104,449	137,253	199,091
6,202,531	5,780,570	5,363,846	4,960,426	4,541,518	4,177,861	3,883,625	3,651,097
760,010	760,586	743,802	730,792	712,175	663,925	613,415	597,199
627,745	618,334	601,786	568,054	550,775	520,832	492,362	471,324
132,265	142,252	142,016	162,738	161,400	143,093	121,053	125,875

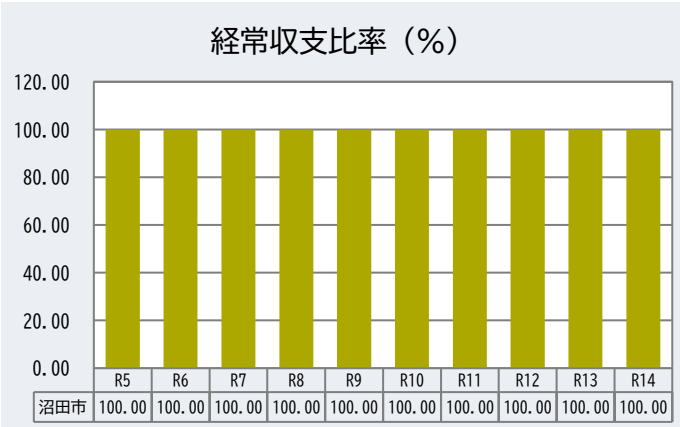
指標の名前	経常収支比率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$																							
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。																									
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっている必要があります。数値が 100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組みが必要です。																									
本市の将来見通し	経常収支比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																
分析結果	経常収支比率については、計画期間中は100%を継続できる見通しで、経営状態は安定しているといえます。																									

図 7-2-19. (総合計)経常収支比率

指標の名前	累積欠損金比率(%)																																
望ましい方向性					算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$																											
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。																																
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。																																
本市の将来見通し	累積欠損金比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr></tbody></table>												R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																							
沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																							
分析結果	累積欠損金比率については、経常収支比率100%達成により計画期間中0%継続の見通しです。																																

図 7-2-20. (総合計)累積欠損金比率

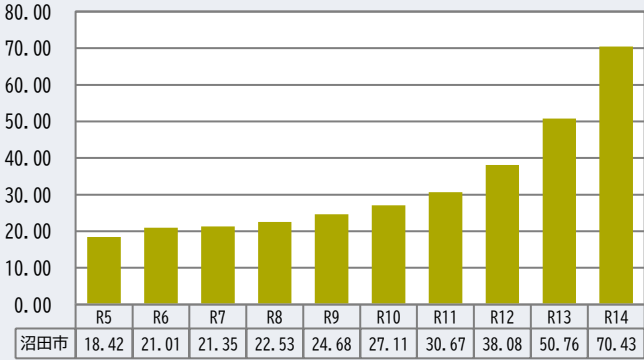
指標の名前	流動比率(%)																								
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																						
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																								
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																								
本市の将来見通し	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>18.42</td><td>21.01</td><td>21.35</td><td>22.53</td><td>24.68</td><td>27.11</td><td>30.67</td><td>38.08</td><td>50.76</td><td>70.43</td></tr></tbody></table>				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	18.42	21.01	21.35	22.53	24.68	27.11	30.67	38.08	50.76	70.43
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14															
沼田市	18.42	21.01	21.35	22.53	24.68	27.11	30.67	38.08	50.76	70.43															
分析結果	企業債償還が徐々に落ち着いてくることから、資金的な余裕が生まれ、指標は向上する見通しです。ただし、施設の老朽化が予想を上回るペースで進行し、その更新のため現在の計画よりも多額の企業債発行を行った場合は指標向上は鈍化することとなりますので常に注視しつつける必要があります。																								

図 7-2-21. (総合計)流動比率

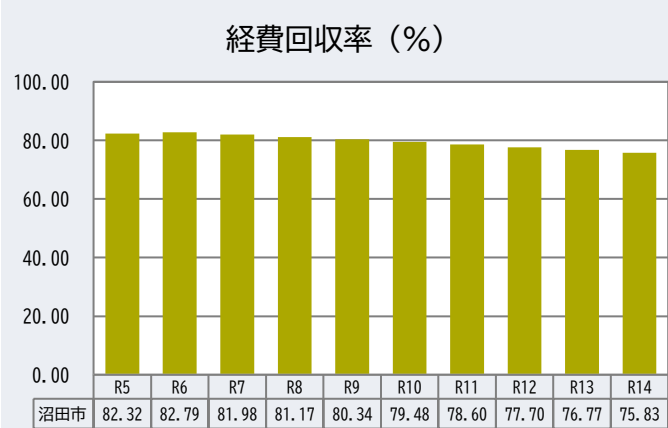
指標の名前	経費回収率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																							
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																									
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上である必要があります。数値が100%を下回っている場合、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要です。																									
本市の将来見通し	経費回収率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>82.32</td><td>82.79</td><td>81.98</td><td>81.17</td><td>80.34</td><td>79.48</td><td>78.60</td><td>77.70</td><td>76.77</td><td>75.83</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	82.32	82.79	81.98	81.17	80.34	79.48	78.60	77.70	76.77	75.83
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	82.32	82.79	81.98	81.17	80.34	79.48	78.60	77.70	76.77	75.83																
分析結果	将来的な人口減少による使用料収入減及び物価上昇予測により経費回収率は悪化し続ける見通しです。少しでも指標の悪化を抑制する不断の経営努力を重ねつつ、必要に応じて使用料水準の見直しも実施しなければなりません。																									

図 7-2-22. (総合計)経費回収率

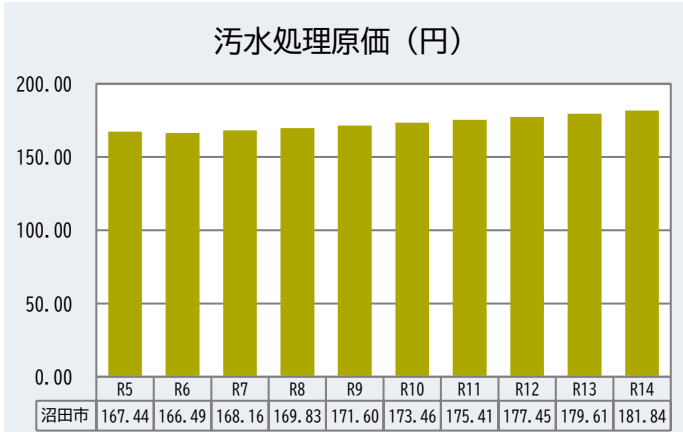
指標の名前	汚水処理原価(円)																								
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																						
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																								
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																								
本市の将来見通し	汚水処理原価（円） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>167.44</td><td>166.49</td><td>168.16</td><td>169.83</td><td>171.60</td><td>173.46</td><td>175.41</td><td>177.45</td><td>179.61</td><td>181.84</td></tr></tbody></table>				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	167.44	166.49	168.16	169.83	171.60	173.46	175.41	177.45	179.61	181.84
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14															
沼田市	167.44	166.49	168.16	169.83	171.60	173.46	175.41	177.45	179.61	181.84															
分析結果	人口減少及び節水機器の普及等有収水量の減少予測に加え、引き続き物価上昇が継続するという予測により、汚水処理原価は増大し続ける見通しになっています。新たな経費縮減方策を常に模索し続ける必要があります。																								

図 7-2-23. (総合計)汚水処理原価

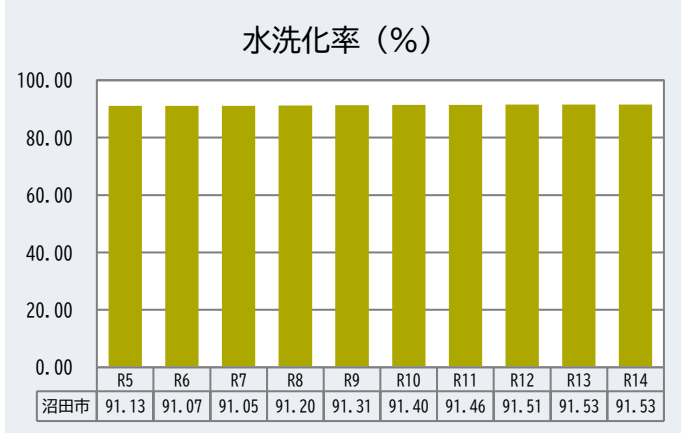
指標の名前	水洗化率(%)																															
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																													
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。																															
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、汚水処理が適切に行われておらず水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上の取組みが必要です。																															
本市の将来見通し	水洗化率（%） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>91.13</td><td>91.07</td><td>91.05</td><td>91.20</td><td>91.31</td><td>91.40</td><td>91.46</td><td>91.51</td><td>91.53</td><td>91.53</td></tr></tbody></table>											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	91.13	91.07	91.05	91.20	91.31	91.40	91.46	91.51	91.53	91.53
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
沼田市	91.13	91.07	91.05	91.20	91.31	91.40	91.46	91.51	91.53	91.53																						
分析結果	下水道普及の継続と整備済区域からの新規接続を見込み、微増する見通しです。																															

図 7-2-24. (総合計)水洗化率



7-3. 投資・財政計画(50年間の長期見通し)

将来50年間の投資・財政計画及び見通しの概要を示します（3事業合算のみ）。

7-3-1. 総合計(3事業合算)

表7-3-1. (総合計)投資・財政計画(50年)

(単位：千円)

科目	決算	決算	決算見込	計画5年目	計画10年目
	R2	R3	R4	R9	R14
	2020	2021	2022	2027	2032
下水道事業収益（消費税抜）	1,341,329	1,318,193	1,246,659	1,163,151	1,141,142
営業収益	399,169	397,542	383,899	374,681	353,019
下水道使用料	377,262	375,721	362,065	352,858	331,873
雨水処理負担金	21,706	21,706	21,706	21,706	21,029
その他営業収益	201	115	128	117	117
営業外収益	942,160	920,651	862,760	788,470	788,123
受取利息	1	1	1	1	1
他会計補助金	322,537	317,151	138,101	86,303	105,751
他会計負担金	388,889	371,880	498,599	463,330	437,454
長期前受金戻入	229,925	230,752	226,057	238,834	244,915
雑収益	808	867	2	2	2
下水道事業費用（消費税抜）	1,280,892	1,268,237	1,253,377	1,163,151	1,141,142
営業費用	1,076,310	1,092,349	1,091,825	1,070,888	1,073,098
性質別経費合計	431,826	445,459	459,344	426,455	424,918
職員給与費	50,360	38,133	33,390	42,847	42,847
修繕費	21,875	55,858	43,632	21,000	21,015
動力費	9,214	20,543	20,054	27,645	27,005
委託料	89,527	87,494	98,004	87,799	86,887
流域下水道費	214,756	213,543	219,128	227,208	227,208
その他経費	46,094	29,888	45,136	19,956	19,956
減価償却費	644,484	646,890	632,481	644,433	648,180
資産減耗費	0	0	0	0	0
営業外費用	191,246	175,888	161,552	92,263	68,044
支払利息	155,533	140,292	125,897	79,263	55,044
雑支出	35,713	35,596	35,655	13,000	13,000
特別損失	13,336	0	0	0	0
その他特別損失	13,336	0	0	0	0
当期純利益	60,437	49,956	▲ 6,718	0	0
資本的収入（消費税込）	425,772	454,103	517,455	512,431	242,303
企業債	207,600	231,600	276,400	244,670	125,070
国・県補助金	25,300	37,800	35,000	92,063	81,033
他会計出資金	58,487	48,474	70,948	55,713	20,124
工事負担金	125,442	128,448	128,295	116,750	12,841
受益者負担金・分担金	8,943	7,781	6,812	3,235	3,235
資本的支出（消費税込）	898,650	916,382	948,136	921,379	595,522
建設改良費	145,235	148,782	167,623	259,985	237,924
営業設備費	131,565	120,785	119,105	219,985	197,924
委託料	27,620	38,180	46,233	51,179	45,000
工事請負費	84,442	79,303	69,355	156,358	140,476
事務費	19,503	3,302	3,517	12,448	12,448
流域下水道負担金	13,670	27,997	48,518	40,000	40,000
固定資産購入費	0	0	0	0	0
企業債償還金	753,415	767,600	780,513	661,394	357,598
資本的収支差し引き	▲ 472,878	▲ 462,279	▲ 430,681	▲ 408,948	▲ 353,219
流動資産	172,482	245,086	156,338	169,293	295,957
流動負債	855,152	925,219	861,177	685,821	420,188
企業債	767,600	780,513	773,811	584,790	323,322
内部留保	73,005	84,930	100,380	68,262	137,253
前年度末残高 (A)	73,005	84,930	100,380	68,262	137,253
当年度発生額 (B)	484,803	477,729	399,273	408,948	415,057
当年度補填使用額 (C)	▲ 472,878	▲ 462,279	▲ 430,681	▲ 408,948	▲ 353,219
当年度末残高 (A+B+C)	84,930	100,380	68,972	68,262	199,091
企業債未償還残高	8,610,589	8,074,592	7,570,479	5,363,846	3,651,097
一般会計繰入金内訳	917,061	887,659	857,649	743,802	597,199
基準内	536,037	522,034	648,600	601,786	471,324
基準外	381,024	365,625	209,049	142,016	125,875

(単位：千円)

計画15年目	計画20年目	計画25年目	計画30年目	計画35年目	計画40年目	計画45年目	計画50年目
R19	R24	R29	R34	R39	R44	R49	R54
2037	2042	2047	2052	2057	2062	2067	2072
1,089,045	980,176	886,307	743,130	650,207	596,755	589,668	573,940
330,828	308,244	285,404	260,603	231,707	197,513	168,623	143,552
309,682	287,098	264,258	241,094	217,577	193,113	168,248	143,435
21,029	21,029	21,029	19,392	14,013	4,283	258	0
117	117	117	117	117	117	117	117
758,217	671,932	600,903	482,527	418,500	399,242	421,045	430,388
1	1	1	1	1	1	1	1
125,779	145,706	165,804	186,133	206,720	228,119	249,818	271,400
403,003	339,043	284,079	201,583	143,590	126,069	129,023	118,688
229,432	187,180	151,017	94,808	68,187	45,051	42,201	40,297
2	2	2	2	2	2	2	2
1,089,045	980,176	886,307	743,130	650,207	596,755	589,668	573,940
1,032,187	926,440	833,439	691,010	599,392	546,378	539,310	523,582
422,515	419,858	417,116	414,281	411,351	408,286	405,120	401,889
42,847	42,847	42,847	42,847	42,847	42,847	42,847	42,847
21,030	21,045	21,060	21,075	21,090	21,105	21,120	21,135
25,554	23,872	22,118	20,291	18,387	16,401	14,336	12,204
85,920	84,930	83,927	82,904	81,863	80,769	79,653	78,539
227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208
19,956	19,956	19,956	19,956	19,956	19,956	19,956	19,956
609,672	506,582	416,323	276,729	188,041	138,092	134,190	121,693
0	0	0	0	0	0	0	0
56,858	53,736	52,868	52,120	50,815	50,377	50,358	50,358
43,858	40,736	39,868	39,120	37,815	37,377	37,358	37,358
13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
145,946	143,692	141,109	139,378	139,378	149,929	153,860	159,357
99,270	99,270	99,270	99,270	99,270	99,270	99,270	99,270
37,083	37,083	37,083	37,083	37,083	37,083	39,583	37,083
0	0	0	0	0	10,551	11,982	19,979
6,358	4,104	1,521	0	0	0	0	0
3,235	3,235	3,235	3,025	3,025	3,025	3,025	3,025
351,271	291,835	267,163	266,478	256,925	250,583	254,286	249,286
150,024	150,024	150,024	150,024	150,024	150,024	155,024	150,024
110,024	110,024	110,024	110,024	110,024	110,024	115,024	110,024
10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	15,000	10,000
87,576	87,576	87,576	87,576	87,576	87,576	87,576	87,576
12,448	12,448	12,448	12,448	12,448	12,448	12,448	12,448
40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
0	0	0	0	0	0	0	0
201,247	141,811	117,139	116,454	106,901	100,559	99,262	99,262
▲ 205,325	▲ 148,143	▲ 126,054	▲ 127,100	▲ 117,547	▲ 100,654	▲ 100,426	▲ 89,929
976,428	1,868,484	2,692,910	3,207,537	3,332,955	3,349,705	3,354,997	3,356,662
269,320	216,517	192,739	193,255	184,766	178,484	179,076	177,845
188,674	136,138	112,633	113,433	105,237	99,262	99,262	99,262
712,482	1,608,256	2,464,727	3,063,911	3,242,136	3,269,113	3,274,411	3,277,629
388,625	327,992	274,131	190,904	128,837	102,024	101,198	90,379
▲ 205,325	▲ 148,143	▲ 126,054	▲ 127,100	▲ 117,547	▲ 100,654	▲ 100,426	▲ 89,929
895,782	1,788,105	2,612,804	3,127,715	3,253,426	3,270,483	3,275,183	3,278,079
2,858,475	2,529,136	2,399,295	2,326,046	2,267,835	2,250,763	2,250,803	2,250,843
556,169	509,882	472,433	407,108	364,323	369,022	391,081	410,067
430,390	364,176	306,629	220,975	157,603	130,352	129,281	118,688
125,779	145,706	165,804	186,133	206,720	238,670	261,800	291,379

人口減少が人口推計どおりに進行した場合、使用料収入の減少は長期にわたって継続し、経費回収率も同様に低下し続けることとなります。

今回試算では、50年後の経費回収率は34.57%まで低下する見通しとなっています。

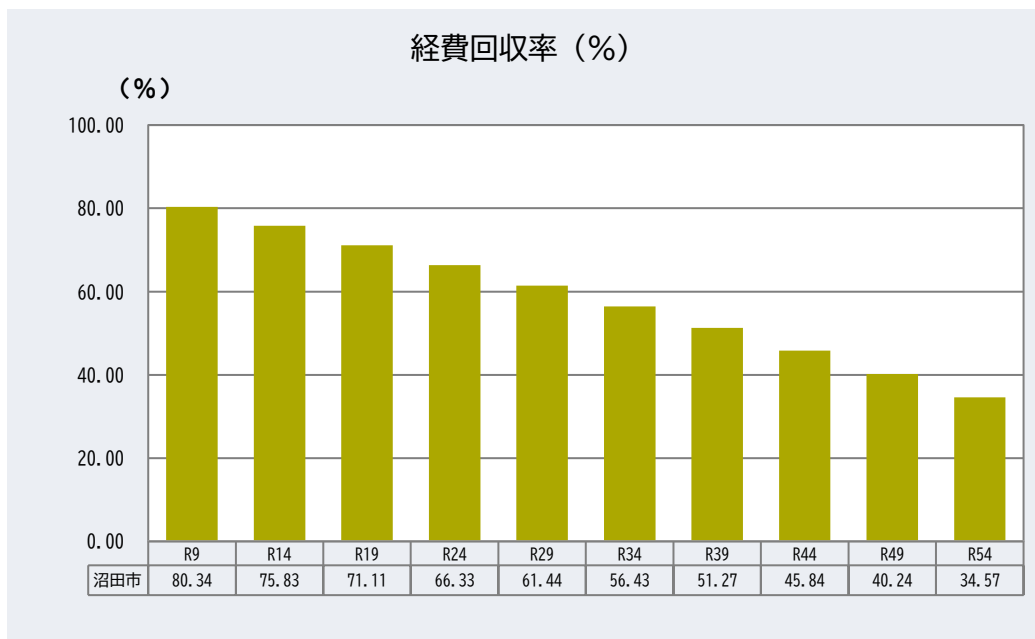


図 7-3-1. (総合計)経費回収率の推移(50 年)

企業債については、中長期的に新規借入額を元金償還金の範囲内に収める規律ある財務運用を実践することで、未償還残高を大幅に減らすことが可能となります。

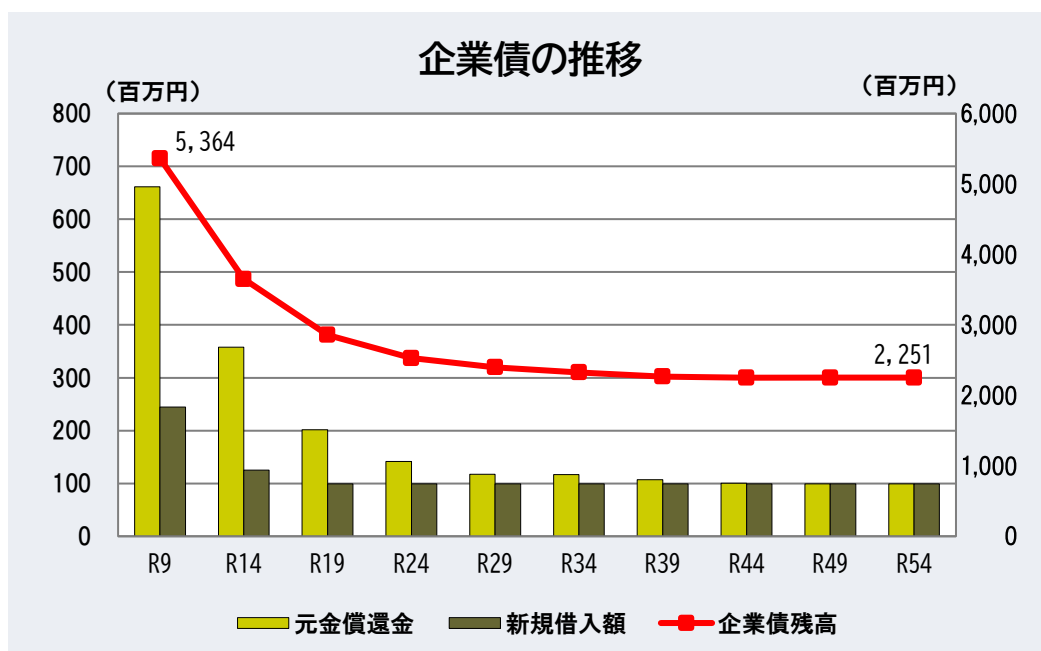


図 7-3-2. (総合計)企業債の推移(50 年)

下水道事業にとって重要な財源である一般会計繰入金については、污水資本費（減価償却費や支払利息）が長期的には漸減することから、総額としては減少傾向が続きますが、使用料収入不足によって他会計補助金（基準外）は増加する見通しとなっています。

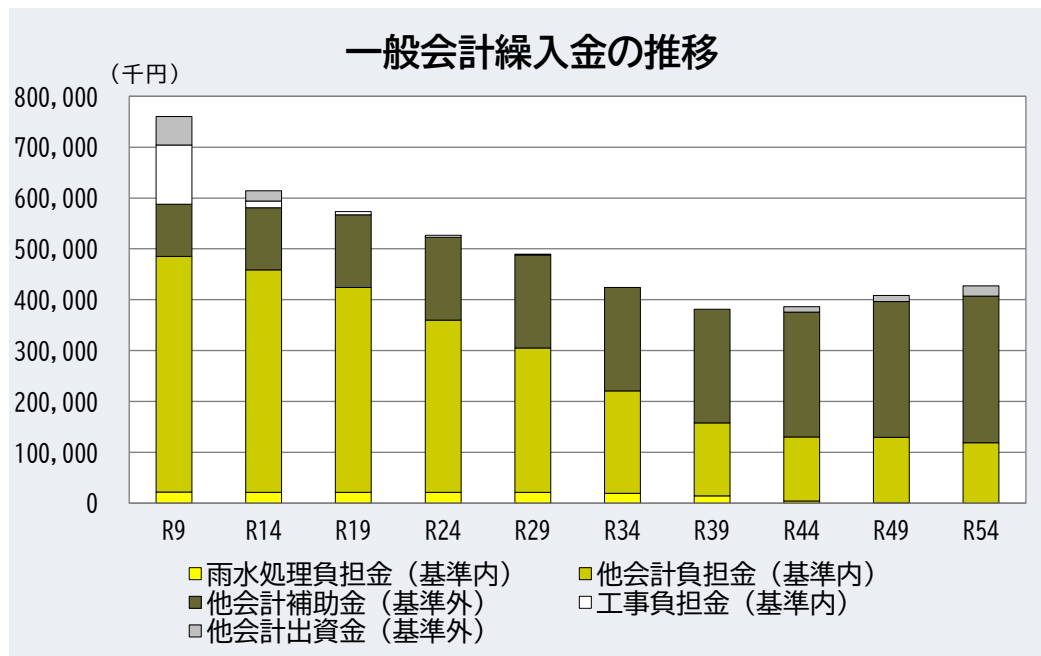


図 7-3-3. (総合計)一般会計繰入金の推移(50年)

本市下水道事業を取り巻く経営環境は、長期的にはさらに厳しさを増すことが予想されます。

民間活用や広域化・共同化等抜本的な経営改革手法を模索しつつ、経営状況に合わせて使用料の見直しを適宜検討する必要性が確認できます。

7-4. 投資・財政計画(経費回収率 100%となる使用料改定の想定)

参考として、令和9年度に使用料改定を実施した場合のシミュレーションを示します。

7-4-1. 公共下水道事業

表7-4-1. (公共下水道事業)投資・財政計画(使用料改定)

(単位: 千円)

科目	決算	決算	決算見込	計画1年目	計画2年目	計画3年目
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
下水道事業収益(消費税法)	783,048	758,386	728,822	702,312	697,450	696,229
営業収益	297,164	292,150	286,035	286,688	283,915	281,349
下水道使用料	275,288	270,347	264,225	264,895	262,113	259,547
雨水処理負担金	21,706	21,706	21,706	21,706	21,706	21,706
その他営業収益	170	97	104	87	96	96
営業外収益	485,884	466,236	442,787	415,624	413,535	414,880
受取利息	1	1	1	1	1	1
他会計補助金	221,085	159,863	79,534	40,512	44,449	46,870
他会計負担金	157,563	198,592	256,814	269,043	263,332	260,314
長期前受金戻入	107,212	107,753	106,436	106,066	105,751	107,693
雑収益	23	27	2	2	2	2
下水道事業費用(消費税法)	770,436	732,347	737,930	702,312	697,450	696,229
営業費用	643,064	627,159	640,133	633,169	631,995	634,290
性質別経費合計	309,112	291,090	308,503	301,994	301,835	301,690
職員給与費	41,432	28,826	24,556	38,705	38,705	38,705
修繕費	4,687	4,096	3,602	2,410	2,410	2,410
動力費	1,926	1,975	1,997	1,930	1,928	1,929
委託料	24,341	23,666	22,715	18,247	18,090	17,944
流域下水道費	214,756	213,543	219,128	227,208	227,208	227,208
その他経費	21,970	18,984	36,505	13,494	13,494	13,494
減価償却費	333,952	336,069	331,630	331,175	330,160	332,600
資産減耗費	0	0	0	0	0	0
営業外費用	114,822	105,188	97,797	69,143	65,455	61,939
支払利息	88,114	79,512	71,605	64,143	60,455	56,939
雑支出	26,708	25,676	26,192	5,000	5,000	5,000
特別損失	12,550	0	0	0	0	0
その他特別損失	12,550	0	0	0	0	0
当期純利益	12,612	26,039	▲ 9,108	0	0	0
資本的収入(消費税込)	282,941	330,954	354,658	359,882	363,558	315,554
企業債	157,600	181,600	216,400	195,388	191,200	164,000
国・県補助金	25,300	37,800	35,000	43,266	62,109	47,625
他会計出資金	0	9,000	0	17,968	4,766	2,164
工事負担金	95,225	97,995	99,691	102,504	105,073	101,560
受益者負担金・分担金	4,816	4,559	3,567	756	410	205
資本的支出(消費税込)	547,168	572,599	563,043	586,102	587,929	539,276
建設改良費	127,562	146,221	129,612	161,986	178,223	147,397
営業設備費	113,892	118,224	81,094	113,198	136,923	107,397
委託料	17,020	38,145	15,641	5,660	14,770	17,693
工事請負費	77,638	76,987	62,255	95,392	110,007	77,558
事務費	19,234	3,092	3,198	12,146	12,146	12,146
流域下水道負担金	13,670	27,997	48,518	48,788	40,000	40,000
固定資産購入費	0	0	0	0	1,300	0
企業債償還金	419,606	426,378	433,431	424,116	409,706	391,879
資本的収支差し引き	▲ 264,227	▲ 241,645	▲ 208,385	▲ 226,220	▲ 224,371	▲ 223,722
流動資産	82,202	155,284	133,558	138,245	141,358	136,644
流動負債	470,517	526,459	488,702	479,689	464,975	446,584
企業債	426,378	433,431	424,116	409,706	391,879	378,202
内部留保						
前年度末残高(A)	54,165	38,063	62,256	68,972	68,262	68,262
当年度発生額(B)	248,125	265,838	215,101	225,510	224,371	223,722
当年度補填使用額(C)	▲ 264,227	▲ 241,645	▲ 208,385	▲ 226,220	▲ 224,371	▲ 223,722
当年度末残高(A+B+C)	38,063	62,256	68,972	68,262	68,262	68,262
企業債未償還残高	5,022,070	4,777,293	4,560,262	4,331,534	4,113,028	3,885,149
一般会計繰入金内訳	495,579	487,156	457,745	451,733	439,326	432,614
基準内	274,494	318,293	378,211	393,253	390,111	383,580
基準外	221,085	168,863	79,534	58,480	49,215	49,034

(単位：千円)

計画4年目	計画5年目	計画6年目	計画7年目	計画8年目	計画9年目	計画10年目
R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
695,807	695,549	694,502	692,131	689,397	687,078	683,814
278,861	345,291	341,840	337,970	334,021	330,278	326,484
257,062	323,490	320,039	316,502	312,897	309,154	305,360
21,706	21,706	21,706	21,374	21,029	21,029	21,029
93	95	95	94	95	95	95
416,946	350,258	352,662	354,161	355,376	356,800	357,330
1	1	1	1	1	1	1
49,217	0	0	0	0	0	0
257,707	237,826	238,536	239,457	240,572	241,783	242,863
110,019	112,429	114,123	114,701	114,801	115,014	114,464
2	2	2	2	2	2	2
695,807	695,451	694,404	692,034	689,299	686,980	683,716
636,873	638,842	640,036	639,743	638,462	637,704	635,679
301,549	301,401	301,245	301,083	300,919	300,747	300,572
38,705	38,705	38,705	38,705	38,705	38,705	38,705
2,410	2,410	2,410	2,410	2,410	2,410	2,410
1,929	1,928	1,926	1,922	1,918	1,913	1,907
17,803	17,656	17,502	17,344	17,184	17,017	16,848
227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208
13,494	13,494	13,494	13,494	13,494	13,494	13,494
335,324	337,441	338,791	338,660	337,543	336,957	335,107
0	0	0	0	0	0	0
58,934	56,609	54,368	52,291	50,837	49,276	48,037
53,934	51,609	49,368	47,291	45,837	44,276	43,037
5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	98	98	97	98	98	98
297,329	298,984	243,984	243,586	242,089	216,685	227,283
155,100	156,700	123,400	120,800	113,000	117,800	119,400
35,816	42,063	33,898	41,498	53,983	58,783	78,033
6,405	9,780	20,122	26,491	37,799	19,240	20,026
99,798	90,231	66,354	54,587	37,097	20,652	9,614
210	210	210	210	210	210	210
522,390	525,288	471,372	472,025	472,037	447,766	459,817
144,188	156,683	140,352	155,552	180,522	190,122	228,622
104,188	116,683	100,352	115,552	140,522	150,122	188,622
16,289	41,179	10,000	10,000	10,000	10,000	45,000
75,753	63,358	78,206	93,406	118,376	127,976	131,476
12,146	12,146	12,146	12,146	12,146	12,146	12,146
40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
0	0	0	0	0	0	0
378,202	368,605	331,020	316,473	291,515	257,644	231,195
▲ 225,061	▲ 226,304	▲ 227,388	▲ 228,439	▲ 229,948	▲ 231,081	▲ 232,534
134,964	142,348	137,605	138,253	141,507	143,235	150,217
435,307	405,106	385,816	361,506	330,889	306,168	299,886
368,605	331,020	316,473	291,515	257,644	231,195	217,931
68,262	68,262	68,262	68,262	68,262	68,262	68,262
225,061	226,304	227,388	228,439	229,948	231,081	232,534
▲ 225,061	▲ 226,304	▲ 227,388	▲ 228,439	▲ 229,948	▲ 231,081	▲ 232,534
68,262	68,262	68,262	68,262	68,262	68,262	68,262
3,662,047	3,450,142	3,242,522	3,046,849	2,868,334	2,728,490	2,616,695
434,833	359,543	346,718	341,909	336,497	302,704	293,532
379,211	349,763	326,596	315,418	298,698	283,464	273,506
55,622	9,780	20,122	26,491	37,799	19,240	20,026

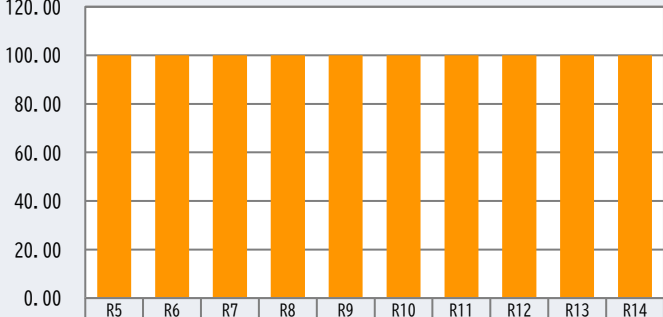
指標の名前	経常収支比率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$																							
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。																									
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっていることが必要です。数値が 100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組みが必要です。																									
本市の将来見通し	経常収支比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																
分析結果	経常収支比率については、計画期間中は100%継続できる見通しで、経営状態は安定しているといえます。																									

図 7-4-1. (公共下水道事業)経常収支比率(使用料改定)

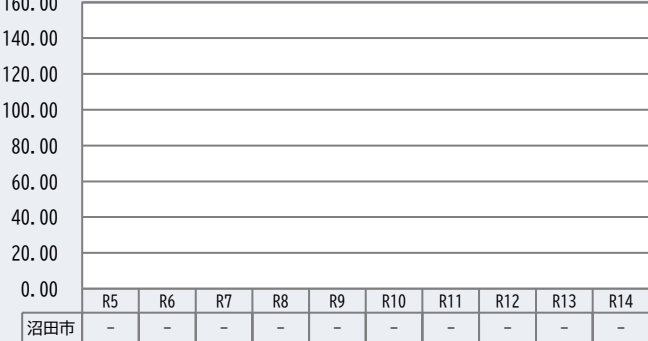
指標の名前	累積欠損金比率(%)																																
望ましい方向性					算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$																											
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。																																
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。																																
本市の将来見通し	累積欠損金比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr></tbody></table>												R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																							
沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																							
分析結果	累積欠損金比率については、経常収支比率100%達成により計画期間中0%継続の見通しです。																																

図 7-4-2. (公共下水道事業)累積欠損金比率(使用料改定)

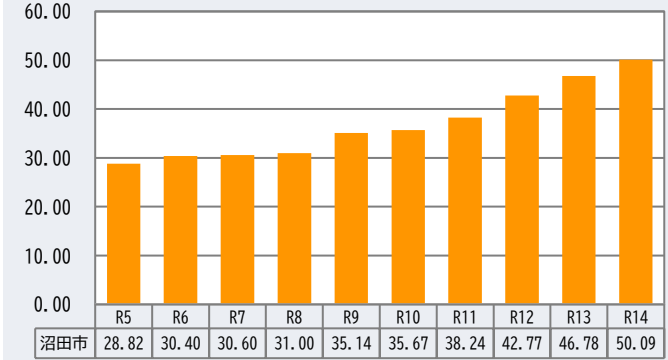
指標の名前	流動比率(%)																								
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																						
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																								
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るとことは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																								
本市の将来見通し	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>28.82</td><td>30.40</td><td>30.60</td><td>31.00</td><td>35.14</td><td>35.67</td><td>38.24</td><td>42.77</td><td>46.78</td><td>50.09</td></tr></tbody></table>				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	28.82	30.40	30.60	31.00	35.14	35.67	38.24	42.77	46.78	50.09
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14															
沼田市	28.82	30.40	30.60	31.00	35.14	35.67	38.24	42.77	46.78	50.09															
分析結果	企業債償還が徐々に落ちていくことから、資金的な余裕が生まれ、指標は向上する見通しです。ただし、施設の老朽化が予想を上回るペースで進行し、その更新のため現在の計画よりも多額の企業債発行を行った場合は指標向上は鈍化することとなりますので常に注視しつづける必要があります。																								

図 7-4-3. (公共下水道事業)流動比率(使用料改定)

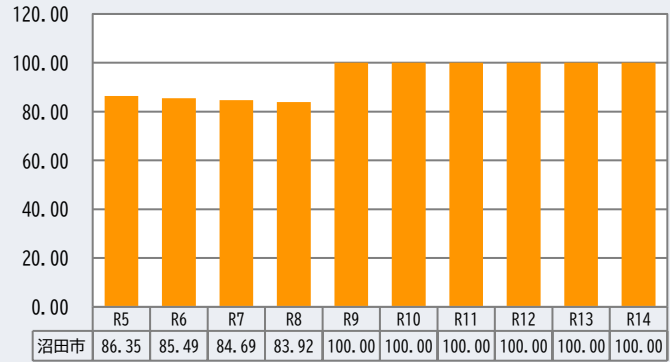
指標の名前	経費回収率(%)																										
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																								
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																										
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上であることが必要です。数値が100%を下回っている場合、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要です。																										
本市の将来見通し	経費回収率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>86.35</td><td>85.49</td><td>84.69</td><td>83.92</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>						R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	86.35	85.49	84.69	83.92	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																	
沼田市	86.35	85.49	84.69	83.92	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																	
分析結果	計画の中間地点である令和9年度に改定率27.1%の値上げを実施した場合、以降計画期間中の経費回収率100%を達成できます。また、使用料改定に伴う増収分は一般会計繰入金(他会計補助金)を減少させる効果があります。																										

図 7-4-4. (公共下水道事業)経費回収率(使用料改定)

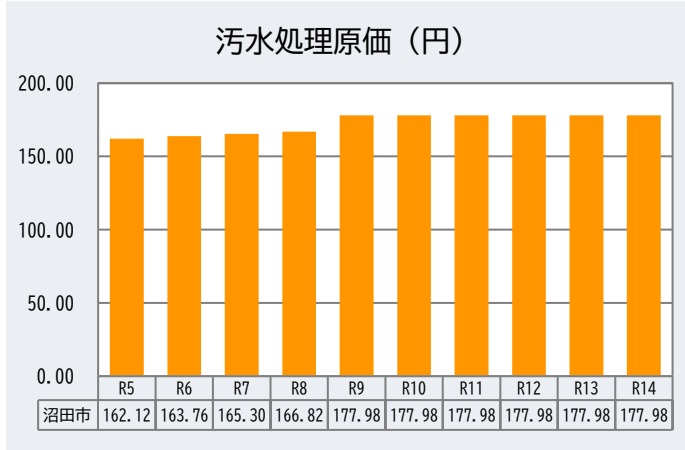
指標の名前	汚水処理原価(円)																															
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																													
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																															
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																															
本市の将来見通し	汚水処理原価（円） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>162.12</td><td>163.76</td><td>165.30</td><td>166.82</td><td>177.98</td><td>177.98</td><td>177.98</td><td>177.98</td><td>177.98</td><td>177.98</td></tr></tbody></table>											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	162.12	163.76	165.30	166.82	177.98	177.98	177.98	177.98	177.98	177.98
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
沼田市	162.12	163.76	165.30	166.82	177.98	177.98	177.98	177.98	177.98	177.98																						
分析結果	人口減少及び節水機器の普及等有収水量の減少予測に加え、引き続き物価上昇が継続するという予測により、汚水処理原価は増大し続ける見通しになっています。新たな経費削減方策を常に模索し続ける必要があります。																															

図 7-4-5. (公共下水道事業)汚水処理原価(使用料改定)

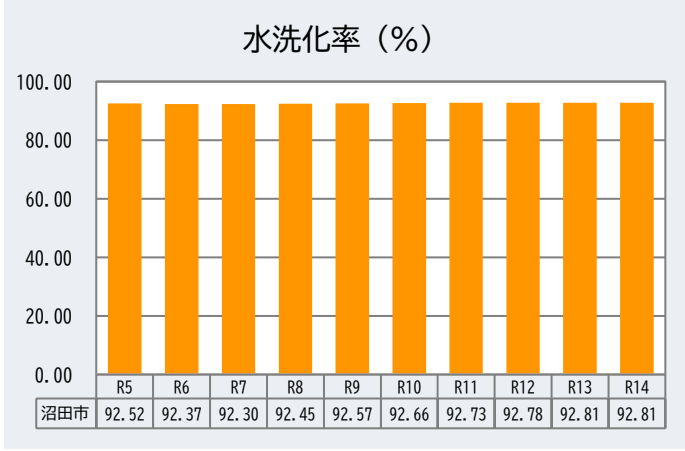
指標の名前	水洗化率(%)																															
望ましい方向性		算出式		$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																												
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。																															
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、汚水処理が適切に行われておらず水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上の取組みが必要です。																															
本市の将来見通し	水洗化率（％） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>92.52</td><td>92.37</td><td>92.30</td><td>92.45</td><td>92.57</td><td>92.66</td><td>92.73</td><td>92.78</td><td>92.81</td><td>92.81</td></tr></tbody></table>											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	92.52	92.37	92.30	92.45	92.57	92.66	92.73	92.78	92.81	92.81
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
沼田市	92.52	92.37	92.30	92.45	92.57	92.66	92.73	92.78	92.81	92.81																						
分析結果	下水道普及の継続と整備済区域からの新規接続を見込み、微増する見通しです。																															

図 7-4-6. (公共下水道事業)水洗化率(使用料改定)



7-4-2. 特定環境保全公共下水道事業

表7-4-2. (特定環境保全公共下水道事業)投資・財政計画(使用料改定)

(単位：千円)

科目	決算	決算	決算見込	計画1年目	計画2年目	計画3年目
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
下水道事業収益（消費税抜）	382,259	409,908	370,385	347,631	333,784	333,626
営業収益	75,750	78,574	72,699	77,188	76,347	75,478
下水道使用料	75,730	78,560	72,681	77,171	76,331	75,461
雨水処理負担金	0	0	0	0	0	0
その他営業収益	20	14	18	17	16	17
営業外収益	306,509	331,334	297,686	270,443	257,437	258,148
受取利息	0	0	0	0	0	0
他会計補助金	94,328	127,550	38,017	23,825	17,530	18,374
他会計負担金	130,352	122,224	181,192	168,444	162,404	159,483
長期前受金戻入	81,284	81,559	78,477	78,174	77,503	80,291
雑収益	545	1	0	0	0	0
下水道事業費用（消費税抜）	368,921	393,225	368,716	347,631	333,784	333,626
営業費用	312,557	341,160	321,457	306,046	296,733	300,082
性質別経費合計	90,413	118,737	108,523	95,013	87,877	87,852
職員給与費	8,928	9,307	8,834	4,142	4,142	4,142
修繕費	13,873	44,402	29,977	23,006	16,078	16,078
動力費	0	10,972	10,728	15,543	15,335	15,310
委託料	47,266	46,106	52,716	48,238	48,238	48,238
流域下水道費	0	0	0	0	0	0
その他経費	20,346	7,950	6,268	4,084	4,084	4,084
減価償却費	222,144	222,423	212,934	211,033	208,856	212,230
資産減耗費	0	0	0	0	0	0
営業外費用	55,578	52,065	47,259	41,585	37,051	33,544
支払利息	49,010	44,537	40,211	35,585	31,051	27,544
雑支出	6,568	7,528	7,048	6,000	6,000	6,000
特別損失	786	0	0	0	0	0
その他特別損失	786	0	0	0	0	0
当期純利益	13,338	16,683	1,669	0	0	0
資本的収入（消費税込）	124,456	89,721	128,349	136,694	225,669	219,321
企業債	50,000	50,000	60,000	60,000	105,000	105,000
国・県補助金	0	0	0	0	50,000	50,000
他会計出資金	54,927	20,644	51,107	59,235	52,918	46,610
工事負担金	15,847	16,075	14,217	14,434	14,726	14,686
受益者負担金・分担金	3,682	3,002	3,025	3,025	3,025	3,025
資本的支出（消費税込）	259,881	251,422	292,431	268,706	359,974	354,215
建設改良費	17,044	2,170	36,468	8,173	100,253	100,253
営業設備費	17,044	2,170	36,468	8,173	100,253	100,253
委託料	10,600	35	30,592	0	10,000	10,000
工事請負費	6,232	1,953	5,600	7,920	90,000	90,000
事務費	212	182	276	253	253	253
流域下水道負担金	0	0	0	0	0	0
固定資産購入費	0	0	0	0	0	0
企業債償還金	242,837	249,252	255,963	260,533	259,721	253,962
資本的収支差し引き	▲ 135,425	▲ 161,701	▲ 164,082	▲ 132,012	▲ 134,305	▲ 134,894
流動資産	64,845	71,628	18,267	11,772	27,800	27,797
流動負債	283,861	301,379	278,800	271,493	281,762	270,395
企業債	249,252	255,963	260,533	259,721	253,962	242,598
前年度末残高 (A)	10,460	30,236	26,212	0	0	0
当年度発生額 (B)	155,201	157,677	137,870	132,012	134,305	134,894
当年度補填使用額 (C)	▲ 135,425	▲ 161,701	▲ 164,082	▲ 132,012	▲ 134,305	▲ 134,894
当年度末残高 (A+B+C)	30,236	26,212	0	0	0	0
企業債未償還残高	2,752,681	2,553,430	2,357,467	2,156,934	2,002,213	1,853,251
一般会計繰入金内訳	295,454	286,493	284,533	265,938	247,578	239,153
基準内	146,199	138,299	195,409	182,878	177,130	174,169
基準外	149,255	148,194	89,124	83,060	70,448	64,984

(単位：千円)

計画4年目	計画5年目	計画6年目	計画7年目	計画8年目	計画9年目	計画10年目
R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
333,374	333,532	335,058	337,496	334,740	332,649	330,508
74,592	100,265	98,995	97,684	96,329	94,912	93,494
74,575	100,248	98,978	97,667	96,312	94,895	93,477
0	0	0	0	0	0	0
17	17	17	17	17	17	17
258,782	233,267	236,063	239,812	238,411	237,737	237,014
0	0	0	0	0	0	0
19,229	0	0	0	0	0	0
157,006	148,428	148,410	149,454	147,843	146,926	146,281
82,547	84,839	87,653	90,358	90,568	90,811	90,733
0	0	0	0	0	0	0
333,374	333,515	335,041	337,479	334,723	332,632	330,491
303,152	306,306	310,535	315,278	315,293	315,429	315,176
87,821	87,780	87,731	87,672	87,604	87,520	87,434
4,142	4,142	4,142	4,142	4,142	4,142	4,142
16,078	16,078	16,078	16,078	16,078	16,078	16,078
15,279	15,238	15,189	15,130	15,062	14,978	14,892
48,238	48,238	48,238	48,238	48,238	48,238	48,238
0	0	0	0	0	0	0
4,084	4,084	4,084	4,084	4,084	4,084	4,084
215,331	218,526	222,804	227,606	227,689	227,909	227,742
0	0	0	0	0	0	0
30,222	27,209	24,506	22,201	19,430	17,203	15,315
24,222	21,209	18,506	16,201	13,430	11,203	9,315
6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	17	17	17	17	17	17
206,972	192,624	172,451	65,445	18,621	9,231	8,725
95,000	85,000	55,000	7,200	2,700	2,700	2,700
50,000	50,000	55,000	8,000	3,000	3,000	3,000
45,793	42,693	52,473	40,961	7,469	0	0
13,154	11,906	6,953	6,259	2,427	506	0
3,025	3,025	3,025	3,025	3,025	3,025	3,025
342,851	329,536	311,732	202,613	155,556	134,576	106,546
100,253	100,253	110,253	16,253	6,253	6,253	6,253
100,253	100,253	110,253	16,253	6,253	6,253	6,253
10,000	10,000	20,000	10,000	0	0	0
90,000	90,000	90,000	6,000	6,000	6,000	6,000
253	253	253	253	253	253	253
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
242,598	229,283	201,479	186,360	149,303	128,323	100,293
▲ 135,879	▲ 136,912	▲ 139,281	▲ 137,168	▲ 136,935	▲ 125,345	▲ 97,821
27,794	27,790	29,604	14,046	12,198	23,624	62,658
257,077	229,269	215,964	163,349	140,521	112,176	95,952
229,283	201,479	186,360	149,303	128,323	100,293	84,257
0	0	0	0	0	0	11,741
135,879	136,912	139,281	137,168	136,935	137,086	137,043
▲ 135,879	▲ 136,912	▲ 139,281	▲ 137,168	▲ 136,935	▲ 125,345	▲ 97,821
0	0	0	0	0	11,741	50,963
1,705,653	1,561,370	1,414,891	1,235,731	1,089,128	963,505	865,912
235,182	203,027	207,836	196,674	157,739	147,432	146,281
170,160	160,334	155,363	155,713	150,270	147,432	146,281
65,022	42,693	52,473	40,961	7,469	0	0

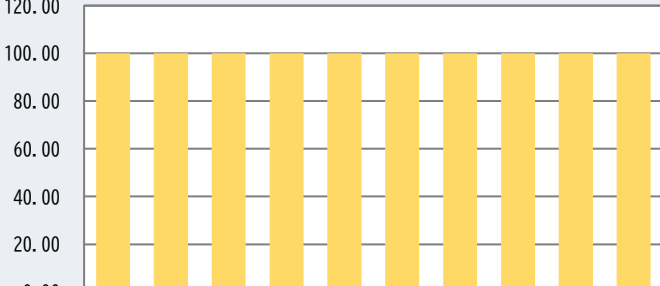
指標の名前	経常収支比率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$																							
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。																									
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっている必要があります。数値が 100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組みが必要です。																									
本市の将来見通し	経常収支比率（%） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																
分析結果	経常収支比率については、計画期間中は100%を継続できる見通しで、経営状態は安定しているといえます。																									

図 7-4-7. (特定環境保全公共下水道事業)経常収支比率(使用料改定)

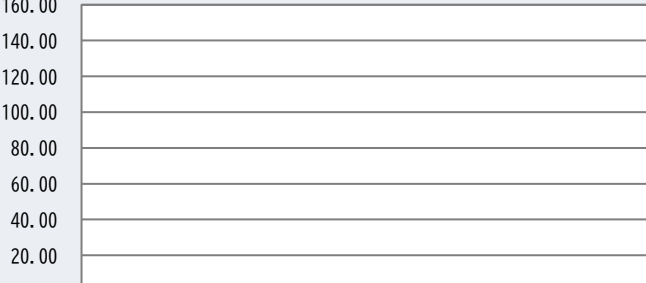
指標の名前	累積欠損金比率(%)																																
望ましい方向性					算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$																											
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。																																
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。																																
本市の将来見通し	累積欠損金比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr></tbody></table>												R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
	沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																						
分析結果	累積欠損金比率については、経常収支比率100%達成により計画期間中0%継続の見通しです。																																

図 7-4-8. (特定環境保全公共下水道事業)累積欠損金比率(使用料改定)

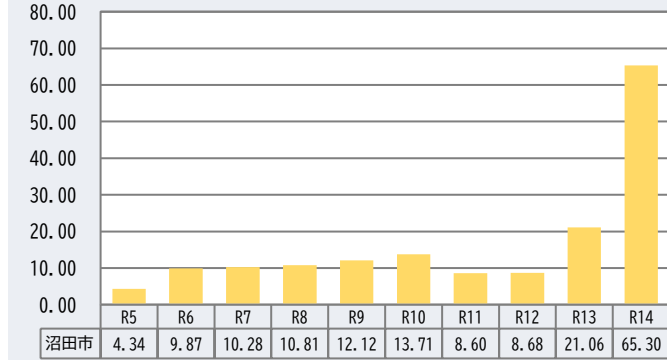
指標の名前	流動比率(%)																								
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																						
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																								
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																								
本市の将来見通し	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>4.34</td><td>9.87</td><td>10.28</td><td>10.81</td><td>12.12</td><td>13.71</td><td>8.60</td><td>8.68</td><td>21.06</td><td>65.30</td></tr></tbody></table>				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	4.34	9.87	10.28	10.81	12.12	13.71	8.60	8.68	21.06	65.30
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14															
沼田市	4.34	9.87	10.28	10.81	12.12	13.71	8.60	8.68	21.06	65.30															
分析結果	企業債償還が徐々に落ちていくことから、資金的な余裕が生まれ、指標は向上する見通しです。ただし、施設の老朽化が予想を上回るペースで進行し、その更新のため現在の計画よりも多額の企業債発行を行った場合は指標向上は鈍化することとなりますので常に注視しつづける必要があります。																								

図 7-4-9. (特定環境保全公共下水道事業)流動比率(使用料改定)

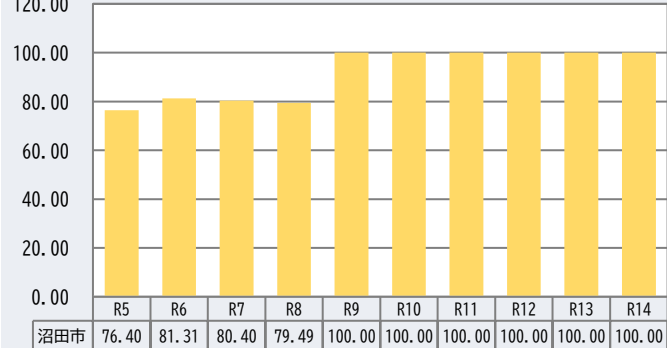
指標の名前	経費回収率(%)																															
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																													
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																															
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上である必要があります。数値が100%を下回っている場合、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要です。																															
本市の将来見通し	経費回収率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>76.40</td><td>81.31</td><td>80.40</td><td>79.49</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	76.40	81.31	80.40	79.49	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
沼田市	76.40	81.31	80.40	79.49	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																						
分析結果	計画の中間地点である令和9年度に改定率36.1%の値上げを実施した場合、以降計画期間中の経費回収率100%を達成できます。また、使用料改定に伴う増収分は一般会計繰入金(他会計補助金)を減少させる効果があります。																															

図 7-4-10. (特定環境保全公共下水道事業)経費回収率(使用料改定)

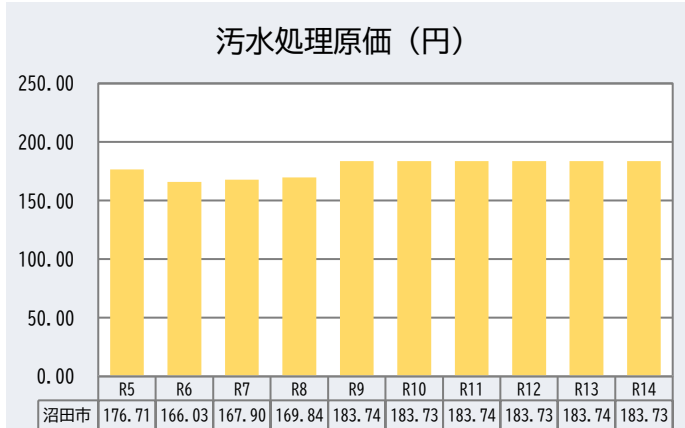
指標の名前	汚水処理原価(円)																															
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																													
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																															
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																															
本市の将来見通し	汚水処理原価 (円) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>176.71</td><td>166.03</td><td>167.90</td><td>169.84</td><td>183.74</td><td>183.73</td><td>183.74</td><td>183.73</td><td>183.74</td><td>183.73</td></tr></tbody></table>											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	176.71	166.03	167.90	169.84	183.74	183.73	183.74	183.73	183.74	183.73
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
沼田市	176.71	166.03	167.90	169.84	183.74	183.73	183.74	183.73	183.74	183.73																						
分析結果	人口減少及び節水機器の普及等有収水量の減少予測に加え、引き続き物価上昇が継続するという予測により、汚水処理原価は増大し続ける見通しになっています。新たな経費縮減方を常に模索し続ける必要があります。																															

図 7-4-11. (特定環境保全公共下水道事業)汚水処理原価(使用料改定)

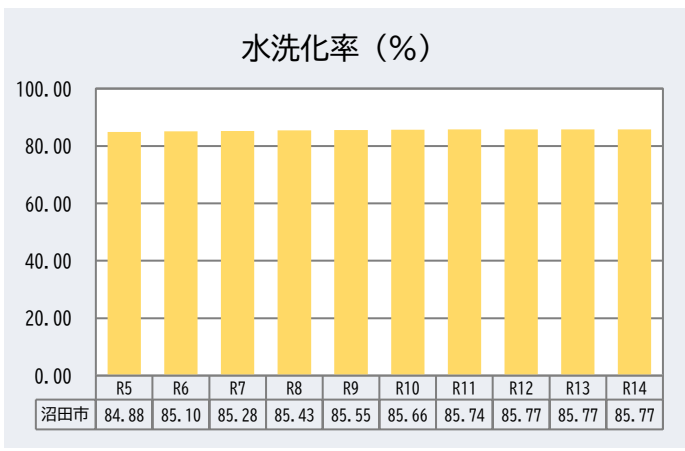
指標の名前	水洗化率(%)																															
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																													
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。																															
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、汚水処理が適切に行われておらず水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上の取組みが必要です。																															
本市の将来見通し	水洗化率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>84.88</td><td>85.10</td><td>85.28</td><td>85.43</td><td>85.55</td><td>85.66</td><td>85.74</td><td>85.77</td><td>85.77</td><td>85.77</td></tr></tbody></table>											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	84.88	85.10	85.28	85.43	85.55	85.66	85.74	85.77	85.77	85.77
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
沼田市	84.88	85.10	85.28	85.43	85.55	85.66	85.74	85.77	85.77	85.77																						
分析結果	下水道普及は完了していますが、若干の整備済区域からの新規接続を見込み、微増する見通しです。																															

図 7-4-12. (特定環境保全公共下水道事業)水洗化率(使用料改定)



7-4-3. 農業集落排水事業

表7-4-3. (農業集落排水事業)投資・財政計画(使用料改定)

(単位：千円)

科目	決算	決算	決算見込	計画1年目	計画2年目	計画3年目
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
下水道事業収益(消費税法)	176,022	149,899	147,452	139,365	137,441	135,911
営業収益	26,255	26,818	25,165	26,149	25,800	25,450
下水道使用料	26,244	26,814	25,159	26,145	25,795	25,445
雨水処理負担金	0	0	0	0	0	0
その他営業収益	11	4	6	4	5	5
営業外収益	149,767	123,081	122,287	113,216	111,641	110,461
受取利息	0	0	0	0	0	0
他会計補助金	7,124	29,738	20,550	13,363	13,657	13,948
他会計負担金	100,974	51,064	60,593	58,775	56,906	55,435
長期前受金戻入	41,429	41,440	41,144	41,078	41,078	41,078
雑収益	240	839	0	0	0	0
下水道事業費用(消費税法)	141,535	142,665	146,731	139,365	137,441	135,911
営業費用	120,689	124,030	130,235	125,337	125,282	125,273
性質別経費合計	32,301	35,632	42,318	37,512	37,457	37,398
職員給与費	0	0	0	0	0	0
修繕費	3,315	7,360	10,053	2,500	2,503	2,506
動力費	7,288	7,596	7,329	10,646	10,609	10,568
委託料	17,920	17,722	22,573	21,988	21,967	21,946
流域下水道費	0	0	0	0	0	0
その他経費	3,778	2,954	2,363	2,378	2,378	2,378
減価償却費	88,388	88,398	87,917	87,825	87,825	87,875
資産減耗費	0	0	0	0	0	0
営業外費用	20,846	18,635	16,496	14,028	12,159	10,638
支払利息	18,409	16,243	14,081	12,028	10,159	8,638
雑支出	2,437	2,392	2,415	2,000	2,000	2,000
特別損失	0	0	0	0	0	0
その他特別損失	0	0	0	0	0	0
当期純利益	34,487	7,234	721	0	0	0
資本的収入(消費税法)	18,375	33,428	34,448	43,743	38,197	31,830
企業債	0	0	0	20,000	22,970	12,970
国・県補助金	0	0	0	0	0	0
他会計出資金	3,560	18,830	19,841	9,649	902	4,299
工事負担金	14,370	14,378	14,387	14,094	14,325	14,561
受益者負担金・分担金	445	220	220	0	0	0
資本的支出(消費税法)	91,601	92,361	92,662	89,211	83,917	77,578
建設改良費	629	391	1,543	49	3,049	3,049
営業設備費	629	391	1,543	49	3,049	3,049
委託料	0	0	0	0	0	0
工事請負費	572	363	1,500	0	3,000	3,000
事務費	57	28	43	49	49	49
流域下水道負担金	0	0	0	0	0	0
固定資産購入費	0	0	0	0	0	0
企業債償還金	90,972	91,970	91,119	89,162	80,868	74,529
資本的収支差し引き	▲ 73,226	▲ 58,933	▲ 58,214	▲ 45,468	▲ 45,720	▲ 45,748
流動資産	25,435	18,174	4,513	3,931	4,301	4,295
流動負債	100,774	97,381	93,675	84,799	78,830	73,226
企業債	91,970	91,119	89,162	80,868	74,529	68,931
内部留保	8,380	16,631	11,912	0	0	0
前年度末残高(A)	8,380	16,631	11,912	0	0	0
当年度発生額(B)	81,477	54,214	46,302	45,468	45,720	45,748
当年度補填使用額(C)	▲ 73,226	▲ 58,933	▲ 58,214	▲ 45,468	▲ 45,720	▲ 45,748
当年度末残高(A+B+C)	16,631	11,912	0	0	0	0
企業債未償還残高	835,838	743,869	652,750	583,588	525,690	464,131
一般会計繰入金内訳	126,028	114,010	115,371	95,881	85,790	88,243
基準内	115,344	65,442	74,980	72,869	71,231	69,996
基準外	10,684	48,568	40,391	23,012	14,559	18,247

(単位：千円)

計画4年目	計画5年目	計画6年目	計画7年目	計画8年目	計画9年目	計画10年目
R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
134,579	134,190	133,165	132,312	130,430	128,123	126,935
25,100	41,873	41,281	40,689	40,097	39,504	38,912
25,095	41,868	41,276	40,684	40,092	39,499	38,907
0	0	0	0	0	0	0
5	5	5	5	5	5	5
109,479	92,317	91,884	91,623	90,333	88,619	88,023
0	0	0	0	0	0	0
14,238	0	0	0	0	0	0
54,163	50,751	50,318	50,057	49,445	48,667	48,305
41,078	41,566	41,566	41,566	40,888	39,952	39,718
0	0	0	0	0	0	0
134,579	134,185	133,160	132,307	130,425	128,118	126,935
125,263	125,740	125,723	125,703	124,559	122,898	122,243
37,338	37,274	37,207	37,137	37,065	36,990	36,912
0	0	0	0	0	0	0
2,509	2,512	2,515	2,518	2,521	2,524	2,527
10,525	10,479	10,430	10,378	10,324	10,266	10,206
21,926	21,905	21,884	21,863	21,842	21,822	21,801
0	0	0	0	0	0	0
2,378	2,378	2,378	2,378	2,378	2,378	2,378
87,925	88,466	88,516	88,566	87,494	85,908	85,331
0	0	0	0	0	0	0
9,316	8,445	7,437	6,604	5,866	5,220	4,692
7,316	6,445	5,437	4,604	3,866	3,220	2,692
2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	5	5	5	5	5	0
54,840	20,703	17,463	16,422	14,502	10,304	6,197
17,670	2,970	2,970	2,970	2,970	2,970	2,970
15,000	0	0	0	0	0	0
7,370	3,120	0	0	0	0	0
14,800	14,613	14,493	13,452	11,532	7,334	3,227
0	0	0	0	0	0	0
101,980	66,555	55,340	50,094	44,558	34,788	29,159
33,049	3,049	3,049	3,049	3,049	3,049	3,049
33,049	3,049	3,049	3,049	3,049	3,049	3,049
30,000	0	0	0	0	0	0
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
49	49	49	49	49	49	49
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
68,931	63,506	52,291	47,045	41,509	31,739	26,110
▲ 47,140	▲ 45,852	▲ 37,877	▲ 33,672	▲ 30,056	▲ 24,484	▲ 22,962
9,743	5,823	13,790	26,020	41,568	62,213	84,412
73,249	58,114	52,800	47,109	37,105	31,036	25,626
63,506	52,291	47,045	41,509	31,739	26,110	21,134
0	0	0	8,035	20,420	36,202	57,287
47,140	45,852	45,912	46,057	45,838	45,569	45,595
▲ 47,140	▲ 45,852	▲ 37,877	▲ 33,672	▲ 30,056	▲ 24,484	▲ 22,962
0	0	8,035	20,420	36,202	57,287	79,920
412,870	352,334	303,013	258,938	220,399	191,630	168,490
90,571	68,484	64,811	63,509	60,977	56,001	51,532
68,963	65,364	64,811	63,509	60,977	56,001	51,532
21,608	3,120	0	0	0	0	0

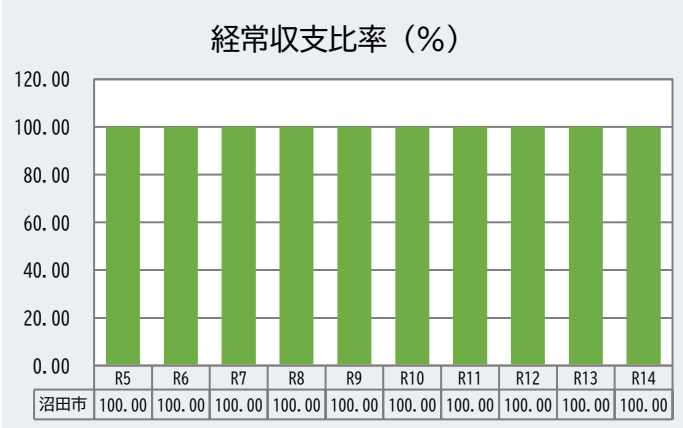
指標の名前	経常収支比率(%)		
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。		
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっている必要があります。数値が100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取り組みが必要です。		
本市の将来見通し			
分析結果	経常収支比率については、計画期間中は100%を継続できる見通しで、経営状態は安定しているといえます。		

図 7-4-13. (農業集落排水事業)経常収支比率(使用料改定)

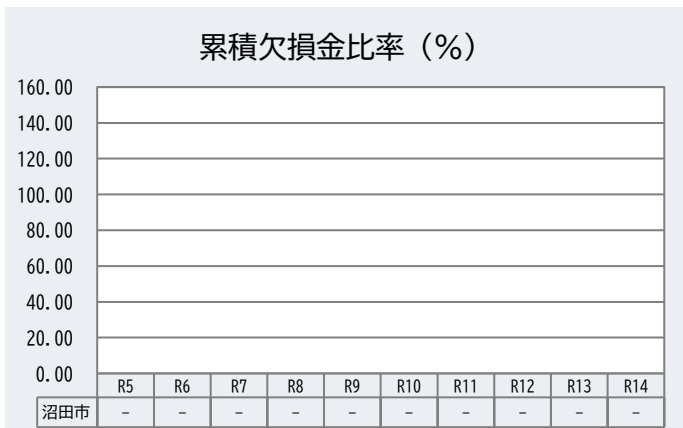
指標の名前	累積欠損金比率(%)		
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等で補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。		
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。		
本市の将来見通し			
分析結果	累積欠損金比率については、経常収支比率100%達成により計画期間中0%継続の見通しです。		

図 7-4-14. (農業集落排水事業)累積欠損金比率(使用料改定)

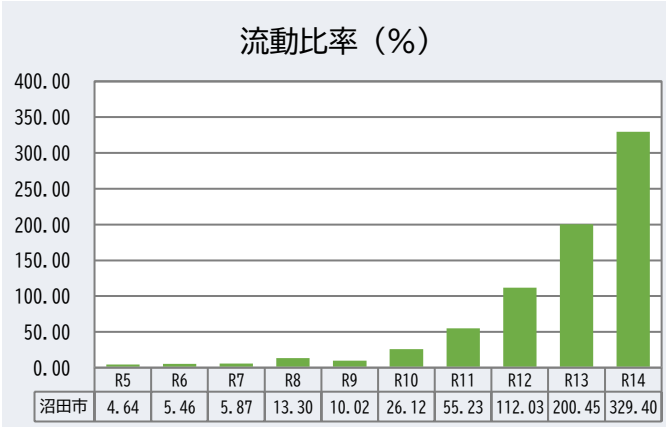
指標の名前	流動比率(%)																								
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																						
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																								
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																								
本市の将来見通し	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>4.64</td><td>5.46</td><td>5.87</td><td>13.30</td><td>10.02</td><td>26.12</td><td>55.23</td><td>112.03</td><td>200.45</td><td>329.40</td></tr></tbody></table>				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	4.64	5.46	5.87	13.30	10.02	26.12	55.23	112.03	200.45	329.40
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14															
沼田市	4.64	5.46	5.87	13.30	10.02	26.12	55.23	112.03	200.45	329.40															
分析結果	企業債償還が徐々に落ち着いていくことから、資金的な余裕が生まれ、指標は向上する見通しです。ただし、施設の老朽化が予想を上回るペースで進行し、その更新のため現在の計画よりも多額の企業債発行を行った場合は指標向上は鈍化することとなりますので常に注視しつづける必要があります。																								

図 7-4-15. (農業集落排水事業)流動比率(使用料改定)

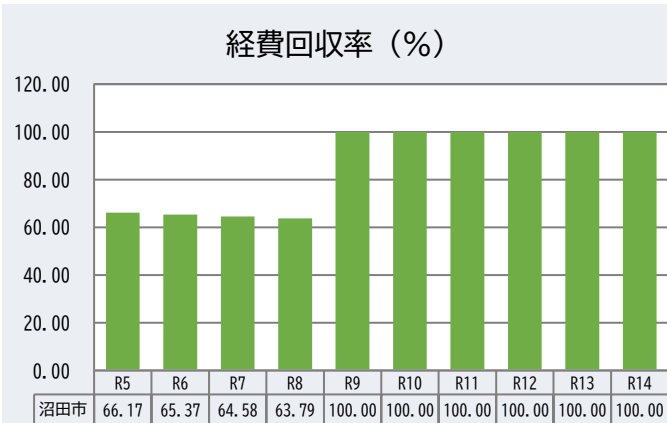
指標の名前	経費回収率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{污水处理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																							
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																									
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上である必要があります。数値が100%を下回っている場合、污水处理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び污水处理費の削減が必要です。																									
本市の将来見通し	経費回収率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>66.17</td><td>65.37</td><td>64.58</td><td>63.79</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	66.17	65.37	64.58	63.79	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	66.17	65.37	64.58	63.79	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																
分析結果	計画の中間地点である令和9年度に改定率69.2%の値上げを実施した場合、以降計画期間中の経費回収率100%を達成できます。また、使用料改定に伴う増収分は一般会計繰入金(他会計補助金)を減少させる効果があります。																									

図 7-4-16. (農業集落排水事業)経費回収率(使用料改定)

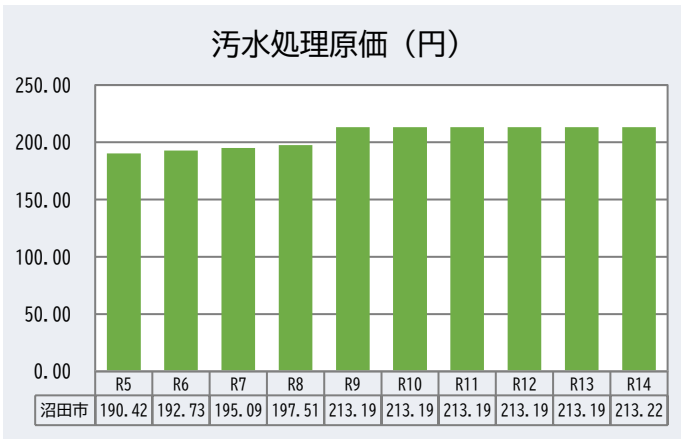
指標の名前	汚水処理原価(円)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																							
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																									
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																									
本市の将来見通し	汚水処理原価（円） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>190.42</td><td>192.73</td><td>195.09</td><td>197.51</td><td>213.19</td><td>213.19</td><td>213.19</td><td>213.19</td><td>213.19</td><td>213.22</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	190.42	192.73	195.09	197.51	213.19	213.19	213.19	213.19	213.19	213.22
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	190.42	192.73	195.09	197.51	213.19	213.19	213.19	213.19	213.19	213.22																
分析結果	人口減少及び節水機器の普及等有収水量の減少予測に加え、引き続き物価上昇が継続するという予測により、汚水処理原価は増大し続ける見通しになっています。新たな経費削減方策を常に模索し続ける必要があります。																									

図 7-4-17. (農業集落排水事業)汚水処理原価(使用料改定)

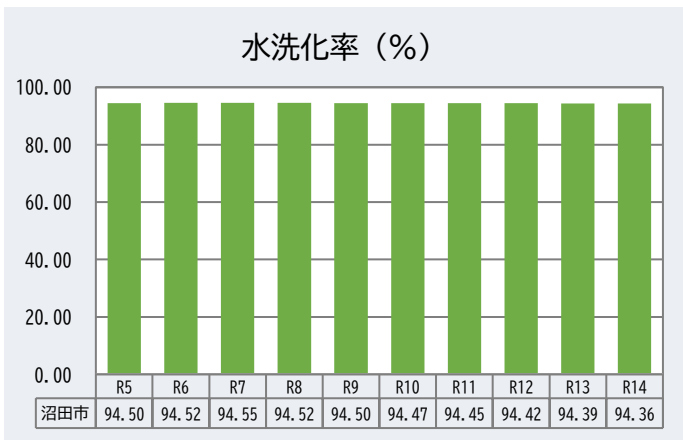
指標の名前	水洗化率(%)																										
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																								
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。																										
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、汚水処理が適切に行われておらず水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上の取組みが必要です。																										
本市の将来見通し	水洗化率（%） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>94.50</td><td>94.52</td><td>94.55</td><td>94.52</td><td>94.50</td><td>94.47</td><td>94.45</td><td>94.42</td><td>94.39</td><td>94.36</td></tr></tbody></table>						R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	94.50	94.52	94.55	94.52	94.50	94.47	94.45	94.42	94.39	94.36
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																	
沼田市	94.50	94.52	94.55	94.52	94.50	94.47	94.45	94.42	94.39	94.36																	
分析結果	整備完了しており、今後は新規接続も期待できないことから横這いで推移する見通しとなっています。																										

図 7-4-18. (農業集落排水事業)水洗化率(使用料改定)



7-4-4. 総合計(3事業合算)

表7-4-4. (総合計)投資・財政計画(使用料改定)

(単位：千円)

科目	決算	決算	決算見込	計画1年目	計画2年目	計画3年目
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
下水道事業収益(消費税抜)	1,341,329	1,318,193	1,246,659	1,189,308	1,168,675	1,165,766
営業収益	399,169	397,542	383,899	390,025	386,062	382,277
下水道使用料	377,262	375,721	362,065	368,211	364,239	360,453
雨水処理負担金	21,706	21,706	21,706	21,706	21,706	21,706
その他営業収益	201	115	128	108	117	118
営業外収益	942,160	920,651	862,760	799,283	782,613	783,489
受取利息	1	1	1	1	1	1
他会計補助金	322,537	317,151	138,101	77,700	75,636	79,192
他会計負担金	388,889	371,880	498,599	496,262	482,642	475,232
長期前受金戻入	229,925	230,752	226,057	225,318	224,332	229,062
雑収益	808	867	2	2	2	2
下水道事業費用(消費税抜)	1,280,892	1,268,237	1,253,377	1,189,308	1,168,675	1,165,766
営業費用	1,076,310	1,092,349	1,091,825	1,064,552	1,054,010	1,059,645
性質別経費合計	431,826	445,459	459,344	434,519	427,169	426,940
職員給与費	50,360	38,133	33,390	42,847	42,847	42,847
修繕費	21,875	55,858	43,632	27,916	20,991	20,994
動力費	9,214	20,543	20,054	28,119	27,872	27,807
委託料	89,527	87,494	98,004	88,473	88,295	88,128
流域下水道費	214,756	213,543	219,128	227,208	227,208	227,208
その他経費	46,094	29,888	45,136	19,956	19,956	19,956
減価償却費	644,484	646,890	632,481	630,033	626,841	632,705
資産減耗費	0	0	0	0	0	0
営業外費用	191,246	175,888	161,552	124,756	114,665	106,121
支払利息	155,533	140,292	125,897	111,756	101,665	93,121
雑支出	35,713	35,596	35,655	13,000	13,000	13,000
特別損失	13,336	0	0	0	0	0
その他特別損失	13,336	0	0	0	0	0
当期純利益	60,437	49,956	▲ 6,718	0	0	0
資本的収入(消費税込)	425,772	454,103	517,455	540,319	627,424	566,705
企業債	207,600	231,600	276,400	275,388	319,170	281,970
国・県補助金	25,300	37,800	35,000	43,266	112,109	97,625
他会計出資金	58,487	48,474	70,948	86,852	58,586	53,073
工事負担金	125,442	128,448	128,295	131,032	134,124	130,807
受益者負担金・分担金	8,943	7,781	6,812	3,781	3,435	3,230
資本的支出(消費税込)	898,650	916,382	948,136	944,019	1,031,820	971,069
建設改良費	145,235	148,782	167,623	170,208	281,525	250,699
営業設備費	131,565	120,785	119,105	121,420	240,225	210,699
委託料	27,620	38,180	46,233	5,660	24,770	27,693
工事請負費	84,442	79,303	69,355	103,312	203,007	170,558
事務費	19,503	3,302	3,517	12,448	12,448	12,448
流域下水道負担金	13,670	27,997	48,518	48,788	40,000	40,000
固定資産購入費	0	0	0	0	1,300	0
企業償還金	753,415	767,600	780,513	773,811	750,295	720,370
資本的収支差し引き	▲ 472,878	▲ 462,279	▲ 430,681	▲ 403,700	▲ 404,396	▲ 404,364
流動資産	172,482	245,086	156,338	153,948	173,459	168,736
流動負債	855,152	925,219	861,177	835,981	825,567	790,205
企業債	767,600	780,513	773,811	750,295	720,370	689,731
内部留保	73,005	84,930	100,380	68,972	68,262	68,262
前年度末残高(A)	484,803	477,729	399,273	402,990	404,396	404,364
当年度発生額(B)	▲ 472,878	▲ 462,279	▲ 430,681	▲ 403,700	▲ 404,396	▲ 404,364
当年度補填使用額(C)	84,930	100,380	68,972	68,262	68,262	68,262
当年度末残高(A+B+C)	8,610,589	8,074,592	7,570,479	7,072,056	6,640,931	6,202,531
企業債未償還残高	917,061	887,659	857,649	813,552	772,694	760,010
一般会計繰入金内訳	536,037	522,034	648,600	649,000	638,472	627,745
基準内	381,024	365,625	209,049	164,552	134,222	132,265
基準外						

(単位：千円)

計画4年目	計画5年目	計画6年目	計画7年目	計画8年目	計画9年目	計画10年目
R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
1,163,760	1,163,271	1,162,725	1,161,939	1,154,567	1,147,850	1,141,257
378,553	487,429	482,116	476,343	470,447	464,694	458,890
356,732	465,606	460,293	454,853	449,301	443,548	437,744
21,706	21,706	21,706	21,374	21,029	21,029	21,029
115	117	117	116	117	117	117
785,207	675,842	680,609	685,596	684,120	683,156	682,367
1	1	1	1	1	1	1
82,684	0	0	0	0	0	0
468,876	437,005	437,264	438,968	437,860	437,376	437,449
233,644	238,834	243,342	246,625	246,257	245,777	244,915
2	2	2	2	2	2	2
1,163,760	1,163,151	1,162,605	1,161,820	1,154,447	1,147,730	1,141,142
1,065,288	1,070,888	1,076,294	1,080,724	1,078,314	1,076,031	1,073,098
426,708	426,455	426,183	425,892	425,588	425,257	424,918
42,847	42,847	42,847	42,847	42,847	42,847	42,847
20,997	21,000	21,003	21,006	21,009	21,012	21,015
27,733	27,645	27,545	27,430	27,304	27,157	27,005
87,967	87,799	87,624	87,445	87,264	87,077	86,887
227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208	227,208
19,956	19,956	19,956	19,956	19,956	19,956	19,956
638,580	644,433	650,111	654,832	652,726	650,774	648,180
0	0	0	0	0	0	0
98,472	92,263	86,311	81,096	76,133	71,699	68,044
85,472	79,263	73,311	68,096	63,133	58,699	55,044
13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	120	120	119	120	120	115
559,141	512,311	433,898	325,453	275,212	236,220	242,205
267,770	244,670	181,370	130,970	118,670	123,470	125,070
100,816	92,063	88,898	49,498	56,983	61,783	81,033
59,568	55,593	72,595	67,452	45,268	19,240	20,026
127,752	116,750	87,800	74,298	51,056	28,492	12,841
3,235	3,235	3,235	3,235	3,235	3,235	3,235
967,221	921,379	838,444	724,732	672,151	617,130	595,522
277,490	259,985	253,654	174,854	189,824	199,424	237,924
237,490	219,985	213,654	134,854	149,824	159,424	197,924
56,289	51,179	30,000	20,000	10,000	10,000	45,000
168,753	156,358	171,206	102,406	127,376	136,976	140,476
12,448	12,448	12,448	12,448	12,448	12,448	12,448
40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
0	0	0	0	0	0	0
689,731	661,394	584,790	549,878	482,327	417,706	357,598
▲ 408,080	▲ 409,068	▲ 404,546	▲ 399,279	▲ 396,939	▲ 380,910	▲ 353,317
172,501	175,961	180,999	178,319	195,273	229,072	297,287
765,633	692,489	654,580	571,964	508,515	449,380	421,464
661,394	584,790	549,878	482,327	417,706	357,598	323,322
68,262	68,262	68,262	76,297	88,682	104,464	137,290
408,080	409,068	412,581	411,664	412,721	413,736	415,172
▲ 408,080	▲ 409,068	▲ 404,546	▲ 399,279	▲ 396,939	▲ 380,910	▲ 353,317
68,262	68,262	76,297	88,682	104,464	137,290	199,145
5,780,570	5,363,846	4,960,426	4,541,518	4,177,861	3,883,625	3,651,097
760,586	631,054	619,365	602,092	555,213	506,137	491,345
618,334	575,461	546,770	534,640	509,945	486,897	471,319
142,252	55,593	72,595	67,452	45,268	19,240	20,026

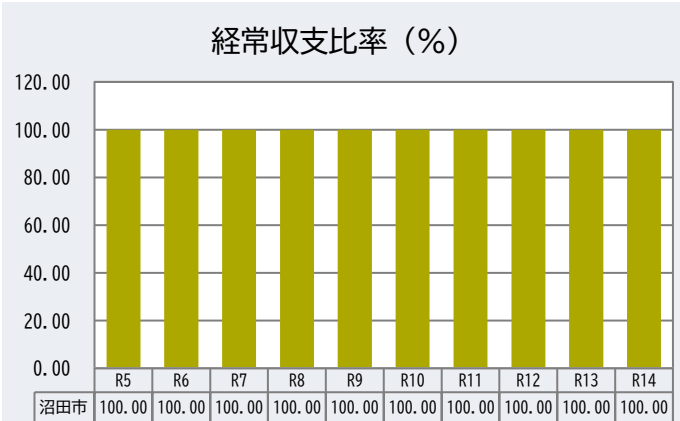
指標の名前	経常収支比率(%)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$																							
指標の意味	経常収支比率は、当該年度において、使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。																									
分析の考え方	単年度の収支が黒字であることを示す 100%以上となっている必要があります。数値が 100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組みが必要です。																									
本市の将来見通し	経常収支比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																
分析結果	経常収支比率については、計画期間中は100%を継続できる見通しで、経営状態は安定しているといえます。																									

図 7-4-19. (総合計)経常収支比率(使用料改定)

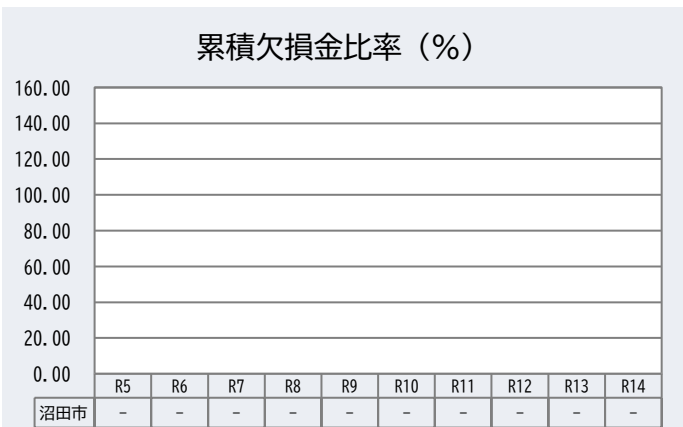
指標の名前	累積欠損金比率(%)																																
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$																														
指標の意味	営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した欠損金のこと)の状況を表す指標です。																																
分析の考え方	累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められます。累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があるといえます。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要があります。																																
本市の将来見通し	累積欠損金比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr></tbody></table>												R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																							
沼田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																							
分析結果	累積欠損金比率については、経常収支比率100%達成により計画期間中0%継続の見通しです。																																

図 7-4-20. (総合計)累積欠損金比率(使用料改定)

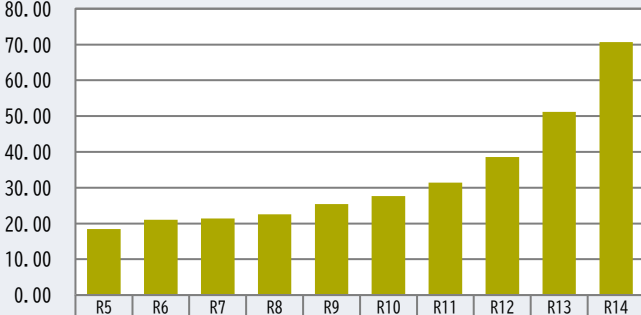
指標の名前	流動比率(%)																								
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$																						
指標の意味	短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。																								
分析の考え方	1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要です。100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。																								
本市の将来見通し	流動比率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>18.42</td><td>21.01</td><td>21.35</td><td>22.53</td><td>25.44</td><td>27.65</td><td>31.39</td><td>38.61</td><td>51.16</td><td>70.65</td></tr></tbody></table>				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	18.42	21.01	21.35	22.53	25.44	27.65	31.39	38.61	51.16	70.65
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14															
沼田市	18.42	21.01	21.35	22.53	25.44	27.65	31.39	38.61	51.16	70.65															
分析結果	企業債償還が徐々に落ちていくことから、資金的な余裕が生まれ、指標は向上する見通しです。ただし、施設の老朽化が予想を上回るペースで進行し、その更新のため現在の計画よりも多額の企業債発行を行った場合は指標向上は鈍化することとなりますので常に注視しつつける必要があります。																								

図 7-4-21. (総合計)流動比率(使用料改定)

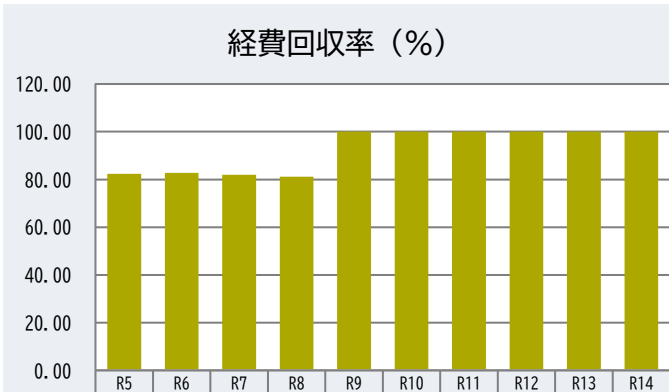
指標の名前	経費回収率(%)																										
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{污水处理費(公費負担分を除く)}} \times 100$																								
指標の意味	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標で、使用料水準等を評価することが可能となります。																										
分析の考え方	使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄えている状況を示す100%以上であることが必要です。数値が100%を下回っている場合、污水处理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び污水处理費の削減が必要です。																										
本市の将来見通し	経費回収率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>82.32</td><td>82.79</td><td>81.98</td><td>81.17</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td><td>100.00</td></tr></tbody></table>						R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	82.32	82.79	81.98	81.17	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																	
沼田市	82.32	82.79	81.98	81.17	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00																	
分析結果	計画の中間地点である令和9年度に改定率32.0%(3事業共通)の値上げを実施した場合、以降計画期間中の経費回収率100%を達成できます。また、使用料改定に伴う増収分は一般会計繰入金(他会計補助金)を減少させる効果があります。																										

図 7-4-22. (総合計)経費回収率(使用料改定)

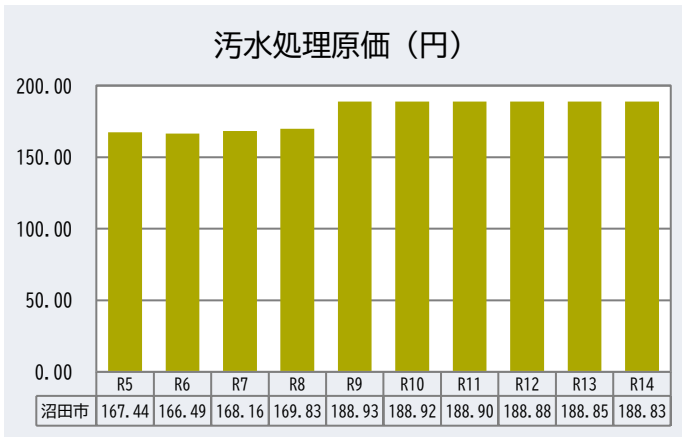
指標の名前	汚水処理原価(円)																									
望ましい方向性		算出式	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$																							
指標の意味	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。																									
分析の考え方	この指標については、明確な数値基準はありません。したがって、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、効率的な汚水処理が実施されているか分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められます。																									
本市の将来見通し	汚水処理原価（円） <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>167.44</td><td>166.49</td><td>168.16</td><td>169.83</td><td>188.93</td><td>188.92</td><td>188.90</td><td>188.88</td><td>188.85</td><td>188.83</td></tr></tbody></table>					R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	167.44	166.49	168.16	169.83	188.93	188.92	188.90	188.88	188.85	188.83
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																
沼田市	167.44	166.49	168.16	169.83	188.93	188.92	188.90	188.88	188.85	188.83																
分析結果	人口減少及び節水機器の普及等有収水量の減少予測に加え、引き続き物価上昇が継続するという予測により、汚水処理原価は増大し続ける見通しになっています。新たな経費縮減方策を常に模索し続ける必要があります。																									

図 7-4-23. (総合計)汚水処理原価(使用料改定)

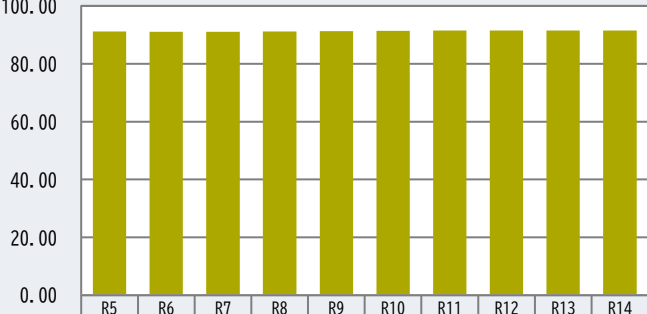
指標の名前	水洗化率(%)																															
望ましい方向性		算出式		$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$																												
指標の意味	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。																															
分析の考え方	この指標については、公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%が望ましい数値です。一般的に数値が100%未満である場合には、汚水処理が適切に行われておらず水質保全の観点から問題が生じる可能性があることや、使用料収入の確保を図るため、水洗化率向上の取組みが必要です。																															
本市の将来見通し	水洗化率 (%) <table><thead><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th><th>R14</th></tr></thead><tbody><tr><td>沼田市</td><td>91.13</td><td>91.07</td><td>91.05</td><td>91.20</td><td>91.31</td><td>91.40</td><td>91.46</td><td>91.51</td><td>91.53</td><td>91.53</td></tr></tbody></table>											R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	沼田市	91.13	91.07	91.05	91.20	91.31	91.40	91.46	91.51	91.53	91.53
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14																						
沼田市	91.13	91.07	91.05	91.20	91.31	91.40	91.46	91.51	91.53	91.53																						
分析結果	下水道普及の継続と整備済区域からの新規接続を見込み、微増する見通しです。																															

図 7-2-24. (総合計)水洗化率(使用料改定)

7-4-5. 経費回収率 100%に必要な使用料改定率のまとめ

仮に計画期間折り返し地点である令和 9 年度に使用料改定を実施した場合に、計画最終年度（令和 14 年度）までの期間内で経費回収率 100%を達成できる使用料改定率を表 7-4-5 に示します。

表7-4-5. 経費回収率 100%に必要な使用料改定率

使用料改定のあり方	事業	R9年度改定率（%）
事業ごとに個別に改定率を設定する場合	公共下水道事業	27.1%
	特定環境保全公共下水道事業	36.1%
	農業集落排水事業	69.2%
3事業統一の改定率を設定する場合	全体平均	32.0%

また、使用料改定による、各業務指標の目標値を表7-4-6に示します。

表7-4-6. 業務指標目標値

関連指標	指標名	単位	区分	R3 現状値	R9 目標値	R14 目標値	達成 基準
	経常収支比率	%	公 共	103.6	100.0	100.0	100%以上
			特 環	104.2	100.0	100.0	
			農集排	105.1	100.0	100.0	
			3事業計	103.9	100.0	100.0	
	累積欠損金比率	%	公 共	—	—	—	
			特 環	—	—	—	
			農集排	—	—	—	
			3事業計	—	—	—	
	流動比率	%	公 共	29.50	35.14	50.09	
			特 環	23.80	12.12	65.30	
			農集排	18.70	10.02	329.40	
			3事業計	26.50	25.44	70.65	
	経費回収率	%	公 共	85.3	100.0	100.0	100%以上
			特 環	62.2	100.0	100.0	
			農集排	70.5	100.0	100.0	
			3事業計	78.1	100.0	100.0	

※達成基準は、数値を上げていくことが目標の場合は「」、数値を下げていくことが目標の場合は「」を掲載しています。

第8章 経営戦略の事後検証等

8-1. 経営戦略の見直しの方針

経営戦略に基づく事業の進捗管理（モニタリング）を毎年度行うとともに、“PDCAサイクル”を働かせることで軌道修正を図り、概ね5年ごとに経営戦略の見直し（ローリング）を行います。あわせて市HPに掲載して住民への情報公開も行っています。

Plan（計画）

従来の実績や将来の予測などをもとにして計画を作成



Do（実行）

計画に沿って事業を実行

Act（改善）

実施が計画に沿っていない部分を調べて改善

Check（評価）

事業の実施が計画に沿っているかどうかを評価

図 8-1-1. 経営戦略のPDCAサイクル

PDCAサイクル

『Plan（計画）』、『Do（実行）』、『Check（評価）』、『Act（改善）』の仮説・検証型プロセスを循環させ、業務効率を高める改善手法です。

上記4段階を順次行って1周したら、最後のActを次のPDCAサイクルにつなげ、螺旋を描くように1周ごとに各段階のレベルを向上（スパイラルアップ）させて、継続的に事業運営を改善します。

8-2. 経営戦略見直し予定時期

次回の経営戦略見直し予定時期は次のとおりです。

ただし、社会経済情勢の影響等により計画と実績が大きく乖離する場合には予定時期よりも早期に見直しを実施することがあります。

次回の経営戦略見直しの時期

令和10年3月（予定）

8-3. 経費回収率向上に向けたロードマップ

「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進についての留意事項」(国土交通省事務連絡令和2年7月22日)に基づき、下水道事業における経費回収率の向上に向けたロードマップを以下に示します。

人口減少・物価上昇等により収支のさらなる悪化が予測されるなか、第4章で検討した経営改善に資する各種施策を実施することで、経費回収率の落ち込みの抑制を図りつつ、令和8年度に「下水道使用料あり方検討委員会(仮)」を設置し、計画期間内(令和14年度まで)に100%を達成できる水準への下水道使用料改定を実施します。

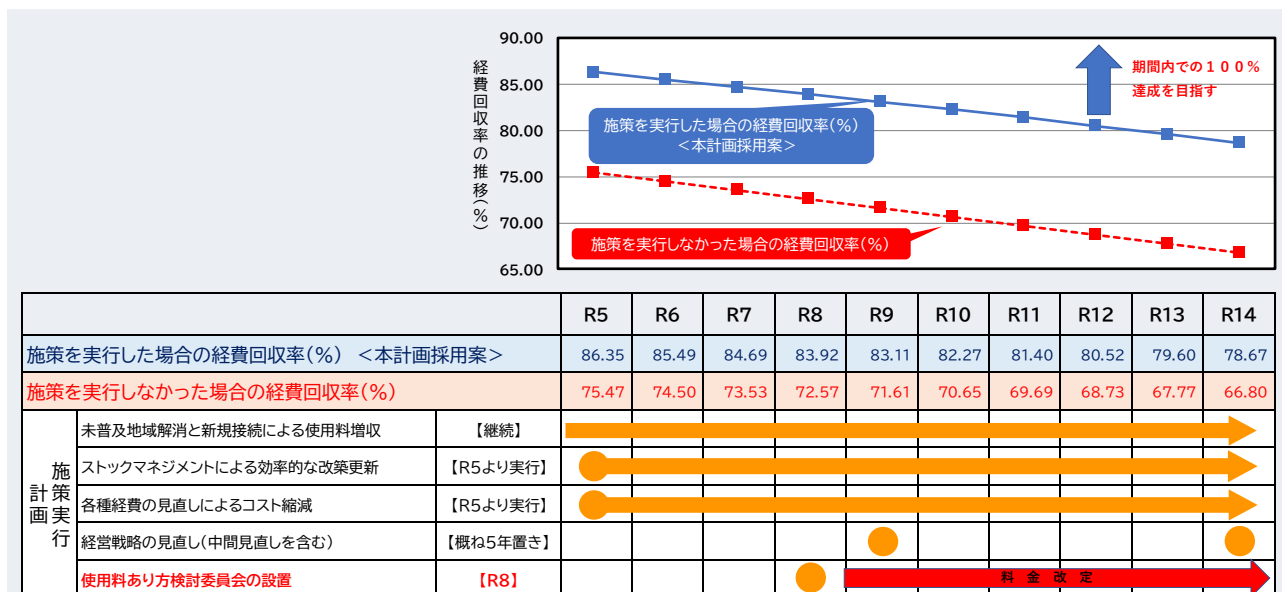


図 8-3-1. (公共下水道事業)ロードマップ

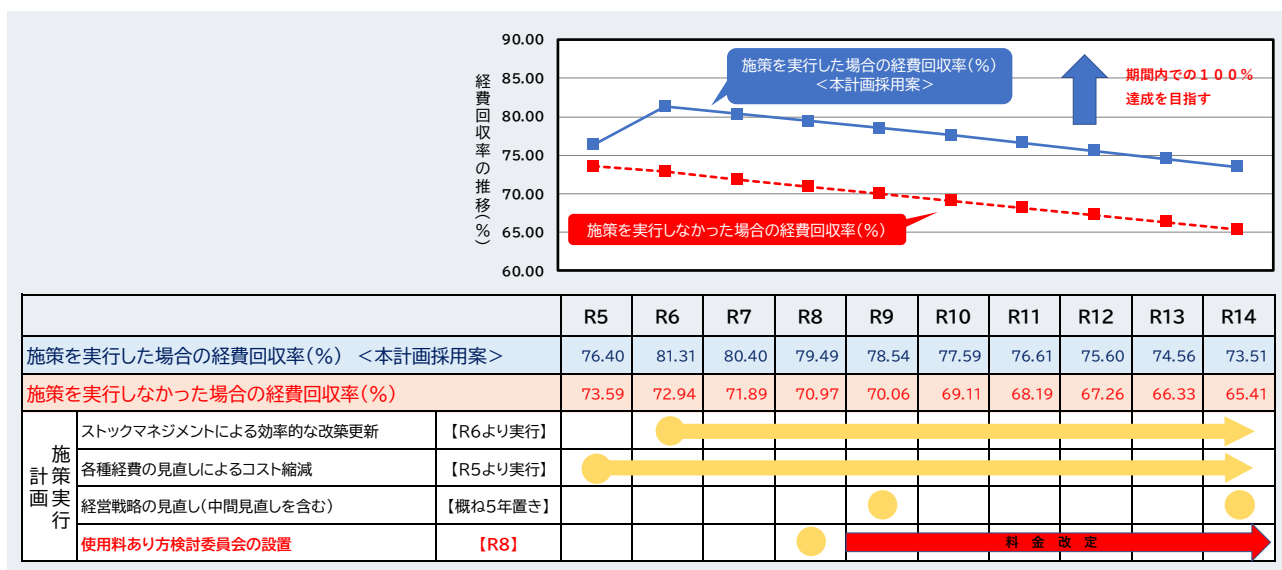


図 8-3-2. (特定環境保全公共下水道事業)ロードマップ

※農業集落排水事業は対象外



沼田市下水道事業経営戦略

[令和 5 年度～令和 14 年度版]

お問い合わせ先

〒378-8501 群馬県沼田市下之町 888 番地
沼田市都市建設部上下水道経営課経営係

電 話：0278-23-2111（代表）

F A X：0278-24-5179